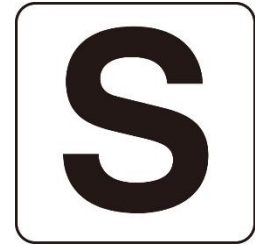




# 高 2 英語総合



STUDY COLLABO





# Contents

<b>NO 1</b>	.....	12
【1】	〔英文解釈〕《東京大》.....	12
【2】	〔英文解釈〕《大阪大》.....	13
発展問題	.....	13
【1】	〔長文英作文〕《大阪大》.....	13
<b>NO 2</b>	〈ENGLISH COMPOSITION〉.....	14
【1】	〔英作文〕.....	14
発展問題	.....	15
【1】	〔英作文〕《東京大》.....	15
<b>NO 3</b>	.....	16
【1】	〔テーマ読解 科学論〕.....	16
【2】	〔テーマ読解 科学論〕《京都大》.....	18
発展問題	.....	20
【1】	〔英作文〕《東京大》.....	20
<b>NO 4</b>	.....	22
【1】	〔テーマ読解 科学論〕.....	22
【2】	〔テーマ読解〕《京都大》.....	23
発展問題	.....	25
【1】	〔英作文〕《東京大》.....	25
<b>NO 5</b>	.....	26
【1】	〔リスニング選択〕.....	26
【2】	〔英作文選択〕《京都大》.....	26
【3】	〔英作文〕《東京大》.....	26
発展問題	.....	27
【1】	〔英作文〕《東京大》.....	27
<b>NO 6</b>	〈語彙検定〉.....	28
【1】	〔語彙検定〕.....	28
【2】	〔英文解釈〕《京都大》.....	28

発展問題	29
【1】〔長文英作文〕《東京大》	29
<b>NO 7</b>	30
【1】〔英文解釈〕《東京大》	30
【2】〔英文解釈〕《京都大》	31
発展問題	33
【1】〔長文英作文〕《大阪大》	33
<b>NO 8</b>	34
【1】〔英文解釈〕《東京大》	34
【2】〔英文解釈〕《京都大》	35
発展問題	37
【1】〔長文英作文〕《大阪大》	37
<b>NO 9</b> <ENGLISH COMPOSITION>	38
【1】〔英作文〕	38
発展問題	39
<b>NO 10</b>	40
【1】〔英文解釈〕《東京大》	40
【2】〔英文解釈〕《京都大》	41
発展問題	42
【1】〔長文英作文〕《大阪大》	42
<b>NO 11</b>	44
【1】〔英文解釈〕《東京大》	44
【2】〔英文解釈〕《京都大》	45
発展問題	47
【1】〔長文英作文〕《大阪大》	47
<b>NO 12</b>	48
【1】〔英文解釈〕《東京大》	48
【2】〔英文解釈〕《京都大》	49
発展問題	51

【1】	〔長文英作文〕《大阪大》	51
<b>NO 13</b>	<b>〈ENGLISH COMPOSITION〉</b>	52
【1】	〔英作文〕	52
	発展問題	53
<b>NO 14</b>		54
【1】	〔長文総合〕《東京大》	54
	発展問題	61
【1】	〔長文英作文〕《大阪大》	61
<b>NO 15</b>		62
【1】	英文解釈《東京大》	62
【2】	〔英文解釈〕《京都大》	63
	発展問題	65
【1】	〔長文英作文〕《大阪大》	65
<b>NO 16</b>		66
【1】	〔英文解釈〕《東京大》	66
【2】	〔英文解釈〕《京都大》	67
	発展問題	68
【1】	〔長文英作文〕《大阪大》	68
<b>NO 17</b>	<b>〈LISTENING//ENGLISH COMPOSITION〉</b>	69
【1】	〔リスニング選択〕	69
【2】	〔英作文選択〕《東京大》	69
【3】	〔英作文選択〕《東京大》	70
【4】	〔英作文選択〕《東京大》	71
<b>NO 18</b>		72
【1】	〔英文解釈〕《阪大神大型》	72
【2】	〔英作文〕《島根大》	72
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	73
<b>NO 19</b>		76

【1】	〔英文解釈〕《東京大》	76
【2】	〔英作文〕《島根大》	76
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	77
	発展問題	80
【1】	〔長文英作文〕《大阪大》	80
<b>NO 20</b>		82
【1】	〔英文解釈〕《阪大神大型》	82
【2】	〔英作文〕《島根大》	82
【3】	〔英文解釈〕《東京大》	83
	発展問題	87
【1】	〔英作文〕《京都大》	87
<b>NO 21</b>		88
【1】	〔英作文〕	88
	発展問題	89
<b>NO 22</b>		90
【1】	〔英文解釈〕《阪大神大型》	90
【2】	〔英作文〕《京都大》	90
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	91
	発展問題	92
【1】	〔英作文〕《京都大》	92
<b>NO 23</b>	〈L&EC〉	93
【1】	〔リスニング選択〕	93
【2】	〔英作文選択〕《大阪大》	93
【3】	〔自由英作文〕《大阪大》	94
<b>NO 24</b>	補講	95
	〔長文総合〕《東京大》	95
<b>NO 25</b>	《VOCABULARY CHECK》	102
【1】	〔確認テスト〕	102
【2】	〔英文解釈〕《京都大》	102

<b>NO 26</b>	.....	104
【1】	〔語彙①〕多義語.....	104
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	105
【3】	〔構文研究〕《完成編①》.....	105
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	106
<b>NO 27</b>	.....	108
【1】	〔語彙②〕多義語.....	108
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	109
【3】	〔構文研究〕《完成編②》.....	109
【4】	〔英文読解〕《東京大》.....	110
<b>NO 28</b>	.....	118
【1】	〔語彙③〕多義語.....	118
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	119
【3】	〔構文研究〕《完成編③》.....	119
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	120
<b>NO 29</b>	.....	122
【1】	〔語彙④〕.....	122
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	123
【3】	〔構文研究〕《完成編④》.....	123
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	124
<b>NO 30</b>	.....	128
【1】	〔語彙⑤〕多義語.....	128
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	129
【3】	〔構文研究〕《完成編⑤》.....	129
【4】	〔英文読解〕《東京大》.....	130
<b>NO 31</b>	.....	136
【1】	〔語彙⑥〕多義語.....	136
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	137
【3】	〔構文研究〕《完成編⑥》.....	137

【4】	〔英文解釈〕《東京大》.....	138
<b>NO 32</b>	.....	140
【1】	〔語彙⑦〕多義語.....	140
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	141
【3】	〔構文研究〕《完成編⑦》.....	141
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	142
<b>NO 33</b>	.....	144
【1】	〔語彙⑧〕多義語.....	144
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	145
【3】	〔構文研究〕《完成編⑧》.....	145
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	146
<b>NO 34</b>	.....	148
【1】	〔語彙⑨〕多義語.....	148
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	149
【3】	〔構文研究〕《完成編⑨》.....	149
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	150
<b>NO 35</b>	.....	152
【1】	〔語彙⑩〕多義語.....	152
【2】	〔英作文〕《京都大》.....	153
【3】	〔構文研究〕《完成編⑪》.....	153
【4】	〔英文解釈〕《京都大》.....	154
<b>NO 36</b>	<b>LISTENING//ENGLISH COMPOSITION</b> .....	156
【1】	〔リスニング選択〕.....	156
【2】	〔英作文選択〕《九州大》.....	156
【3】	〔英作文選択〕《東北大》.....	157
<b>NO 37</b>	.....	158
【1】	〔英作文〕《京都大》.....	158
【2】	《難問①》.....	158
【3】	〔英文解釈〕《東京大》.....	159



<b>NO 38</b>	<b>〈ENGLISH COMPOSITION〉</b>	160
【1】	〔英作文〕《京都大》	160
【2】	《難問②》	160
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	161
<b>NO 39</b>		162
【1】	〔英作文〕《京都大》	162
【2】	《難問③》	162
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	163
<b>NO 40</b>		166
【1】	〔長文総合〕《東京大》	166
<b>NO 41</b>		170
【1】	〔英作文〕《京都大》	170
【2】	《難問④》	171
【3】	〔総合問題〕《東京大》	172
<b>NO 42</b>	<b>〈VOCABULARY CHECK〉</b>	178
【1】	〔講習会確認テスト〕	178
【2】	〔英文解釈〕《東京大》	178
<b>NO 43</b>		180
【1】	〔英作文〕《京都大》	180
【3】	〔英文解釈〕《東京大》	180
【4】	〔英文解釈〕《京都大》	181
<b>NO 44</b>		184
【1】	〔英作文〕《京都大》	184
【2】	〔英文解釈〕《東京大》	184
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	185
<b>NO 45</b>		188
【1】	〔英作文〕《京都大》	188

【2】	〔英文解釈〕《東京大》	188
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	189
<b>NO 46</b>		194
【1】	〔英作文〕《京都大》	194
【2】	〔英文解釈〕《東京大》	194
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	195
<b>NO 47</b>		198
【1】	〔英作文〕《京都大》	198
【2】	〔英文解釈〕《東京大》	198
<b>NO 48</b>		202
【1】	〔英文解釈〕《東京大》	202
【2】	〔英作文〕《京都大》	202
【3】	〔英文解釈〕《京都大》	203
<b>NO 49</b>	<b>〈L&amp;EC〉</b>	206
【1】	〔リスニング選択〕	206
【2】	〔英作文選択〕《九州大》	206
【3】	〔英作文選択〕《京都大》	207
<b>英文解釈</b>	<b>基礎知識〈FIVE SENTENCE PATTERN〉</b>	208
<b>英文解釈</b>	<b>英文読解の技術〈品詞分解〉</b>	215
	<b>〈長文読解の技術 スラッシュリーディング〉</b>	218
<b>英文解釈</b>	<b>品詞〈接続詞とその領域〉</b>	220
<b>英文解釈</b>	<b>動詞の識別〈V / to V / Ving / Vp.p.〉</b>	223
<b>英文解釈</b>	<b>構文分析①〈主語の発見〉</b>	228
<b>英文解釈</b>	<b>構文分析②〈カンマとダッシュの処理①〉</b>	232

英文解釈 構文分析③〈カンマとダッシュの処理②〉	233
英文解釈 構文分析④〈挿入への対応①〉	235
英文解釈 構文分析⑤〈挿入への対応②〉	237
英文解釈 構文分析⑥〈等位接続詞 and〉	240
英文解釈 構文分析⑦〈語順転倒の対応〉	243
英文解釈 構文分析⑧〈The 比較級..., the 比較級 ~.〉	247
英文解釈 構文分析⑨〈no more ... than ~〉	251
英文解釈 重要語の整理①〈that〉	255
英文解釈 重要語の整理②〈as〉	258
英文解釈 重要語の整理③〈it〉	260
英文解釈 重要語の整理④〈but / still / even / yet〉	262
英文解釈 重要語の整理⑤〈just / justly / simple / simply〉	265
英文解釈 重要語の整理⑥〈because / only〉	267
英語重要構文① 関係詞構文	269
英語重要構文② 名詞構文	272
英語重要構文③ 無生物主語構文	273
英語重要構文④ 無生物主語構文	276



## NO 1



【1】〔英文解釈〕《東京大》

解答時間 15 分

次の英文(1)(2)の下線部を訳しなさい。

(1)

Most boys have a natural inclination to admire their fathers, and a cultural gap between father and son is painful for both. The middle-class father who at nights studies the encyclopedia in order to be able to answer his son's questions makes us smile a little, but we ought to admire him. For such fathers this may be an introduction to lifelong education. In an environment which values knowledge for its own sake he will not put down the encyclopedia with a sigh of relief when the son has grown up, but will want more of it.

(注) encyclopedia [ensàikloupí:diə] 「百科事典」

(2)

Between historical events and the historian there is a constant interplay. The historian tries to impose on these events some kind of rational pattern: how they happened and even why they happened. No historian starts with a blank mind as a jury is supposed to do. He does not go to documents with a childlike innocence of mind and wait patiently until they dictate conclusions to him. Quite the contrary.

---

【1】〔英文解釈〕《東京大》(1)is supposed to V 「Vすることになっている」(軽い義務)childlike[tʃáíldlàik] 「子供らしい」childish [tʃáíldiʃ] 「幼稚な」dictate A [díktèit] 「Aを述べる」  
(2)interplay [íntəplèi] 「相互作用」「交流」impose A on B[impóuz] 「AをBに押し付ける」

## 【2】〔英文解釈〕《大阪大》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を訳しなさい。

From the point of view of popular culture, science often seems like little more than a hatchery for technology. While most educated people will concede that the scientific method has delivered centuries of fresh embarrassment to religion on matters of fact, it is now an article of almost unquestioned certainty, both inside and outside scientific circles, that science has nothing to say about what constitutes a good life.

(注)hatchery [hætʃəri]

## 発展問題

## 【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本語の意味を英語で表しなさい。

最近にいたって、私は自分が余りにも物を知らなさすぎることを、そしてまた、残念なことに余りにも多く誤って物事を知りすぎていることを痛感するようになった。知らないことはご愛嬌だが、間違っ知っていることはどうにも救いようがない。

【2】concede [kənsi:d] 「...を真実・正しいと(しぶしぶ)認める」「譲歩する」 on matters of fact 「もちろん」 constitute[kənstətjù:t] 「〔進行形不可〕...を構成〔組成〕する」

## NO 2 〈ENGLISH COMPOSITION〉



### 【1】 〔英作文〕

解答時間各 15 分

Translate the underlined portion into English.

(1)

「犀の角のようにただ独り歩め。」というブツダのことばは「サイの頭部にそそり立つ太い一本角のように、独りで自らの歩みを進めなさい」という意味です。インドサイは群れではなく単独で行動することが知られていますので、「犀の(一本)角」という比喩表現は「孤独」を意味します。このように仏教が孤独を勧める背景には「私たちの悩みは人間関係から起こる」との分析があります。つまり、悩みを生み出す原因が「人のつながり」にあるのなら、そこから一時的に離れてみるのが心の成長に必要ということです。

(「きょうのことば」による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

(2)

茶道は、日常のむさくるしい諸事情の中にある美を崇拝することを根底とする儀式である。それは純粹と調和を、人が互いに思い遣りを抱くことの不思議さを、社会秩序のロマンティズムを、<sup>じゆんじゆん</sup> 諄々と心に刻み付ける。それは本質的に不完全なものの崇拝であり、われわれが知っている人生というこの不可能なものの中に、何か可能なものをなし遂げようとする繊細な企<sup>くわだ</sup>てである。

(岡倉天心『茶の本』による。)

## (3) [英作文]

海外で生活し、日本に帰って来るいわゆる帰国子女の数は、いまや年間一人を超えているという。その中の何人かが小、中、高校での授業の有り様や体験を描いた『海外帰国生』(渡部淳編著)という本を読んだ。面白い。

海外の授業の特徴は、発言や討論など生徒の授業への参加と、自力で調べる生徒の個人学習の重視、というのが渡部さんの分析だ。ものの考え方を教えるのであって、知識注入型授業の対極。大いに考えさせられる。

(「天声人語」による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

**発展問題****【1】** [英作文] 《東京大》**解答時間 15分**

次の日本文の下線部を英語に訳せ。《東京大》

自分の家をよく知るためには、家の外からそれを眺めてみる必要がある。これは外国に行ってみてはじめて、日本のことがよく解るようなものである。誰しも幼い頃に親類に遊びに行き、自分の家では当然と思われていることが、実は他の家ではそうではないことを知って驚いた思い出をもっていることであろう。



## NO 3

【1】 [テーマ読解 | 科学論]



解答時間 30 分

次の英文を読んで下線部(1)(2)(3)(4)を和訳しなさい。

(1)Science is not a mechanism but a human progress, and not a set of findings but the search for them. Those who think that science is ethically neutral confuse the findings of science, which are, with the activity of science, which is not.

Human search and research is a learning by steps of which none is final, and the mistakes of one generation are rungs in the ladder, no less than their correction by the next. (2)Scientists must be men, must be fallible, and yet as men must be willing and as a society must be organized to correct their errors.

There never was a great scientist who did not make bold guesses, and there never was a bold man whose guesses were not sometimes wild. Newton was wrong, in the setting of his time, to think that light is made up of particles. (3)We do not think any less of the profound concept of General Relativity in Einstein because the details of his formulation at this moment seem doubtful.

Science at last respects the scientist more than his theories; for by its nature it must prize the search above the discovery, and the thinking (and with it the thinker) above the thought. (4)In the society of scientists each man, by the process of exploring for the truth, has earned a dignity more profound than his doctrine. A true society is sustained by the sense of human dignity.

---

【1】〔テーマ読解〕《科学論①》ethically[éθikə]「倫理的に」neutral[njú:trə]「中立な」confuse A[kənfjú:z]「Aを混乱させる」a rung[rʌŋ]「はしごの踏み台」a particle「粒子」A no less than B「BとどうようにA」fallible[fæləbl]「あやまりのある」explore A[iksplɔ':ɹ]「Aを探求する」dignity[dígnəti]「威厳」profound[prəfáund]「深遠な」a doctrine[da'ktrin]「学説」sustain A[səsteín]「Aを維持する」

---

【23】reproduction[rí:prədʌkʃən]「繁殖」an ancestor[ænsəstər]「祖先」contemporary[kəntémpərəri]「現代の」on the downside「否定的な面に関して」unprecedented[ʌnprəsədéntid]「洗礼がない」a plough[plau]「鋤」a bandage[bændidʒ]「車輪」unparalleled「並ぶものない」prestige[prestí:ʒ]「威信」compared with A「Aとと比べる」consult A[kənsʌlt]「Aと相談する」「Aに診てもらおう」prescribe A[prí:(:skráib]「Aを処方する」therapy[θérəpi]「診療」a symptom[símtəm]「症状」explicitly[eksplísit]「明白に」ban A[bæn]「Aを禁じる」

【2】 [テーマ読解 | 科学論] 《京都大》

解答時間 30 分

次の英文を読んで下線部(1)(2)を和訳しなさい。

In many ways, our age is no different from any other: most people work hard merely to survive, while a few live in the lap of luxury; many perish in wars and conflicts, the causes of which they have no control over; the cycle of birth, reproduction, and death is fundamentally the same for us as it was for our distant ancestors. Yet certain features of the contemporary world are quite new. (1)For example, I can pick up the phone and speak to a relative on the other side of the globe, and I can see that it is indeed a globe that I inhabit by looking at a photograph taken from space; many people's everyday lives are enhanced by, and unimaginable without, computers, televisions, and other electronic appliances; medicine can treat forms of illness and injury that would have brought certain death for earlier generations. On the downside, but equally unprecedented, the nuclear weapons that many countries now have are sufficient in number to wipe out almost all life on the planet, and our skies and oceans are polluted by substances that only exist because we make them in chemical factories.

Whether good or bad in their effects, none of these technologies would exist without science. It is possible to develop ploughs, wheels, bandages, and knives without much in the way of theory, but without the scientific theories and methods developed mainly in the last few hundred years, there would be no electronic devices, spacecraft, micro-surgery, or weapons of mass destruction. The

products of science and technology have a huge effect on the way we live our lives and how we shape our environment; if you are in any doubt about this, try and imagine going through an average day without using anything powered by electricity or containing plastic.

The importance of science derives not only from its use in technology. Science enjoys unparalleled prestige in society compared with other institutions, and everyone is likely to agree about the need to fund and understand modern science, while many may deride modern art or literature. Furthermore, most people are likely to trust the word of a scientist much more than they do that of a journalist, lawyer, or politician (although that may not be saying much). (2)Rightly or wrongly, science is often thought to be the ultimate form of objective and rational inquiry, and scientists are widely regarded as being able to gather and interpret evidence and use it to arrive at conclusions that are “scientifically proven,” and so not just the product of ideology or prejudice. Most of us consult a doctor when we have something wrong with us, and if the doctor prescribes some drug or other therapy, we take it assuming that it will help with our symptoms and not itself cause us harm. Often, modern medicine is explicitly claimed to be “evidence-based” and hence scientific. Similarly, if the scientists appointed by the government say that a particular food or chemical is unsafe, its use and sale will be banned.

**発展問題**

**【1】** 〔英作文〕 《東京大》

**解答時間 15分**

次の日本語の下線部を英語に訳せ。

日頃見慣れている景色が、ある時、ふと、まるで初めて見る時のように新しく珍しく感じられるという経験をしたことはないでしょうか。そのような時、私たちは日常、ものを見ているつもりで、それでいて、実は何も見ていなかったのだということを感じます。



## NO 4



【1】 [テーマ読解 | 科学論]

解答時間 30 分

次の英文を読んで下線部(1)(2)を和訳しなさい。

(1)Science may be defined as the reduction of multiplicity to unity. It seeks to explain the endlessly diverse phenomena of nature by ignoring the uniqueness of particular events, concentrating on what they have in common and finally abstracting some kind of 'law', in terms of which they make sense and can be effectively dealt with. For example, apples fall from the tree and the moon moves across the sky. People had been observing these facts from time immemorial. (2)They were convinced that an apple is an apple is an apple whereas the moon is the moon is the moon. It remained for Isaac Newton to perceive what these very dissimilar phenomena had in common and to formulate a theory of gravitation in terms of which certain aspects of the behaviour of apples, of the heavenly bodies and indeed of everything else in the physical universe could be explained and dealt with.

---

【1】 [テーマ読解] 《科学論》 multiplicity [mʌltɪplɪsəti] 「多様性」 unity [juːnəti] 「単一」 phenomena [fɪnəˈmɛnə] 「現象」 (phenomenon [fəˈnɒmənən] の複数形) abstract A[æbstrækt] 「A を引き出し」 immemorial [ɪmmeːrɪəl] 「太古の」 dissimilar [dɪsɪmələr] 「似ていない」 formulate [fɔːrmjuleɪt] 「方式化する」 gravitation[græˈvəteɪʃən] 「重力」「引力」

## 【2】 [テーマ読解] 《京都大》

解答時間 30 分

次の英文を読んで下線部(1)(2)(3)(4)(5)を和訳しなさい。

(1)Science is supposed to be an objective enterprise, with common procedures, and standards of evidence that should lead all people of good will to accept a documented conclusion. I do not, of course, deny a genuine difference between aesthetics and science on this score: we have truly discovered — as a fact of the external world, not a preference of our psychological make-ups — that the earth revolves around the sun and that evolution happens, but we will never reach consensus on who was the greatest composer (and professionals in the field of aesthetics would not ask so foolish a question) .

But I would also reject any claim that personal preference the root of aesthetic judgment, does not play a key role in science. True, the world is indifferent to our hopes — and fire burns whether we like it or not. But our ways of learning about the world are strongly influenced by the biased modes of thinking that each scientist must apply to any problem. (2)The stereotype of a fully rational and objective “scientific method,” with individual scientists as logical (and interchangeable) robots, is a self-serving myth.

Historians and philosophers of science often make a distinction between the logical and psychological aspects of a scientific conclusion — or, in technical terms, “context of justification” and “context of discovery.” (3)After conclusions are firmly in place, a logical pathway can be traced from data through principles of reasoning, to results and new theories — context of justification.



But scientists who make discoveries rarely follow this ideal pathway of subsequent logical reconstruction. Scientists reach their conclusions for the strangest of reasons: guesses, redirections after pursuing false leads, both combined with rigorous observation and logical reasoning to be sure — context of discovery.

This messy and personal side of science should not be covered up by scientists for two major reasons. <sup>(4)</sup>First, scientists should proudly show this human face to display their kinship with all other modes of creative human thought. The myth of a separate way of thinking based on rigorously objective, largely mathematical, knowledge granted only to the initiated may provide some immediate benefits in misleading the public to regard us as new priests, but must ultimately prove harmful in erecting barriers to truly friendly understanding, and in falsely persuading so many students that science lies beyond their capabilities. <sup>(5)</sup>Second, while biases and preferences often hinder understanding, these mental peculiarities may also serve as powerful, if unpredictable and personal, guides to solutions.

(注) the initiated 「専門家」 ([inɪʃi'ɛɪt] 「A を始める」)

---

【2】 [テーマ読解] 《京都大》 objective [əb'dʒektɪv] 「客観的な」 enterprise [ɛntərpraɪz] 「企て」 documented [dɒ'kjuməntɪd] 「文書化された」 aesthetics [esθɛtɪks] 「美学」 external [ɪkstə'ri:nl] 「外界の」 a make-up 「性向」 revolve [rɪvə'lv] 「回転する」 consensus [kənsɛnsəs] 「意見の一致」 burn 「燃える」 biased [baɪəst] 「偏った」 a stereotype [stɛriə'taɪp] 「神話」 self-servicing 「自らに都合のよい」 justification [dʒʌ'stɪfɪkɛɪʃən] 「立証」 subsequent [sʌ'bsɪkwənt] 「その後の」 reconstruction 「再構成」 a redirection [ri:'dɛk'tʃən] 「方向転換」 rigorous [rɪ'ɪgərəs] 「厳密な」 grant A to B [grænt] 「A を B に与える」 erect A [ɪ'rekt] 「A を築く」

## 発展問題

【1】〔英作文〕《東京大》

解答時間 15分

次の日本語の下線部を英語に訳せ。

旅は私たちの心を開かれた,予感にみちたものにする。それは,旅に出かける  
とき,旅立ちに際してだけのことではなくて,およそ旅をしているかぎり,いつで  
もいえることである。これは誰でも経験していることだけれど,旅先で見たもの  
や聞いたものは,しばしば私たちに新鮮なおどろきを与え,旅先で出会った出来  
事はしばしば私たちにつよい感動を与える。

## NO 5



### 【1】 [リスニング選択]

\*演習講義のため、教材は当日配布します。

### 【2】 [英作文選択] 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本文の下線部を英語に訳せ。

冬のロンドンでは天気の良い日は数えるほどしかない。それも一日中快晴という日はまずないといってよいぐらいである。従ってどうしても家の中にこもりがちになる。イギリスで芝居が発達したのは、あるいはそんな所にも理由があるのかもしれない。とにかくロンドンの冬の夜長を過ごすには、芝居が最適である。

(太田朗『私のグランド・ツアー』より)

### 【3】 [英作文] 《東京大》

解答時間 20 分

次の日本文の下線部を英語に訳せ。

わからないことがあると、インターネットで検索すればなんでもすぐに答えが見つかるから、百科事典や辞典といった書物はもう必要がなくなった、と言う人がいるが、それは大きなまちがいだ。わたしたちは、そうした書物が実は巨大な知識と知恵の宝庫であることに、今ようやく気づくのである。そして、それを編集した人々の想像を絶する努力に、あらためて感謝するのだ。

## 発展問題

【1】〔英作文〕《東京大》

解答時間 15分

次の日本語の下線部を英語に訳せ。

人間が自分で理解できていると思っているその自分は、自分の中のごく一部分でしかない。むしろ、他人のほうが、しばしば、自分では気がついていない自分というものを教えてくれる。そういう他人の言葉だけが、いつも、よく聞こえる耳を持った人間でありたい。

## NO 6 《語彙検定》



【1】〔語彙検定〕

第1回 語彙検定

【2】〔英文解釈〕《京都大》

解答時間 30分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

The objections to white, as a colour, in large spots or masses in landscape, especially in a mountainous country, are insurmountable. In nature, pure white is scarcely ever found but in small objects, such as flowers; or in those which are transitory, as the clouds, foam of rivers, and snow. Therefore, an object of pure white can scarcely ever be managed with good effect in landscape-painting. Five or six white houses, scattered over a valley, by their obtrusiveness, dot the surface, and divide it into triangles, or other mathematical figures, haunting the eye, and disturbing that repose which might otherwise be perfect. I have seen a single white house seriously damage the majesty of a mountain; cutting away, by a harsh separation, the whole of its base, below the point on which the house stood. (1) Thus was the apparent size of the mountain reduced, not by the interposition of another object in a manner to call forth the imagination, which will give more than the eye loses; but what had been cut away in this case was left visible; and the mountain appeared to take its beginning, or to rise, from the line of the house, instead of its own natural base. But, if I may express my own individual feeling, it is after sunset, at the coming on of twilight, that white objects are most to be complained of. The solemnity and quietness of nature at that time are always

marred, and often destroyed by them. <sup>(2)</sup>When the ground is covered with snow, they are of course inoffensive; and in moonshine they are always pleasing — it is a tone of light with which they accord: and the dimness of the scene is enlivened by an object at once conspicuous and cheerful. I will conclude this subject by saying that the cold, bluish colour, which many persons, who have heard the white condemned, have adopted in its stead, must be disapproved of for the reason already given. The bright yellow runs into the opposite extreme, and is still more censurable. On the whole, the safest colour, for general use, is something between a cream and a dust-colour, commonly called stone colour; — there are examples of this that need not be pointed out.

### 発展問題

【1】〔長文英作文〕《東京大》

解答時間 15 分

次の日本文の下線部の意味を英語で表しなさい。

よくお酒の席に出ると、歌を歌え、と言われることがある。私はあれを、野蛮な習慣だと思っている。私にとって、人前で歌を歌うのは苦痛でしかない。もともと、その反面、人前で歌いたくてうずうずしている人もいるから、私は、そういう人に歌ってもらって聞くのは好きである。

【2】〔英文解釈〕《京都大》insurmountable [ɪnsəˈmaʊntəbl̩] 「克服できない」 surmount A [səˈmaʊnt] 「A を克服する」 transitory [trænsɪˈtɔːrɪ] 「移ろいやすい」 obtrusiveness 「歓迎されない謙虚さ」 (obtrusive [əbˈtruːsɪv]) interposition 「間に挟む」 (inter- 「間」 [ɪntəˈpɔːz] 「あいだに置く」「挟む」) call forth A 「A を喚起する」 solemnity 「荘厳さ」 (solemn [səˈlɛm] 「荘厳な」) mar A 「A をひどく傷つける」 (= destroy A severely) inoffensive [ɪnəˈfɛnsɪv] 「害にならない」「当たり障りのない」 conspicuous [kənˈspɪkjʊəs] 「目立つ」 bluish [ˈbluːɪʃ] 「青みが買った」 censurable [sɛnˈfɛrəbl̩] 「非難すべき」 (censure A [sɛnˈʃər] 「A を非難する」 = criticize A)

## NO 7

【1】 〔英文解釈〕 《東京大》



解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

Gandhi had a prolonged formal education, finally qualifying as a lawyer, but he received little formal instruction in those questions with which he became increasingly concerned, questions of moral and political philosophy, and of religion. It was imprisonment that provided Gandhi with one of the best opportunities for further reading. Indeed, for those entering the nationalist movement in the 1920s, prison was in a sense the nearest they came to going to a university. Gandhi was clearly widely read. Certainly no other influential Indian intellectual was as familiar as Gandhi was with the religious and philosophical texts of the classical Indian tradition as well as the writings of daring Western moralists of the nineteenth century.

(注) Mahatma Gandhi[ɡɑːndi] 「マハトマ＝ガンジー。インド独立の父」

---

【1】 〔英文解釈〕 《東京大》 prolonged[prələʊˈɪŋd] 「長期にわたる」 qualify as A [kwɑːləfài] 「Aとして資格を有する」 be concerned with A 「Aに関心を持っている」 imprisonment[imprɪznmənt] 「投獄」「獄中」 influential ɪnfluəntʃəl 「影響力のある」 religious[rɪlɪdʒəs] 「宗教的」 daring [dɛərɪŋ] 「果敢な」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1), (2), (3)を和訳しなさい。

Looking into his eyes, now a foot away from my own, I lowered my head still farther and watched with crossed eyes as the cat raised his face and touched his nose to mine. I reached out impulsively to stroke his head. He leaned into my hand, savoring my touch as only the cat can. He rubbed against my thigh. I ran my hand down his back, and he arched into the stroke. Again I ran my hand along his back, and again. Then he turned deliberately around and, with the most indifferent grace, bit my hand.

He bit my hand! My first reaction was to consider vengeance. No animal did that to me and got away with it. I had spent my early years on a farm and people on farms do not hesitate to take animal life. My second reaction was a feeling of weariness. I was slowing down for middle age. <sup>(1)</sup>Something in me seemed to have changed. For the first time, revenge seemed pointless. It proved nothing but the obvious fact that we humans reign supreme. So instead of getting a club, I found myself extending my hand to stroke him.

“Come on, it’s all right, meow, no one is going to hurt you, meow.” I was sure the meow had no meaning, but I didn’t know what else to say.

In a few moments the cat seemed to relax, and finally transcending his apprehensions, he squeezed through the hole in the fence and walked toward me, tensely suspicious.



At this point I must have entered some sort of trance, for I vaguely recall walking to the corner store and buying a can of cat food, walking back to my flat with the cat following close behind, climbing the stairs, opening the door, watching the cat enter and cautiously scout the room, watching his anxieties vanish with the aroma of food as he sat up like a bear, crying for service. Although I would have denied it at the time, I realize now I knew then that I had just committed myself to another living thing.

Ah, the blessings of ignorance. <sup>(2)</sup>Had I known what the proper care of a cat involved, I would certainly have walked away. But I didn't know and so now began the practical task of starting out. Relationships are always practical at heart and have little to do with romantic beginnings.

I took my first step with what might be called a fresh eye, since I had never lived with a cat and knew little of its habits, but in fact that fresh eye peered out from all the mainstream values and attitudes of the late twentieth century. I was an animal liker, not a lover. <sup>(3)</sup>As a creature of American civilization I had no idea what love and respect for other creatures meant, how it felt, what it required. As a citizen of the West, I assumed that an animal, no matter how enjoyable its company, was ultimately a commodity and not worth of the priceless value we humans place on our own lives.

---

【2】 [英文解釈] 《京都大》 impulsively [impʌlsivli] 「衝動的に」 stroke A [strouk] 「A を撫でる」 savor A [séivər] 「A を味わう」 thigh [θai] 「腿」 arch A [á:rtʃ] 「A を撓ませる」 deliberately [ilíberitli] 「慎重に」 vengeance [véndʒens] 「復讐」 weariness 「疲労(感)」 (weary [wíeri] の名詞形) a revenge [rivéndʒ] 「復讐」 meow [miáu] 「ニャーオ」 (猫の鳴き声) transcend A [trænsénd] 「A を超える」 an apprehension [æprihénʃən] 「懸念」 squeeze into A [skwi:z] 「A に割り込む」 (「絞る」が原義) trance [træns] 「夢うつつ状態」 scout A [skaut] 「A を探して見つける」 commit myself to A 「A に専心する」 「A に心を傾ける」

## 発展問題

【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本語の下線部の意味を英語で表しなさい。

日本人は、外国人たちが自分のことをどう見ているかについては、おおむね無知なまま過ごしてきた。その理由は簡単で、日本人が、外国語で書かれた日本についての書物を、なかなか読んでみようとはしないからである。日本のことについてなら、日本語で読めばよい。どうしてわざわざ英語で、あるいはフランス語で、辞書を片手に手間ひまかけて読む必要があるだろうか、というわけである。

## NO 8



【1】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

We are prisoners of the sense we have about the world because of our size, and rarely recognize how different the world must appear to small animals. Since our relative surface area is so small at our large size, we are ruled by the forces of gravity acting upon our weight. But gravity means next to nothing to very small animals with high surface-to-volume ratios; they live in a world of surface forces and judge the pleasures and dangers of their surroundings in ways foreign to our experience. An insect performs no miracle in walking up a wall or upon the surface of a pond; the small force of gravity pulling it down or under is easily overcome by surface forces which act to keep it in position. Throw an insect off the roof and it floats gently down as the forces of friction from the air acting upon its surface overcome the weak influence of gravity.

---

【1】 〔英文解釈〕 《東京大》 a prisoner[prɪzənər] 「囚われの身」 (prison A 「A を捕える」) relative[rɛlətɪv] 「相対的な」 surface[səːrfɪs] 「表面」 rule A 「A を支配する」 act upon A 「A に影響を与える」

【2】 〔英文解釈〕 《京都大》 apes[éɪps] 「類人猿」 anatomical[æˈnəʊtəˈmɪkəl] 「解剖学的な」 confirm A[kənˈfɜːrm] 「裏付ける」 category[kætəˈɡɔːri] 「分類」 demonstrate A[dɛməˈnstrɛɪt] 「A を実証する」 extraordinarily[ɪkˈstrɔːrdənəri] 「並はずれた」 elaborate [ɪləˈbɒrət] 「複雑な」 「手の込んだ」 attribute A to B[əˈtrɪbjʊːt] 「A を B の帰する」 repertoire[rɛˈpɜːtwɑːr] 「レパートリー」 fall short of A 「A に足りない」 correspond to A[kɔːrɪspɔːnd] 「A に相応する」 restrict A[rɪˈstrɪkt] 「A を制限する」 manipulation[mənɪpjʊˈleɪʃən] 「操作」 (manipulate A 「A を操作する」) in so far as SV... 「SV...する限り」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(4)を和訳しなさい。

The human brain is very like those of the great apes, somewhat similar to those of monkeys, and is built on generally similar lines to those of other mammals. There is also a general structural similarity with the brains of other vertebrates\*, but very little with the nervous system of invertebrates. On anatomical grounds, therefore, we might expect similarities in behavior between humans, non-human Primates\*\*, and perhaps other mammals.

(1)The complexity of the behavior of higher mammals confirms this view. Much of their behavior can be interpreted only in terms of the trying out of alternative methods to reach a goal. Problems requiring an animal to respond to the middle of three objects, to the odd one out, or to an abstract number of objects (up to about five) , or to form concepts of categories of objects, have been demonstrated many times in laboratory studies of mammals, and also in some birds. Field studies show that chimpanzees not only use but also make tools, and that many Primates have an extraordinarily complex social organization based on elaborate signalling systems.

(2)Observation also indicates that chimpanzees have a concept of self and can dissemble and deceive others. Chimpanzees can cooperate in that one can learn to ask another for one out of six possible tools required to obtain food, which is then shared. It has even been claimed that they attribute mental states to others.

(3)The evidence here is that a chimpanzee, shown pictures of a human actor struggling with a problem, can select from a series of photographs the one portraying the solution. Although we can have no direct knowledge of animal emotional states, there is strong evidence that dogs have pleasant and unpleasant dreams, and it seems likely that the greater the similarity in brain structure, the greater the similarity in emotional experience.

The main difference, of course, lies in the complexity of human language. All animals communicate by a repertoire of signals, and chimpanzees can learn to use complex systems of signs or symbols for communicatory purposes. However, these fall so far short of human language that the difference is best seen as one of quality rather than quantity. One immediate consequence of this is that anything corresponding to human institutions is virtually nonexistent in animals, and cultural differences, though present, are minor. (4)Local traditions can be acquired only through individuals' experience and their observation of the experiences of others, and perhaps to a limited extent by parental training. Lack of linguistic complexity no doubt also restricts animals' abilities to solve problems by the manipulation of symbols, to reflect on the past and future, and so on. In so far as our emotions are culturally influenced, it may limit the range of emotional states animals can experience.

\*vertebrates: 脊椎動物 \*Primates: 靈長目

## 発展問題

【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本語の下線部の意味を英語で表しなさい。

私たちがことばで何かを表現しようとする場合、基本的には話すか書くかのどちらかになるが、話すときには相手の存在が直接意識されているのに対して、文章を書くのは一人きりの営みというイメージが強い。しかし、レポートであれ手紙であれ、私たちが何かを書くときには、意外に複雑な会話が行われている。なぜなら、文章を書くという行為には、誰かとの会話だけでなく、自己との対話がかならず含まれているからである。

## NO 9 〈ENGLISH COMPOSITION〉



### 【1】 [英作文]

解答時間各 15 分

次の日本文の(1)(2)の下線部を英訳しなさい。(3)(4)は全訳しなさい。

(1)

指導力は大きな声の号令や外見上の力強さだけで測れるものでもない。リーダーシップを民主型、専制型、自由放任型の3類型に分けた場合、最も生産性が高かったのは民主型——という心理学者の実験結果もある。

イチロー選手の語録に次のような言葉がある。

「ビックリするような好プレーが勝ちに結びつくことは少ないです。確実にこなさないといけないプレーを、確実にこなせるチームは強いと思います」

《出典》 2009年9月20日東京朝刊1面「余録」，毎日新聞社提供

(2)

旅は人を変える。しかし変わらない人というのも間違いなくいる。旅がその人を変えないということは、旅に対するその人の対応の仕方の問題なのだろうと思う。人が変わることができる機会というのが人生のうちにそう何度もあるわけではない。だからやはり、旅には出ていった方がいい。危険はいっぱいあるけれど、困難はいっぱいあるけれど、やはり出ていった方がいい。いろいろなところに行き、いろいろなことを経験した方がいい、と私は思うのだ。

出典：沢木耕太郎『旅する力』新潮社，2011年

(3)

このあいだ哲学者、名古屋大学の竹内良知君と対談した時に出た話ですけれども、彼がいうには、こんにち思想の墮落は翻訳から始まるっていいんじゃないか。ヨーロッパで出た新しい本が半年たつともう日本語になっちゃってるといふことがあり過ぎるといふことから、いろいろの話になったのですが、何か外国のある問題を知ろうとする時、われわれはいつの間にか日本語を通しての知識をもとにして理解しようとしている。何よりも、難解であってもまず原文と取り組むという姿勢がいつの間にか抜けている。早い話がシェイクスピアを最初に訳したといってもいい坪内逍遙さんの場合、その前に翻案はあったにしても、あの原文から御自分の日本語をひねり出したわけですね。敢えていえば創造。その過程は大変なものだったはずですよ。

(木下順二『シェイクスピアの世界』による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

**発展問題****【1】****解答時間 20分**

科学者にとって感受性は本当に大切だと思いますね。自分のやった実験の結果を見て、「うわ、すごい！」って面白がれる人じゃないと、研究を続けていくのは、難しいと思うんです。そこで心からびっくりできる、感動できるというのが、研究者に必要な才能だと思います。

出典：山中伸弥・益川敏英『「大発見」の思考法 iPS細胞 vs. 素粒子』文藝春秋，2011年



## NO 10



【1】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

John, now in his second year at college, was home for the spring vacation, and his mother took the opportunity of having a serious talk with him. Did he know where he wanted to live? John was not sure. Did he know what he wanted to do? He was equally uncertain, but when pressed remarked that he should prefer to be quite free of any profession. She was not shocked, but went on sewing for a few minutes.

---

【1】 〔英文解釈〕 《東京大》 profession[prə'feʃən] 「職業」 sew[sóu] 「縫物をする」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

It may seem at first sight easy to tell when a child knows what a word means. When a little girl of thirteen months sees a ball, says 'ball', and then at once goes to pick it up, the obvious conclusion may appear to be that the meaning of the word is now known to her.

(1)But if, during the next month or so, she is heard to say 'ball' on seeing a balloon, an Easter egg, a small round stone and so on doubts must begin to arise; and it may then seem wiser to replace the first conclusion by the more guarded one that the word 'ball' has now entered her word-stock and that her knowledge of its meaning has begun to grow.

The above example is not invented. It is provided by Bowerman from a study of her daughter, Eva. And many similar instances have been recorded by Bowerman and others. (2)So it is clear that, even in the case of 'simple' words like 'ball', the acquisition of word meaning is not an all-or-none affair. Word meanings grow and change — a fact central to an understanding of the development of thought and language. Thus it is by no means so easy as one might suppose to give a straightforward answer to the question: how large is a child's vocabulary, on average, at different ages?

【2】 〔英文解釈〕 《京都大》 at first sight 「一見」 arise [ə'raɪz] 「生じる」 replace A by B [rɪpléɪs] 「AをBで置き換える」 guarded [gá:rdɪd] 「慎重な」 invent A [ɪnvént] 「Aを作り上げる」 in the case of A 「Aの場合」 acquisition [ˈækwəzɪʃən] 「獲得」 an all-or-none affair 「全か無かといった問題」 central [séntrel] 「中心となる」 「重要な」 by no means 「決して～でない」 straightforward [strɛɪtfo:rwɔ:rd] 「端的な」 on average 「平均して」

**発展問題**

**【1】** 〔長文英作文〕 《大阪大》

**解答時間 20 分**

次の日本語の意味を英語で表しなさい。

あなたは右手あるいは左手のどちらかの手で字を書いているという単純な理由で、右利きだとか左利きだとか思いこんでいないでしょうか。しかし、たいていの人は、右利きと左利きの中間にいると言えます。これまでずっと右手で物を書いてきた人が、本当は、左手で用事を済ませていることの方が多いのに、それに気づいていないだけということも大いに考えられるのです。



## NO 11



【1】〔英文解釈〕《東京大》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

It was one of those Saturdays upon which she had had to work at her office. What was more, it was a wet Saturday: all the possibilities of fine Saturday afternoons fled from her, as she came home, steaming, in the bus, which smelt of people's rainproofs and wet skin and hair. To add to this it was a wet Saturday in summer, that dreariest of all occasions, when the greenness of the season calls the people of London out, even into their suburban parks, and the weather forbids.

【1】〔英文解釈〕《東京大》flee[flí:]「逃げる」(fled-fled-fled) add to A「Aに加える」dreary [dríəri]「憂鬱な」suburban[səbə' :rbən]「郊外の」forbid[fəbíd]「禁ずる」

【2】〔英文解釈〕《京都大》be faced with A「Aに直面する」confirm A [kənfə:rm]「Aを裏付ける」a prejudice [prédʒudis]「偏見」uncomfortable [ʌnkəmfərtəbl]「不快な」mistrust A「Aを信用しない」hostile [hástel]「敵意ある」vital「重要な」snowball「雪だるま式に増える」hum「うなり」rustle [rʌsl]「サラサラ音を立てる」whistle [hwísl]「口笛を吹く」corridor [kɔ(:)rədər]「廊下」exclude A [eksklú:d]「Aを締め出す」distracting [distræktiŋ]「気をそらせる」attractive「魅力的な」single-mindedly「一心に」an equipment [ikwípmənt]「装置」selective [sələktiv]「選択力」respond to A「Aに反応する」continuous [kəntínjuəs]「絶え間ない」handle A「Aを扱う」lump A into B「Aをひとまとめにする」cautious [kɔ(:)ʃəs]「慎重な」infer A [infə:r]「Aと推察する」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)～(3)を和訳せよ。

We pay more attention to and remember messages that we like.  
(1)If we are faced with a message we dislike, or which fails to confirm our prejudices, we tend to ignore those parts which make us uncomfortable. For example, if we dislike or mistrust the source, our interpretation of the message is likely to be hostile. In all this, first impressions are vital. (2)If we begin with a false idea about the purpose of a communication, such an initial error is unlikely to be corrected, and mistakes may snowball.

Anyone who has used a tape-recorder knows how much more difficult it is to avoid background noises than they might have expected. In addition to the voice, there is a storm of other sounds of which you were unaware when making the recording — the hum of the central heating system, rustling papers, someone whistling in the corridor. On the other hand, you can exclude a great deal of distracting noise from your attention when you are getting to know an attractive stranger at a party, concentrating single-mindedly on the words being spoken. Unlike simple recording equipment, human perception is brilliantly selective: you can ignore almost anything you want to, but the sound of someone speaking your name will cut through a forest of other sounds. (3)This selection is vital for human development if only because we have to respond to a continuous flood of messages, and one brain can handle only so much information. What is more, we have to lump things together into broad categories and treat them

as the same until they are proved different: not even the most cautious philosopher will treat each new event as totally distinct from all that has passed before, but will infer similarities and thereby know how to respond.

## 発展問題

【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本文の意味を英語で表しなさい。

ぼくが経験した限りでは、どんな楽しい夢でも、楽しい現実には遠く及ばない反面、悪夢のほうは、むしろ現実の不安や恐怖を上まわる場合が多いような気がする。たとえば、何度も繰り返して見た、いちばんなじみ深い夢は、ぼくの場合、笑う月に追いかけられる夢だ。最初はたしか、小学生の頃だったと思う。恐怖のあまり、しばらくは、夜になって眠らなければならないのが苦痛だったほどだ。



## NO 12



【1】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 15 分

次の文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

To converse well, either with another person or with a crowd, it is vitally necessary to feel relaxed and comfortably at ease. Many intelligent people have thought themselves slow and dull because they could not produce witty remarks in rapid succession as their companions seemed able to do. This is often because of a pang of embarrassment or self-consciousness, which is akin to stage fright. Feeling a little uncomfortable and ill at ease in the presence of others, one finds his mind won't work right. It simply refuses to come up with the bright remark or the lively comeback that would have found so beautiful a place in the conversation.

---

【1】 〔英文解釈〕 《東京大》 at ease 「くつろいだ」 dull 「愚鈍な」「鈍い」 in rapid succession [sæksəʃən] 「矢継ぎ早に」 in succession 「連続して」 a pang of A [pæŋ] 「心痛」「激痛」 is akin to A [əki:n] 「A に似ている」 stage fright 「上がる」 in the presence of A 「A の前で」 refuse to V 「V することを拒絶する」 come up with A 「A を思いつく」 lively [laɪvli] 「生き生きとした」「鮮やかな」 comeback 「返答」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

Looking round in a commuter train in London, I realized with a shock that, although I had been living in the United States for over three years, I could none the less make a shrewd guess at the circumstances of most of my fellow travellers — their education, their income, their prejudices, their place in the pecking order, even perhaps where they took their holidays. <sup>(1)</sup>It was not something I had been able to do in the States — neither, several friends told me later, could Americans — and I had grown accustomed to being among people less easy to read. George Orwell, in his study of *The English People* written after the Second World War, had reached a similar conclusion: ‘The great majority of the people can still be “placed” in an instant by their manners, clothes and general appearance.’ <sup>(2)</sup>The reminder that so little had changed was both comforting and alarming. I had been stimulated by living in an unpredictable and — by me at least — still largely unexplored society but I had missed deeply the sense of belonging, of being among familiar, small-scale landscapes and buildings, of being with people whose outlook had been shaped by the same influences as mine had been, and of being wrapped in history and traditions that stretched in the mind’s eye back almost to the beginning of recorded time. I had, I confess, briefly considered staying in the States and seeking a further job there, but it had been a whim rather than a serious exploration of the

idea. The United States had been an adventure, but Britain was home.

(注) in the pecking order 「社会の序列」

---

【2】〔英文解釈〕《京都大》a commuter train [kəmju:tər] 「通勤列車」 none the less 「にもかかわらず」 shrewd [ʃru:d] 「鋭い」 comforting [kʌmfərtɪŋ] 「慰みになる」 alarming [ə'lɑ:rmɪŋ] 「心配な」「驚かせる」 unexplored [ʌn eksplɔ:rd] 「探求されていない」「未知の」 outlook [áutlùk] 「見方」「見解」 stretch [stretʃ] 「広がる」 confess that SV... [kən'fés] 「SV...と自白する」 briefly [brí:flɪ] 「短い間」 a whim [hwɪm] 「気まぐれ」

**発展問題**

【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本語の意味を英語で表しなさい。

井原西鶴の浮世草子の作品を思い浮かべてもよいが、大阪を中心とする上方文化には、現実的で経済性を重んじる気風があったのである。また、閉鎖的な傾向のある市場の中で、日常的に無駄とも見える会話を重ねることを通して、商機をつかんでいくという商習慣もあって、おしゃべりを嫌わず、むしろ歓迎する気風も育っていたのであろう。

## NO 13 <ENGLISH COMPOSITION>



### 【1】 [英作文]

解答時間各 15 分

次の日本文の(1)(2)の下線部を英訳しなさい。(3)(4)は全訳しなさい。

(1)

いまの私たちにとって「ごく自然」と思われているふるまいは、別の国の、別の文化的バックグラウンドを持っている人々から見れば、ずいぶん奇矯なものと映るでしょう。(だから「ここが変だよ日本人」というような批判的コメントがほとんど無限に提出できるわけです。)

それどころか、同じ日本人であっても、地域が変わり、世代が変われば、同一の現象についての評価は一変します。半世紀後の日本人から見たら、いまの私たちが何気なく実践している考え方やふるまい方の多くは、「二十一世紀はじめころの日本社会に固有の奇習」として回想されるに違いありません。

(内田 樹 『寝ながら学べる構造主義』)

(2)

若者の凶悪犯罪が増えていることについての議論が盛んだ。よく耳にするのは、今の若者が目標をもっていないことについての懸念で、彼らの生きがいとなるような目標を与えることが社会に求められているとする。しかし、そうだろうか。社会はこれまで子供たちに目標を押しつけて、そのために今を犠牲にすることを強いてきた。そのことが多くの不幸せな若者をつくり出したのだと、ぼくには思えるのだが。

(辻 信一 『スロー・イズ・ビューティフル』)

(3)

世の中で生きていくとき、他人の心がわかるか、わからないかで、大きな開きが出てくる。どのような社会で生きるにせよ、人は単独に生きるわけではない。それなら他人の心を理解することは、人生でなにより大切なことであるはずである。

(養老孟司 「時代の風 他人を理解する」 毎日新聞 2002年4月14日)

**発展問題****【1】****解答時間 20分**

人というのは、ちょっとスポーツをやって汗をかいたりするだけで、そう簡単に癒されるものじゃないし、最後まで癒されないものだとは思うんですね。ストレスは、生きていればたまって当然で、それを解消しようとするれば、逆に、解消できないストレスがたまっちゃう。だから、どうせ解消できないものは、ほっぽっとくしかないと思うんですよ。

(大石静 「スケジュールの合間で」 毎日新聞 2000年10月14日夕刊)

## NO 14

【1】 〔長文総合〕 《東京大》



解答時間 20 分

次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

A sari for a month. It shouldn't have been a big deal but it was. After all, I had grown up around women wearing saris in India. My mother even slept in one.

In India, saris are adult clothes. After I turned eighteen, I occasionally wore a beautiful sari for weddings and holidays and to the temple. But wearing a silk sari to an Indian party was one thing. Deciding to wear a sari every day while living in New York, especially after ten years in Western clothes, seemed <sup>(1)</sup>outrageous, even to me.

The sari is six yards of fabric folded into a graceful yet impractical garment. It is fragile and can fall apart at any moment. When worn right, it is supremely elegant and feminine.

It requires ( 2a ), however. No longer could I spring across the street just before the light changed. The sari forced me to shorten my strides. I had to throw my shoulders ( 3a ) and pay attention to my posture. I couldn't squeeze ( 3b ) a crowded subway car for fear that someone would accidentally pull my sari. I couldn't balance four bags from the supermarket in one hand and pull out my house keys from a convenient pocket ( 3c ) the other. By the end of the first week, I was feeling frustrated and angry with myself. What was I trying to ( 4a )?

The notion of wearing a sari every day was relatively new for me. During my college years — the age when most girls in India

begin wearing saris regularly — I was studying in America as an art student and I wore casual clothes just as other students did. After getting married, I became a housewife experimenting with more fashionable clothes. Over the years, in short, I tried to talk, walk, and act like an American.

Then I moved to New York and became a mother. I wanted to teach my three-year-old daughter Indian values and traditions because I knew she would be profoundly different from the children she would play with in religion (we are Hindus), eating habits (we are vegetarians), and the festivals we celebrated. Wearing a sari every day was my way of showing her that she could melt into the pot while keeping her individual flavor.

It wasn't just for my daughter's sake that I decided to wear a sari. I was tired of trying to ( 4b ). No American singers had ever spoken to me as deeply as my favorite Indian singers. Nor could I sing popular American songs as easily as I could my favorite Indian tunes. Much as I enjoyed American food, I couldn't last four days without an Indian meal. It was time to show my ethnicity with a sari and a bright red bindi. I was going to be an ( 5a ), but on my own terms. It was America's turn to adjust to me.

Slowly, I eased into wearing the garment. I owned it and it owned me. Strangers stared at me as I walked proudly across a crowded bookstore. Some of them caught my eye and smiled. At first, I resented being an ( 5b ). Then I wondered: perhaps I reminded them of a wonderful holiday in India or a favorite Indian



cookbook. Shop assistants pronounced their words clearly when they spoke to me. Everywhere, I was stopped with questions about India as if wearing a sari had made me an ( 5c ). One Japanese lady near Times Square asked to have her picture taken with me. (6)A tourist had thought that I was one, too, just steps from my home.

But there were unexpected ( 2b ). Indian taxi drivers raced across lanes and stopped in front of me just as I stepped into the street to hail a cab. When my daughter climbed high up the jungle gym in Central Park, I gathered my sari and prepared to follow, hoping it wouldn't balloon out like Marilyn Monroe's dress. One of the dads standing nearby saw that I was in trouble and volunteered to climb after her. (7)A knight in New York? Was it me? Or was it my sari?

Best of all, my family approved. My husband praised me. My parents were proud of me. My daughter gave out a sigh of admiration when I pulled out my colorful saris. When I hugged her tenderly in my arms, scents from the small bag of sweet-smelling herbs that I used to freshen my sari at night escaped from the folds of cloth and calmed her to sleep. I felt part of a long line of Indian mothers who had rocked their babies this way.

Soon, the month was over. My self-imposed ( 2c ) was coming to an end. Instead of feeling liberated, I felt a sharp pain of unease. I had started to ( 4c ) my sari.

Saris were impractical for America, I told myself. I would continue to wear them ( 8 ). It was time to go back to my sensible casual clothes.

注 : bindi ヒンドゥー教徒の女性が額につける印

(1) 下線部(1)の言い換えとして最も適切なものを次のうちから選び、その記号を記せ。

ア extreme      イ gorgeous      ウ hostile  
エ precious      オ serious

(2) 空所( 2a )～( 2c )を埋めるのに最も適切なものを次のうちから一つずつ選び、それぞれの記号を記せ。同じ記号を複数回使ってはならない。

ア advantages      イ assistance      ウ attempts  
エ convenience      オ feelings      カ helplessness  
キ information      ク obligation      ケ opportunity  
コ sacrifices

(3) 空所( 3a )～( 3c )を埋めるのに最も適切なものを次のうちから一つずつ選び、それぞれの記号を記せ。同じ記号を複数回使ってはならない。

ア above      イ at      ウ back  
エ beyond      オ for      カ from  
キ into      ク under      ケ with

(4) 空所( 4a )～( 4c )を埋めるのに最も適切なものを次のうちから一つずつ選び、それぞれの記号を記せ。同じ記号を複数回使ってはならない。

ア	avoid	イ	enjoy	ウ	fit in
エ	insist	オ	prove	カ	put on

(5) 空所( 5a )～( 5c )を埋めるのに最も適切な組み合わせを次のうちから選び、その記号を記せ。

ア	authority / exhibit / immigrant
イ	authority / immigrant / exhibit
ウ	exhibit / authority / immigrant
エ	exhibit / immigrant / authority
オ	immigrant / authority / exhibit
カ	immigrant / exhibit / authority

(6) 下線部(6)を和訳せよ。ただし、one が何を指すか明らかにすること。

(7) 下線部(7)の説明として最も適切なものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア She is amazed that a man would be kind enough to help a stranger in New York.
- イ She is surprised that a man of noble birth would act so bravely in New York.
- ウ She wonders if men have many opportunities to help beautiful women in New York.
- エ She is confused by a father putting her daughter before his own children in New York.
- オ She is shocked at a man's eagerness to get to know someone who looks so different in New York.

(8) 空所( 8 )を埋めるのに最も適切なものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア but not every day
- イ in order to feel liberated
- ウ no matter how inconvenient
- エ and enjoy their sweet herb smell
- オ only to show I am an Indian mother

(9) 本文の内容と一致するものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア The writer decided to wear saris because she wanted to express her Indian identity.
- イ The sari was so elegant and feminine that the writer naturally behaved gracefully.
- ウ Despite her initial reluctance to wear saris, the writer gradually became an expert on India.
- エ Shop assistants spoke to the writer very politely because they saw her in a sari and thought she should be treated with respect.

---

【1】〔長文総合〕《東京大》sari「サリー(インドの服)」a big deal「おおきなこと」fabric [fæbrɪk]「布」graceful [gréisfəl]「優雅な」impractical [ɪmpræktɪkəl]「非実用的な」garment [gɑːrmənt]「衣装」fragile [frædʒəl]「壊れやすい」「着崩れしやすい」fall apart「ばらばらになる」「脱げてしまう」supremely[səpriːmli]「非常に」「この上なく」feminine [fémənɪn]「女性らしい」posture [póstʃər]「姿勢」squeeze [skwiːz]「圧縮する」「搾る」frustrated [frʌstrətɪd]「いらいらする」profoundly [proufáundli]「深く」「非常に」celebrate A [séləbrèɪt]「Aを祝福する」much as SV...「SV...だけでも」ethnicity[eθnɪsətɪ]「民族性」bindi「ビンディー：額に施す装飾。原則として既婚で」「なおかつ夫が存命中のヒンドゥー教徒の女性がつけるもの」ease into A「Aに慣れる」resent A [rizént]「Aに腹を立てる」race「急ぐ」hail A [heɪl]「Aを止める」balloon「風船みたいに膨らむ」volunteer to V [vələntiər]「すすんでVする」sigh「ため息」a scent [sent]「好ましいにおい」freshen A [fréʃən]「Aを新鮮にする」liberate A [libərəɪt]「解放する」「自由にする」casual [kæʒuəl]「カジュアルな」

**発展問題**

【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本語の意味を英語で表しなさい。

言語は、人間にのみ備わった能力である。何か考えごとをするときに、私たちは常に言葉を使っている。言葉はあまりに身近にあるので、その存在を忘れてしまうことさえある。しかし、病や事故などで言葉に不自由を感じるようになって、初めてその存在の大きさに気づくことがあるだろう。

## NO 15



【1】 英文解釈 《東京大》

解答時間 15 分

次の文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Some people are so changed by their life's experience that in old age they behave in completely unexpected ways. Many of us know elderly men and women who no longer act as we have come to expect them to act. I am not talking here about victims of senile dementia\*. In the examples I am talking of the person continues to behave in what most people would agree is a normal manner, but one so remote from his old self that he appears, to those who know him, to be someone else entirely.

(注) senile dementia [sí:nail][dimén.fə] 「老年性痴呆」

---

【1】 [英文解釈] 《東京大》 a victim [víktəm] 「犠牲者」 remote [rimóut] 「かけ離れた」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(3)を和訳しなさい。

There are about three hundred operating satellites orbiting Earth right now, but there are many more satellites that, though they have ceased operation, are still whirling about up there.

Nor are the satellites themselves all there is. These satellites were hurled into space by rockets, and there are pieces of rocketry that are still in space as a result.

(1)Some satellites have exploded or have collided, one with another, and each time this happens, they fragment into small pieces, all of which continue to orbit the Earth.

There are, as a result, six thousand man-made pieces of debris large enough to be tracked by radar, and they are being tracked. There are, however, many more bits of matter that are too small to be tracked. According to some estimates, there are sixty thousand pieces of debris about an inch in size. There may also be uncounted millions of flecks of paint.

We may smile at the thought of engineers becoming upset over a fleck of paint, but even such an inconsiderable object becomes something to worry about when it is traveling at a rate of several miles per second. (2)In June 1983, a fleck of paint that was only one one-hundred-twenty-fifth of an inch across — too small to see — struck a window of the space shuttle *Challenger*. The collision managed to gouge out a bit of glass, leaving a tiny crater, one-tenth of an inch across, in that window. This may not seem like much, but it weakened the window sufficiently to make it necessary to



replace it, at a cost of \$50,000, before the shuttle flew again. That was an expensive fleck of paint, then, and if something a little more massive had struck, there might have been a disaster on the *Challenger* two and one-half years earlier than the explosion that killed seven crew members.

And the situation is growing worse. The United States, the Soviet Union, and other nations are continuing to launch objects into space. Explosions and collisions continue. The amount of debris continues to mount, so that some people estimate that the number of pieces in space will quadruple every ten years.

(3) This means that it is quite possible that, by the year 2000, we can expect that any working satellite in any given year has one chance in two hundred of being hit by a piece of debris about one inch across. If there are four hundred working satellites in space at that time, then we can expect, on average, that each year two working satellites will be struck. The damage is quite likely to be serious; if the debris happens to strike a particularly vital part, the satellite may be put out of action altogether.

---

【2】〔英文解釈〕《京都大》orbit A [ɔːrbɪt] 「Aの軌道を回る」 cease to V 「Vするのをやめる」 whirl [hwɜːrl] 「ぐるぐる回る」 hurl [hɜːrl] 「力いっぱい投げつける」「打ち上げる」 explode [ekspləʊd] 「爆発する」 collide [kəleɪd] 「衝突する」 fragment into A [frægmənt] 「砕けてAになる」 a debris [dəbrɪːs] 「破片」 a fleck [flek] 「斑点」「断片」「破片」 inconsiderable [ɪnkənsɪdərəbl] 「とるにたりない」 gouge out A [ɡəʊdʒ] 「Aをえぐる」 quadruple [kwɔːdrʊpl] 「4倍になる」 put A out of action 「Aを機能しなくさせる」

**発展問題**

【1】〔長文英作文〕《大阪大》

解答時間 20 分

次の日本語の意味を英語で表しなさい。

日本を離れユーラシア大陸の外縁を大した目的もなくうろついていた一時  
期しばしばというのではなかったが、私にも日本の食物を恋しく思うことがあ  
った。しかし意外なことに、そこで思い浮かべる食物といえば鮭、天麩羅、す  
きやき、うなぎ、味噌汁、漬物といった、いわゆる日本風の物ではなかった。  
たとえば、インドを歩いていた時、私が痛切に食べたいと望んでいたもののひ  
とつは、カレーライスだった。カレーの本場であるインドで、私は日本のカレ  
ーを恋しく思っていたのだ。

## NO 16



【1】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 15 分

次の文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

People forget how important it is to be lazy in libraries. Not of course idle: idleness means daydreaming. Laziness means reading the books one ought not to be reading, and becoming so absorbed in them that at the end of the day you still have most of the reading to do that you had before you that morning. Creative laziness broadens the mind.

---

【2】 〔英文解釈〕 《京都大》 a questionnaire [kwɛstʃənɛər] 「アンケート」 precisely [pri(:)sáɪsli] 「はっきりと」 inquiry [ɪnkwaɪəri] 「質問」 a bound 「範囲」 approve of A [əprú:v] 「A を認める」 constitute A [kánstətjú:t] 「A を構成する」 「A の一部となる」 legitimate [lədʒítəmət] 「正当な」 a mule [mjú:l] 「ラバ」 stubbornness [stʌbɜ:nɪs] 「不屈」 confront A [kənfrʌnt] 「A に直面すると」 in the presence of A 「A に直面する」

## 【2】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1) (2)を和訳しなさい。

Not long ago, I received in the mail a questionnaire, I cannot now precisely remember from whom: a graduate student somewhere, working on a thesis. The inquiry concerned what the researcher was calling “impure forms” of literature — which included, as I recall, any form of writing not falling comfortably within the bounds of established genre. <sup>(1)</sup>I read through this document quickly and without much attention until I reached the question which asked whether or not I approved of such “impure forms,” whether I thought writing of that kind constituted legitimate literature. Once I got beyond simple surprise that anyone would ask such a question, I found myself thinking, predictably enough, about an animal familiar from my childhood on a Mississippi farm, and wondering whether it ever occurred to anyone to approve or disapprove of mules. Immediately I knew the answer was *yes*, and I thought of the first line of the poem “Mule”: “Here is this horse from a bad family”; <sup>(2)</sup>I thought, too, of the image of the mule as it appears throughout a well-known American novelist’s work, how he associates the beast always with the poor and makes of it a symbol of patient intelligence and stubbornness in the face of suffering. Suddenly I understood that, in confronting this issue of impure forms, I was in the presence of politics.

**発展問題**

**【1】** 〔長文英作文〕 《大阪大》

**解答時間 20 分**

次の日本語の意味を英語で表しなさい。

日本語では、相手の意見に合わない、同意できない場合は、はっきりとは  
いわないで、少しお茶を濁したような言い方をすることが多い。相手の意見に  
ついて反対するわけだが、その人の意見に対してというよりは、その人の人格  
そのものを否定しているととられるおそれがあるからである。

**NO 17** <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>

【1】 [リスニング選択]

【2】 [英作文選択] 《東京大》

解答時間 20 分

現在、全世界で約 3,000 から 8,000 の言語が話されていると言われている。もしそうではなく、全世界の人々がみな同じ一つの言語を使用しているとしたら、我々の社会や生活はどのようになっていたと思うか。空所を 50～60 語の英語で埋める形で答えよ。答えが複数の文になってもかまわない。

If there were only one language in the world, \_\_\_\_\_

---

---

---

【3】 [英作文選択] 《東京大》

解答時間 20 分

(A) 次の Kiyoshi と Helen の会話を読み、空所(1)と(2)をそれぞれ 15～20 語の英語で埋めよ。(1)と(2)のそれぞれが複数の文になってもかまわない。

Kiyoshi : Have you read today's newspaper? Apparently, in England, it's illegal to sell pets — even goldfish! — to children under the age of sixteen because they may not be able to take proper care of them. Offenders can be put in prison for one year.

Helen : Wow! (1) \_\_\_\_\_

Kiyoshi : Yes, that's true. But (2) \_\_\_\_\_

Helen : I guess you're right.

(B) 次の英文を読み、その内容について思うところを 50～60 語の英語で記せ。ただし、understand と pain は、それぞれ一回しか用いてはならない。

It is not possible to understand other people's pain.

【4】 [英作文選択] 《東京大》

解答時間 20 分

(A) 次のような質問を受けたと仮定し、空所(1)、(2)をそれぞれ 20～30 語の英語で埋める形で答えを完成させよ。(1)、(2)のそれぞれが複数の文になってもかまわない。

Question : Do you think reading books will help you acquire the knowledge you need to live in today's world?

Answer : My answer is both yes and no.

Yes, because (1) \_\_\_\_\_

No, because (2) \_\_\_\_\_



## NO 18



【1】〔英文解釈〕《阪大神大型》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

The question which comes first — society or the individual — is like the question about the hen and the egg. Whether you treat it as a logical or as a historical question, you can make no statement about it, one way or the other, which does not have to be corrected by an opposite, and equally one-sided, statement. Society and the individual are inseparable; they are necessary and complementary to each other, not opposites.

【2】〔英作文〕《島根大》

解答時間 20 分

次の日本語の下線部(1), (2)を英語に直しなさい。

(1)科学者たちは、これまで宇宙で目撃された中で最も遠い場所で起こった爆発を探知しました。それは非常に強力な閃光だったため、宇宙のほぼ端からだったにもかかわらず、かすかに光が届くのを観察することができました。この爆発の発見は科学の最先端に新たな視点を切り開きました。

天文学では距離は時間を意味します。(2)遠くにあるものほど、その光がこちらにたどり着くまでに長い時間がかかります。つまり、この星の爆発は同時に観測史上最古でもあるのです。

(『VOA 科学ニュースの英語』より 一部改変)

---

【1】〔英文解釈〕《阪大神大型》 inseparable [inséperəbl] 「不可分の」 complementary [kâmpləménteri] 「補完しあう」

## 【3】〔英文解釈〕《京都大》

解答時間 30 分

次の英文を読んで下線部(1)(2)(3)を和訳しなさい。

In some field sports one team tries to move an object from one end of the field, through a hostile set of defenders, to a goal at the opposite end. The object, not the players, makes the score. In baseball it is the runner alone who scores. The ball is controlled largely by the fielders, whose ability to move it around the field works against the runner's interest. The batter, meanwhile, opposes the ball, hoping to knock it free of the fielders' control — out of the park, if possible. When he fails — if the ball is caught in the air or is returned to confront him or one of the base runners — he has made an “out.” (1)This essentially hostile relationship between offensive players and the ball is a distinctive characteristic of the game.

(2)The action of baseball, then, can be conceived of as a series of travels by individuals who attempt to leave home and make a circuit through a social field marked with obstacles. It is not getting through the field itself that scores, however, but returning safely home. Baseball is our version of what Australian aborigines call a walkabout — a circular journey into alien territory, with the aim of returning home after making contact with sacred landmarks and braving hazards along the way.

Thus baseball dramatizes a recurrent cultural problem: how to reconcile communal values with a tradition of heroic individualism and privatism. But the power of baseball as a ritual comes from more than a simple opposition between the social and the

individual. (3)It derives from the dramatization of the tension between the two and from an attempt to reconcile them symbolically. So baseball can be viewed as several kinds of contest going on simultaneously, each representing a different aspect of the relation between self and society.

---

【3】〔英文解釈〕《京都大》hostile [hástel]「敵意のある」meanwhile [mí:nhwàil]「一方」if possible「可能ならば」confront A [kənfrʌnt]「Aに直面する」essentially [esén,ʃeli]「本質的に」offensive [əfénsiv]「攻撃側の」distinctive [distɪŋktɪv]「際立った」conceive of A as B [kənsí:v]「AをBと思う」mark A with B「AにB(の印)をつける」obstacles [ábstəkl]「障害物」an aborigine [æbərídʒəni:]「アボリジニ」「オーストラリアの先住民」walkabout「放浪」territory [térətɔ:ri]「地域」sacred [séikrid]「神聖な」a landmark [lændmà:rk]「目標」brave A「Aと勇敢にも戦う」a hazard [hæzərd]「困難」dramatize A「Aを劇的に表現する」recurrent [rikə:rənt]「くり返し起こる」reconcile A with B [rékənsàil]「AとBを和解(融和)させる」communal [kəmjú:nel]「共同社会の」heroic [hiróuik]「英雄の」individualism [ɪndəvídʒuəlɪzəm]「個人主義」privatism「私事主義」ritual [rít,ʃuel]「儀式的な」symbolically[ simbálik eli]「象徴的に」simultaneously [sàiməltéiniəsli]「同時に」



## NO 19



### 【1】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 15 分

次の文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Emotions are everywhere the same; but the artistic expression of them varies from age to age and from one country to another. We are brought up to accept the conventions current in the society into which we are born. This sort of art, we learn in childhood, is meant to excite laughter, that to provoke our tears. Such conventions vary with great rapidity, even in the same country.

### 【2】 〔英作文〕 《島根大》

解答時間 20 分

次の日本文の下線部(1), (2)を英語に直しなさい。

最近では脳科学の話題があがることが多いので、脳の働きについてはこれまでどのようなことがわかっている、今はどんなことが研究されているのか、ということを知りたいという人も多いでしょう。そのためには、現在研究者たちが取り組んでいることだけを話しても、その意味や面白さをつかんでもらうのは難しいと思います。(1)むしろ歴史をひも解き、時代を画する重要な研究がいかにして生まれたかを振り返るのが一番良い方法です。

脳神経科学は、近年すさまじいほどの進展をみせています。そうしたいわば「爆発の時代」の渦中にある研究者たちも、ややもすると目先の出来事に目を奪われて、研究の流れがどこに向かっていこうとしているのかを見失いがちです。(2)自分たちの研究の方向性を見据えるためにも、目先の流れに左右されない大局観がほしいものですが、そのためにはこれまでの発展の歴史を見つめ直すことが必要です。

(外山敬介他編『脳科学のテーブル』より 一部改変)

## 【3】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)～(4)を和訳せよ。

On television, when someone is interviewed on the screen who is a long way away, there is sometimes a blank-faced pause, a beat of two, before he replies to a question. <sup>(1)</sup>This is the time it takes for the end of the question to rebound from the satellite. It looks odd, because it seems to be a part of our politeness to reply at once; a silence suggests that we think it a silly or rude question.

You learn this time-lag when you try telephoning via satellite. When you speak you hear a faint echo of your last words. The person on the other end has begun to reply, hears your echo and stops, thinking you haven't finished. But if you allow a beat of two the result is very queer, as well as passionless: 'The dog died — died,' one, two, 'When? — When?', one, two. The pause makes personal communication almost impossible, although probably it is all right for the transmission of facts. It is as though, in order to make human contact, we verbally have to tread on each other's heels.

At all events, that seems to be the case in England; not so in Australia. I first noticed this in England, among Australian friends. When I finished speaking they paused, before they replied, as though what I had said was being sifted for rubbish-content. Then I began to suspect they were just not very bright. It was only when I reached Australia that I realised this pause was a national characteristic; that, far from being rude, it was their form of politeness.

They wish to make sure that you have entirely finished before they speak. <sup>(2)</sup>It is as though they had invented a way, perhaps made necessary by the vastnesses of their country, of communicating, as though by satellite, long before the things were ever fired into the sky. It can be worrying, if you are not used to it. For this silence is preceded, it is important to understand, by an apparently blank and earnest attention. There is no recourse to those restless signals of agreement or disagreement; nose-scratchings, ear-rubbings, crossing and uncrossing of knees. They would regard these as attention-seeking, rude, and they are extremely polite people. They sit passive, as though in class, thinking their own thoughts. It is terrifying. <sup>(3)</sup>I had not realised how much we in Britain take part in a conversation when not speaking. Without that encouragement, unless you are self-obsessed\*, you begin to hesitate.

Not all Australians employ the satellite-pause, but enough to attract my attention. Perhaps our wildlife has affected us, we are made jumpy by the nervous ways of our sparrows, the speed of our mice; whereas Australians are unconsciously calmed by the slow wing-flap of black swans, made still and patient by wallabies' sleepy eyes.

<sup>(4)</sup>Nevertheless, I would never have dared to generalise in this way if the whole business of the Australian pause was not ritualised, formalised on Australian radio; with, to the English ear and imagination, disconcerting results. Imagine a pause of two slow beats after a politician has answered a question, before the

interviewer asks the next one. Imagine it, and you will soon hear, in nearly audible English, that the interviewer is silently calling him a liar. Imagine a pause of two beats, or more, after a recorded report from some distant trouble-spot. To our imaginations comes a picture of the producer desperately signalling, behind his glass panel. ‘Wrong report!’

Perhaps they are right. Perhaps we fill the dangerous gaps too quickly, hysterically, which is why they suspect us of effeminacy\*. But relations between the sexes, in Australia, require another chapter.

(注) self-obsessed 「自分のことしか頭にない」 effeminacy [ifémənəsi] 「柔弱」

【1】〔英文解釈〕《東京大》vary from A to A 「A ごとに異なる」 a convention [kənvénʃən] 「因習」 「習わし」 current [kə:rent] 「現代の」 provoke A [prəvóuk] 「A を喚起する」

【3】〔英文解釈〕《京都大》blank-faced 「間が空いた」 rebound [ri báund] 「はね返ってくる」 queer [kwíər] 「奇妙な」 passionless 「熱情のない」 「ぼかんとした表情の」 transmission [trænsmíʃən] 「伝達」 verbally [və:rbəli] 「言葉上で」 tread on each other's heels 「相手の直後に続く」 at all events 「とにかく」 characteristic [k`ærəktərístik] 「性格」 「性質」 precede A [pri(:)sí:d] 「A に先んじる」 recourse [riko:rs] 「要求」 restless [réstlis] 「休みのない」 「せわしない」 nose-scratchings 「鼻をかくこと」 ear-rubbings 「耳をこすること」 terrifying [térfàiiŋ] 「恐ろしい」 generalise [dʒénerəlaiz] 「一般化する」 ritualised [rit`uəlaizd] 「形式化した」 disconcerting [diskənsə:rtiŋ] 「当惑さえる」 desperately [déspərit] 「必死に」 hysterically [histérikəl] 「ヒステリックに」



**発展問題**

**【1】** [長文英作文] 《大阪大》

**解答時間 20 分**

次の日本文の意味を英語で表しなさい。

謙虚になれ、ということ人を互いに教え合っています。しかしなかなかそのとおりの気持ちにはなり難いようです。むしろ、自分が愚かである、欠点がある、力が弱い、という事実を直視することによって、人は、言われなくても謙虚にならざるをえないでしょう。そうしてその事実を直視することによって、本当の力が出てきます。



## NO 20



【1】〔英文解釈〕《阪大神大型》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

The equality of women and men is of the utmost importance. Until such time as women have equal rights with men, neither they, men nor society will achieve their full potential. For women to be deprived of equal education, equal employment opportunities or equal rights as human beings means that society will function like a bird with a broken wing.

【2】〔英作文〕《島根大》

解答時間 20 分

次の日本語の下線部(1), (2)を英語に直しなさい。

「豊の上で死にたい」という言葉があるように、人生の終章を病院で過ごすことを嫌がる感覚は、日本人には根強くある。(1)身体の一部が不自由になっても、自宅で治療を受けながら余生を送る在宅医療が見直されているのは、そうした日本人の伝統的な考えが底流にあるからだろう。

在宅医療のメリットの一つに医療費の節減があるが、もちろんそれだけが目的ではない。(2)病院では与えられない精神の安らぎが自宅にはあり、それが治療に大きな効果をもたらすとも考えられている。今後、在宅医療を専門に行う地域医療チームも増えてくるはずだ。

(安部直文『全図解 日本のしくみ』より 一部改変)

---

【1】〔英文解釈〕《阪大神大型》equality [ikwáləti] 「平等」 utmost [ʌtməʊst] 「この上ない」 achieve A [ətʃi:v] 「Aを達成する」「Aを発揮する」 deprive A of B [dipraiv] 「AからBを奪う」

## 【3】〔英文解釈〕《東京大》

解答時間 20 分

次の英文を読み、以下の設問に答えよ。

She said to him, ‘On your birthday, McCreedy, what do you want to do?’ She always called him McCreedy. You would have thought by now, after being his wife for so long, she should have started to call him John, but she never did. He called her Hilda; she called him McCreedy, as if he was a ( 1 ) , as if he was a footballer she had seen on the television.

‘What would the kids like?’ he said.

She lighted up a cigarette. <sup>(2)</sup>Her twentieth or thirtieth that Sunday, he had stopped counting.

‘Never mind the kids, McCreedy,’ she said. ‘It’s your birthday.’

‘Go back to Ireland,’ he said. ‘That’s what I’d like. Go back there for ( 3 ) .’

She put out the cigarette. Typical, he thought. <sup>(4)</sup>She was always changing her mind about everything, minute to minute. ‘When you’ve got a sensible answer,’ she said, ‘let me know what it is.’

He went out into the garden where his nine-year-old daughter, Katy, was playing on her own. Katy and the garden had something in common: they were both small and it looked as if they would never be beautiful no matter how hard anyone tried, because Katy ( 5 ) her dad. More’s the pity.

Now the two of them were in the neglected garden together, with the North London September sun quite warm on them, and

McCreedy said to the daughter he tried so hard to love, 'What'll we do on my birthday, then, Katy?'

She was playing with her showily stylish little dolls. She held them by their shapely legs and their golden hair waved around like flags. 'I don't know,' she said.

He sat on a plastic garden chair and she laid her nymphs side by side. 'Cindy and Barbie are getting stung,' she complained.

'Who's stinging them, darling?'

'Those plants, of course. Cut them down, can't you?'

'Oh no.' he said, looking at where they grew so fiercely, crowding out the roses Hilda planted years ago. <sup>(6)</sup> 'Saving them, sweetheart.'

'Why?'

'For soup. Nettle soup — to make you beautiful.'

She looked at him gravely. For nine years, she had believed everything he had said. <sup>(7)</sup> Now she was on a cliff-edge, almost ready to fly off.

'Will it?'

'Sure it will. You wait and ( 8 ).'

Later in the day, when his son Michael came in. McCreedy stopped him before he went up to his room. He was thirteen.

'Your mother was wondering what we might all do on my birthday. If you had any thoughts about it ...?'

Michael shrugged. It was as if he knew he was untouchable, unconquerable. He was the future. <sup>(9)</sup> He didn't have to give the

present any attention. ‘No.’ he said. ‘Not specially. How old are you anyway?’

‘Forty-five. Or it might be a year more. I don’t remember.’

‘Come on, Dad. Everyone remembers their age.’

‘Well, I don’t. ( (10) ) since I left Ireland. I used to know it then, but that’s long ago.’

‘Ask Mum, then. She’ll know.’

Michael went on up the stairs, scuffing the carpet with the smelly shoes he wore. No thoughts. No ideas. Not specially.

And again McCreeedy was alone.

(1)空所( (1) )を埋めるのに最も適切な語を次のうちから選び、その記号を記せ。

ア brother    イ father    ウ master    エ stranger

(2)下線部(2)を和訳せよ。

(3)空所( (3) )を埋めるのに最も適切な語を次のうちから選び、その記号を記せ。

ア all    イ dead    ウ good    エ granted

(4)下線部(4)には誰のどのような気持ちが表われているか。最も適切なものを次のうちから選び、その記号を記せ。

ア 妻の柔軟なものの考え方に対する夫の驚嘆が表われている。

イ 妻の日頃の生活態度に対する夫のいらだちが表われている。

ウ 夫の強い望郷の念に共感できない妻の不満が表われている。

エ 夫の非常識な発言を理解できない妻の困惑が表われている。

(5)空所( (5) )を埋めるのに最も適切な語を次のうちから選び、その記号を記せ。

ア recognised    イ represented    ウ resembled    エ  
respected

(6)下線部(6)を、**them** が何を指すか明らかになるように和訳せよ。

(7)下線部(7)は、彼女の中にどのような気持ちが芽生えたことを表わしているか。10字以内で記せ。

(8)空所( (8) )を埋めるのに最も適切な英語 1 語を記せ。

(9)下線部(9)を和訳せよ。

(10)次のうちから空所( (10) )を埋めることができない語を 1 つ選び、その記号を記せ。

ア Especially    イ Ever    ウ Lately    エ Not

---

【3】〔英文解釈〕《東京大》neglected [niglékətid]「無視された」「荒れ放題の」showily [ʃóuili]「これみよがしな」stylish [stáiliʃ]「格好のいい」shapely [ʃéipli]「スラリとした」a nymph [nimf]「(ニンフのように)美しい人形」fiercely [fiərs]「獐猛に」「ぼうぼうに」untouchable「触れることができない」「不可触の」unconquerable「侵すことができない」「不可侵の」scuff A[skʌf]「Aを引きずって歩く」

**発展問題****【1】** [英作文] 《京都大》**解答時間 20 分**

次の日本語を英訳しなさい。

日本の庭は、むかしからよくいわれるように、みる庭であって、そこで運動をしたり休息したりするような、なにかの行為をする庭ではなかったのである。戦前にそだった人たちは、子どものころに、母親から「お庭で遊んではいけません」といってしかられた記憶をたいていもっているだろう。



## NO 21



### 【1】〔英作文〕

解答時間各 20 分

次の(1)～(4)の日本語の下線部の意味を英語で表せ。

(1)

最近は初歩や中等程度の英会話ができる人は、ずいぶん増えてきた。しかし、口頭で抽象的な討論や入り組んだ議論を英語でこなせる人はまだ少ない。これは、英文で筋道の立った文章を組み立てる訓練が欠けているからだ。つまり、話す力以前の書く能力が不足している。「簡単な会話はできるが、複雑な文章は書けない」というのが現実に近いのではないだろうか。

(2)

最近、若い人たちとのつきあいの中で、「なぜ生きなければならないのか、その理由がわからない」という言葉を耳にすることがしばしばあります。そんなとき、私は「生きることの意味などという命題は、生きて生きて生き抜いてみなければ誰にもわからないでしょう」と答えることにしています。

私たちの人生とは、日々の暮らしの中で、まったく予想もしていなかったこととの遭遇もふくめたいろいろの体験をとおして、生きていることの意味を問いつづけていくことだと思います。

(3)

一流の職人は、一流の仕事をします。細かいところまで目が行き届き、ていねいな仕事です。最後まで手を抜かずに一所懸命してくれたことがわかります。どんな分野であれ職人として一流になるには、長い修業の期間が必要です。腕の良い一流の職人と言われる人は、何年も何年も誠実に地道に、そのような仕事を積み上げてきたのです。

(4)

人生にさまざまな困難が起こってくると、どうしても人は安易なものに逃避したくなる。無意識のうちに、夢の中に逃げこんで、きびしい現実を忘れたくなる。だが、現実のほうは一向に変わらないのだから、本当は、勇気を出して、それと真正面から取り組むべきだろう。苦しみもあるが、希望はそこからしか生まれない。

**発展問題****【1】****解答時間 20 分**

私は科学者のエピソードを読むのが好きである。それも科学史の教科書で語られる偉大な業績ではなく、思い込みや期待から犯してしまった間違いの数々を読むのが楽しい。間違いの中に次の発見へのヒントが隠されていたことがあったり、間違いを克服する努力が新しい分野を拓<sup>ひら</sup>くきっかけになったこともあったからだ。

## NO 22



### 【1】〔英文解釈〕《阪大神大型》

解答時間 15 分

次の英文の下線部を和訳しなさい。

Human language differs from animal 'language' not only in the unique way in which it uses sound, but also in the enormous amount of variation in content that its formal structure permits. Our entire elaborate social structure is mediated through language, and it is inconceivable that we could have constructed so complex a social interaction if we had not had spoken and, later, written language at our disposal.

### 【2】〔英作文〕《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

時間を正確に守らないのは、忙しすぎる人と、暇すぎる人に多いようである。前者は、他人は自分ほど忙しくないだろうから、少しぐらい待ってもらっても許されるだろうと考え、後者は他人にも暇な時間がどっさりあると考えている。どちらも自己中心の考え方であることはいうまでもない。

---

【1】〔英文解釈〕《阪大神大型》 unique [ju(:)ni:k] 「独特な」 enormous [ino:rməs] 「膨大な」 variation [vèeriéi:fen] 「変化」 (vary [véeri] 「変わる」 の名詞形) in content [kántent] 「内容面で」 mediate A [mí:dièit] 「A を仲介する」 「A を取り次ぐ」 construct A [kənstrakt] 「A を組み立てる」 「A を建設する」 interaction [intərəkt:fen] 「相互作用」 have A at one's disposal [dispóuzel] 「A を自由に扱う」

---

【3】〔英文解釈〕《京都大》 astounding [əstáundɪŋ] 「驚くべき」 (surprising < astonishing < astounding) an organism [o:rgənizem] 「生命体」 incredible [inkrédəbl] 「信じられない」 flexibility [fléksəbl] 「柔軟性」 (flexible の名詞形) admirable [ædmerəbl] 「賞賛すべき」 precision [pri(:)sízɛn][pri(:)sízɛn] 「精密」 「正確」 ensure A [en:ʃúə] 「A を確保する」 continuation [kəntinjuéi:fen] 「継続(性)」 「持続(性)」 perpetuation [pərpét:juèi:fen] 「持続(性)」 (perpetuate [pərpét:juèit] 「持続する」 の名詞形) successive [səksésiv] 「連続した」 「次々の」 precise [pri(:)sáis] 「精密な」 stagger A [stægə] 「A をよろめかせる」 by mere chance 「単なる偶然で」 (by chance 「たまたま」) a realization 「実現」 manifest itself [mænəfèst] 「現れる」 「明らかになる」 inanimate 「命のない」 「活気のない」 (an inanimate matter [inænəmit] 「無生物」)

## 【3】〔英文解釈〕《京都大》

解答時間 30 分

次の英文の下線部(1)(2)を和訳しなさい。

During the long and astounding history of the development of life on our planet, living organisms have adapted themselves with incredible flexibility to the conditions of existence offered to them and have reached that degree of marvelous complexity and admirable precision to be found in the evolved species and, in particular, in the higher vertebrates\*. (1) Apart from being astonished by physico-chemical\*\* mechanisms that ensure the continuation of life in individuals and its perpetuation through successive generations, how can one fail to admire the perfection of those “sense organs” which allow a living being to know its environment and, thanks to its mobility, to find there what can be useful to it and avoid as far as possible the dangers which may lie in wait for it? (2) The marvelously precise structure and the extraordinary sensibility of organs, such as the eye and ear of the higher animals, stagger the imagination, and it seems incredible that such organs could have been produced by mere chance, even over enormous periods of time. The realizations of life seem to result from a kind of organizing force which does not manifest itself in inanimate matter and whose true nature is totally unknown to us.

\*vertebrates : せきつい動物

\*physico-chemical : 物理化学的

**発展問題**

**【1】** [英作文] 《京都大》

**解答時間 20 分**

次の日本語を英訳しなさい。

学生時代に、一人だけでよいから外国人の親しい友人を持ちなさい、と言いたい。そうした友人がいないということ自体が、世界の尺度に当てはめてみれば、きわめて異常なことだ。これも日本が永年、世界から隔絶された、閉鎖的な社会であったからである。

## NO 23 &lt;L&amp;EC&gt;



【1】 [リスニング選択]

\*演習講義のため、教材は当日配布します。

【2】 [英作文選択] 《大阪大》

解答時間各 20 分

次の(1)(2)日本文の下線部の意味を英語で表しなさい。

(1)

私は大学時代、優れた先生の授業は、自分ひとりに向かって語りかけてく  
れているのだと思いながら聴いていた。もちろん話を聴きながら、学生たちみ  
んなで笑ったりするのは楽しい。そうした連帯感も当然ある。しかし、言葉が  
深く入る瞬間には、一対一の勝負としてイメージしている。勝ち負けというこ  
とではなく、真剣勝負で向き合うときの緊張感をもって話を聴くということ  
だ。

(2)

知性とは、学習し、問題を解き、将来の計画を立て、内面世界と外界を区  
別する個人的能力を表現するのによく用いられる言葉である。私たち人間は、  
この知性、つまり他の種と私たちを隔てている能力に誇りを持っている。

**【3】** 〔自由英作文〕 《大阪大》

観光産業は 20 世紀後半に劇的な成長をとげた。観光客の数が増えるにつれて新しい体験を求める欲求は複雑化した。その結果、旅行者たちはそれぞれの好みに合った観光の形態を求めるようになった。

## NO 24 補講

〔長文総合〕 《東京大》



解答時間 20 分

次の英文を読み、以下の設問に答えよ。

I am on a bus traveling through the desert between Kerman and Yazd when we pull over to a checkpoint. Checkpoints are common along Iranian highways and I've grown accustomed to stopping every hundred miles or so to watch the driver climb out, papers in hand. Sometimes a guard in dark green uniform enters the bus and walks up and down the aisle, eyes flicking from side to side, pistol gleaming in the shadowed interior light.

This is one of those times. The bus falls silent as a young guard enters, and we all determinedly stare straight ahead, as if by our pretending to ignore the guard, he will ignore us. We listen to his footfalls sound down the Persian carpet that lines the aisle, turn, and come back again. He reaches the front of the bus and makes a half-turn toward the door. But then, <sup>(1)</sup>just as we begin a collective deep breath, he surprises us by completing his turn and starting down the aisle again, this time to tap various passengers on the shoulder. They gather their belongings together and move slowly out of the bus and up the steps of a cement block building.

I sit frozen, hoping that the guard will not notice me and the blond hair sticking out of my *rusari*, or head scarf. I've seen guards pull passengers off buses before, and although it never seems to be anything serious — the passengers always return within five or ten minutes — <sup>(2)</sup>I'd just as soon remain in my seat.



The guard climbs out of the bus and I relax, wondering what, ( 3 ) anything, he is looking for. I've been told that these searches are usually about drugs and smuggling, but to me, they seem to be more about the ( 4 ) of power.

The guard is back, and instinctively, I know why. He points to me.

Me? I gesture, still not completely convinced that he wants me. After two months in Iran, I've learned that — contrary to <sup>(5)</sup>what I had expected — foreigners are seldom bothered here.

You, he nods.

Copying my fellow passengers, I gather my belongings together and stand up. Everyone is staring at me — as usual, I am the only foreigner on the bus.

I climb out, nearly falling over my long black raincoat — it or something ( 6 ) women in public in Iran. My heart is knocking against my chest. The guard and one of his colleagues are waiting for me on the steps of the guardhouse. At their feet is my bag, which they've dragged out of the belly of the bus. It looks like a fat green watermelon.

'Passport,' the young guard barks in Persian.

I hand him my crisp, dark blue document, suddenly feeling that *United States of America* is printed across the front much too boldly. I remember someone back home ( 7 ) entering Iran. Too late now.

'Visa?'

I show him the appropriate page in my passport.

‘Where are you coming from?’ His Persian has a strange accent that I haven’t heard before.

‘Kerman,’ I say.

‘Where are you going to?’

‘Yazd.’

‘Tourist?’

I nod, thinking there’s no need to complicate matters by telling him that I’m here in Iran to write a *safarnameh*, the Persian word for travelogue or, literally, ‘travel letter.’ But then immediately ( 8 ). My visa says *Journalist*.

Slowly, the young guard flips through the pages of my passport, examining the immigration stamps and the rules and regulations listed in the back. He ( 9 ) my picture long and hard, and then passes my passport to his unsmiling colleague, who asks me the same questions I’ve just been asked.

‘Where are you coming from?’

‘Kerman.’

‘Where are you going to?’

‘Yazd.’

Tourist?

I nod again. I can’t change my answer now.

The second guard hands my passport back to the first, who reluctantly hands it back to me. I look at his smooth boyish face and wonder if he’s old enough to shave.

‘Is this your suitcase?’ he says, looking at my bag.

‘Yes,’ I say, and move to open it.

He shakes his head.

All of the other passengers are now back on the bus, and I wonder how much longer the guards will keep me. What will happen, I worry, ( 10 )? We're out in the middle of the desert; there are no other buildings ( 11 ). Hardened dust-white plains, broken only by thin grass, stretch in all directions. The sky is a pale metallic dome sucking the color and moisture out of the landscape.

Clearing his throat, the first guard stares at me intently. His eyes are an unusual smoke blue, framed by long lashes. They're the same eyes I've noticed before on more than a few Iranians. He looks at his colleague and they whisper together. Sweat is slipping down their foreheads, and down mine.

(12)Then the first guard straightens his shoulders, takes a deep breath, and blushes. 'Thank you,' he says carefully in stiff, self-conscious English. 'Nice to meet you.'

'Hello.' The second guard is now blushing as furiously as the first. 'How are you?' He falls back into Persian, only some of which I understand. 'We will never forget this day. You are the first American we have met. Welcome to the Islamic Republic of Iran. Go with Allah.'

- (1) 下線部(1)を訳せ。
- (2) 下線部(2)はどのような意味か。最も適切なものを次のうちから選び、その記号を記せ。
- ア I hope I will be allowed to remain seated.
  - イ In no time I take a seat and remain there.
  - ウ I hope I will not be out of my seat for long.
  - エ Quickly I make up my mind to remain seated.
- (3) 空所( 3 )を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから選び、その記号を記せ。
- ア by                   イ for                   ウ if                   エ or
- (4) 空所( 4 )を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから選び、その記号を記せ。
- ア denial           イ display           ウ finding           エ lack
- (5) 下線部(5)の内容を、10～20字の日本語で説明せよ。
- (6) 空所( 6 )に当てはまるように、次の語を並べかえよ。  
( all           being           for           required           similar )

(7) 空所( 7 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その記号を記せ。

- ア warning me not to disobey the guards after
- イ advising me to learn some basic Persian before
- ウ warning me to put a cover on my passport before
- エ advising me not to forget to carry my passport after

(8) 空所( 8 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その記号を記せ。

- ア I wish I were a journalist
- イ I wonder if I've done the right thing
- ウ I realize that I look too much like a tourist
- エ I realize I should have said 'tourist' in English

(9) 空所( 9 )を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから選び、その記号を記せ。

- ア detects      イ gazes      ウ studies      エ watches

(10) 空所( 10 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その記号を記せ。

- ア if the bus leaves without me
- イ if the weather suddenly changes
- ウ if the bus runs out of gas or breaks down
- エ if some other passengers are asked to get off the bus

(11) 空所( 11 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから  
 選び, その記号を記せ。

ア in sight    イ on vision    ウ in my eyes    エ to the view

(12) 下線部(12)の理由として考えられるものは何か。次の英文  
 を完成させて答えよ。

It is the first time

he \_\_\_\_\_.

---

《東京大》 pull over 「泊まる」 a checkpoint 「検問所」 flick [flik] 「(ムチ等で)軽く打つ」 「素早く動かす」 gleam [gli:m] 「光る」 determinedly [dɪtə:rmɪndli] 「断固として」 「頑なに」 pretend to V 「Vするふりをする」 complete A [kəmpli:t] 「Aを完璧に成し遂げる」 cement [səmənt] 「セメント」 smuggling [smʌglɪŋ] 「密輸」 (smuggle [smʌgl] 「密輸する」の名詞形) instinctively [ɪnstɪŋktɪvli] 「本能的に」 drag A [dræg] 「Aを引きずり出す」 belly [béli] 「腹部」 complicate A [kəmplɪkət] 「Aを複雑にする」 travelogue [trævələ(:)g] 「紀行文」 immigration [ɪmægrɪʃən] 「移民」 reluctantly [rɪlʌktəntli] 「いやいや」 「しぶしぶ」 metallic [mɛtəʃlɪk] 「金属の」 dome [dɒm] 「ドーム」 「天井」 suck A [sʌk] 「Aを舐める」 moisture [mɔɪstʃər] 「湿気」 clear one's throat 「咳払いをする」 intently [ɪntɛntli] 「じっと」 「集中して」 blush [blʌʃ] 「赤くする」 stiff [stɪf] 「堅苦しい」 「ぎこちない」 self-conscious 「自意識過剰の」 「はにかんだ」

## NO 25 《VOCABULARY CHECK》



【1】 [確認テスト]

第2回 英語語彙検定 200点満点 試験時間 60分

【2】 [英文解釈] 《京都大》

解答時間 30分

次の英文の下線部(1)(2)(3)を和訳しなさい。

Appearances to the contrary, frost does not fall in the same way that snowflakes are attracted earthward. A coating of frost is mainly the child of chance, the consequence of myriads of atmospheric water molecules\* coming together by way of independent and haphazard\* paths. (1)Although snowflakes are directed by the pull of gravity, water molecules hardly know it exists, moving so rapidly that it shapes their paths only slightly. They come under the influence of forces organizing them into frost only when exceedingly close to surfaces.

The path of a snowflake from its birthplace high in the atmosphere to where it is incorporated into snow on the ground is a more or less smooth vertical line. But (2)a water molecule that finds itself on a blade of grass fringed with frost arrived there by a zig-zag path, the direction of its motion having been changed frequently and abruptly by collisions with other air molecules.

Air is a mixture of gases, water vapor one of its constituents. A spoonful of even the driest Saharan air contains a million times more water molecules than the population of the earth, and they

are moving at average speeds greater than that of a bullet exiting the muzzle of a rifle.

Any surface exposed to such a dense and frantic swarm of water molecules will be bombarded by them at a stunningly high rate. Some molecules will stick or condense, but some leave the surface after a brief visit there, evaporating back into the air whence they came. The surface will remain perceptibly free of water if the rates of evaporation and condensation are equal. If condensation exceeds evaporation, water accumulates as tiny drops of dew or, if the surface is cold enough, as delicate ice crystals of frost.

But (3)why doesn't frost form every wintry night when temperatures drop so low that water in a pail placed outside at sundown will have acquired a hard coating of ice by sunrise? It seems that subfreezing temperatures are necessary but not sufficient for frost formation. Indeed, frost may form when the air temperature is above freezing.

(注) \*molecule [málikjù:l] 「分子」 \*muzzle [mʌzl] 「銃口」 \*whence 「関係副詞(=where)\*haphazard[hæph`æzərd] 「偶然の」

---

[2] to the contrary 「反対の」 a snowflake 「雪片」 earthward 「大地(の方向)に」 myriads of A [míriəz] 「無数の A」 atmospheric [ætməsférik] 「大気中の」 haphazard[hæph`æzərd] 「偶然の」 organise A into B [ɔ:rgənàiz] 「A をまとめて B にする」 exceedingly [eksí:dinjli] 「過度に」 「非常に」 incorporate A into B [inkɔ:rpərəit] 「A を B にまぜる」 「A を B へと変える」 vertical [və:rtikel] 「垂直の」 blade [bleid] 「葉」 fringe A with B [frindʒ] 「A を B で取り巻く」 abruptly [əbrʌptli] 「突然」 vapor 「水蒸気」 constituent 「要素」 「成分」 muzzle [mʌzl] 「銃口」 be exposed to A 「A にさらされる」 frantic [frántik] 「狂気じみた」 「ものすごい」 a swarm of A [swɔ:rm] 「A の大群(ハチなど) bombard A [bambá:rd] 「A を爆撃する」 stunningly 「気絶させるほどの」 condense 「A を凝縮させる」 evaporate A [ivæpərəit] 「A を蒸発させる」 accumulate A [əkjú:mjúlèit] 「A を蓄積する」 「溜まる」 dew [dju:] 「露」 a pail [peil] 「バケツ」 subfreezing [sʌbfri:ziŋ] 「氷点下の」



## NO 26



【1】 〔語彙①〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)~(5)において、二つの英文の空所に同じつづりの一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を解答用紙に書きなさい。

- (1) (a) Your argument confuses the (        ).  
(b) The pamphlets are prepared to (        ) to the public.
- (2) (a) What is your favorite (        ) in school?  
(b) We are (        ) to the laws of our country.
- (3) (a) How long will the performance (        )?  
(b) It's been a long time since I (        ) saw you.
- (4) (a) A chairman should be (        ) to each member.  
(b) A Christmas (        ) is held in this square every December.
- (5) (a) We will (        ) a small tree to commemorate the occasion.  
(b) They have decided to build the new chemical (        ) in this town.

## 【2】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

現代社会では、お互いの利害関係によって結びつくことが多い。ともすれば人間そのものは社会的、経済的地位のかげにかくれて、かすんでしまいがちである。もっと個人の魅力に基づいた人間関係を築き、うるおいのある社会にしたいものだ。

## 【3】 〔構文研究〕 《完成編①》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

What explains Tora-san's extraordinary popularity? He was not handsome, nor young, nor ever a success. In fact, he was the opposite of all these things: a shabby failure of uncertain age — not younger than 30, not older than 50. Tora-san was everything the average Japanese is not, or not supposed to be, anyway: lazy, free-spirited, and oddly dressed. But at the same time Tora-san had all the virtues the Japanese like to think are typical of themselves. He was warm-hearted, generous, gentle and helpful, which his fans admired as the characteristics of the Japanese.

---

【3】 popularity [pəpjuːləri] 「人気」 shabby [ʃæbi] 「むさくるしい」 free-spirited 「勝手気ままな」 oddly [ɒdli] 「奇妙に」 a virtue [vɜːrtʃuː] 「長所、徳」 typical of A [tɪpɪkəl] 「Aに典型的な」 generous [dʒɛnərəs] 「寛容な」 「気前の良い」

【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

It was a dull and cloudy day when we arrived at the railway station outside Upper Harford and, in the diffuse grey light, they seemed older and more frail. I took my grandmother's arm as we waited for the train that would bear me away to London. <sup>(1)</sup>I may have imagined it, but I believe that I felt her body shaking slightly; it was only a faint tremor, but nevertheless it communicated itself to me, and made me more afraid for her than I had been since my arrival all those years before. Yet there was very little that could be said — very little to say — on this grey morning of my departure.

‘Come back soon,’ she called out as eventually I boarded the train. ‘We’ll miss you.’

‘It won’t be long,’ I said. It was as if I were leaving for a morning or for an hour; but in truth the interval would be much greater than that.

I believe my grandfather suspected as much, because he came up to me as I leaned out of the window and put his hand against my cheek. ‘Remember,’ he said. ‘Be true to yourself. And then you will be true to others.’

I watched them standing quietly together as the train pulled out of the station; the steam gathered all around them in clouds but, when it cleared for a moment, they were still gazing after me intently. I waved, and then they were gone.

I had not been in London since I had left with my father and grandfather; it had become unfamiliar, almost threatening, and as the train made its way through the suburbs to Paddington Station, I could feel the tension rising within me. It was as if I were pushing my way, physically, through a crowd which might overwhelm me.

②I do not recall experiencing anything of this kind before — this sensation of millions of lives surrounding my own — but, when I last lived in the city, perhaps I possessed no real awareness of my own self. Now everything had changed, and it was with a newly awakened self-consciousness that I walked from the platform into the main concourse of the station.

---

【4】 dull A [dʌl] 「鈍らせる」 Upper Harford 「アッパー・ハーフォード(オックスフォード近郊の都市)」 diffuse [difjú:s] 「ぼんやりとした」 frail [freil] 「弱々しい」 tremor [trémər] 「震え、振動」 eventually 「結局、いよいよ」 in truth 「実際」 interval [intərvel] 「間隔」 true to A 「Aに忠実である」 gaze [geiz] 「じっと見る」 intently [inténtli] 「集中して」 Paddington Station 「パディントン駅」 push one's way 「押し進む」 sensation [senséi'en] 「感覚」 (≡ sense/feeling) possess A [pəzéz] 「Aを所有する」 self-consciousness 「自意識」 concourse kánkɔ:rs 「中央ホール」

## NO 27



【1】 〔語彙②〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)~(5)において、二つの英文の空所に同じつづりの一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を解答用紙に書きなさい。

- (1) (a) Things are looking (        ) good!  
(b) She is more than just a (        ) face.
- (2) (a) I gave the waiter a big (        ).  
(b) This is just the (        ) of the iceberg.
- (3) (a) I'm (        ) to speaking in public.  
(b) She is not what she (        ) to be.
- (4) (a) She arrived (        ) you had left.  
(b) She was named (        ) her grandmother.
- (5) (a) The (        ) quality of the CDs was excellent.  
(b) She didn't (        ) surprised when I told her the news.

## 【2】 〔英作文〕《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

ここは伊豆半島中部の小さい村である。バスの終点になっているY村からさらに2キロほど山へ入っている。村から都会へ働きに出ているものや、他郷へ嫁いでいる女たちの何人かは、正月休みに村に帰ってくる。毎年帰ってくるものもあれば、何年かぶりで顔を見せるものもある。

## 【3】 〔構文研究〕《完成編②》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Our period is nothing less than the beginning of a new era in the history of the world, for with our recent changes we have reached and begun to go beyond what were before the ultimate limits of nature and the earth itself.

---

【3】 period [pɪəriəd] 「時代、時期」 era[ɪərə] 「時代」 ultimate [ʌltəmit] 「究極的な、ぎりぎりの」 a limit 「限界」

次の短編小説を読み、以下の問いに答えよ。

## BACK HOME

Rebecca's mother was standing outside the bus station when the bus arrived. It was seven thirty-five on Sunday morning. She looked tired. "How was the ride?" she asked.

"I didn't fall asleep until we got to Ohio," Rebecca replied. She had come by overnight bus from New York City. The familiar smells of the early Michigan summer filled the air as they walked to her mother's car. "But I'm okay."

Rebecca looked out the window as her mother drove the dozen blocks back to the house. The town was nearly deserted. Along Main Street, a discount shoe store stood where the department store used to be, and the drugstore had become a laundry. But on Lincoln Ave., the fast-food places — Bonus Burger, Pizza Delight, Taco Time — were ( 1 ), as were the houses on Willow, the street where Rebecca had grown up. Only the house two doors down from her mother's looked different.

"What happened to the Wilsons' house?" Rebecca asked. "Did they paint it or something?"

"They moved to Kentucky," her mother replied.

There was a long pause. Rebecca realized that her mother had still not ( 2 ) her former cheerfulness.

“Somebody else moved in.” Her mother parked the car in the driveway, and they got out.

The house was empty when they entered. Henry, Rebecca’s stepfather, was working the early shift at the chemical plant; he wouldn’t be home until midafternoon. As Rebecca carried her suitcase through the dining room, she tried not to look at the pictures of Tracy — her twin brother — on the wall.

“I have to go to church,” her mother said. “I’ll be back by noon, if you want to use the car later.”

The bedroom where she had slept as a child was transformed. The bed was new, the carpet was gray instead of green, and hanging from the ceiling was Henry’s collection of model airplanes. <sup>(3)</sup>Down the hall, the door of Tracy’s old room was still shut, as it had been for years.

Rebecca left her suitcase next to the bed and went into the kitchen. She made herself a cup of coffee, switched on the television, and sat down to watch a quiz show.

\* \* \*

That afternoon, Rebecca drove her mother’s car to the shopping mall outside town. The mall had opened before Rebecca was born. When she was in high school, it had been the most exciting place in town, and she and her friends would hang out there in the evenings until it closed. Years of living in Brooklyn and working in Manhattan, though, had given Rebecca a new ( 4 ), and the mall looked plain and uninteresting. Even on a Sunday afternoon, the stores had few customers.



She bought some shampoo and conditioner — her mother didn't have the kind Rebecca used — and sat at a table in the food court and sipped on a soda. Some children were running around the tables as their mothers chatted nearby. She thought about the coffee shop in New York where she went almost every evening after work. It was on 35th Street, just east of Broadway, between a Swedish bakery and a shop that sold circus equipment. One of the servers, a boy of eighteen or nineteen, always remembered her order and gave her a big smile when she came in. She would sit at a corner table and watch the customers — every age, every nationality, every kind of clothing and hairstyle — come and go. (5)It gave her a thrill to feel she was one thread in such a rich cultural fabric.

Rebecca was getting up to leave when one of the mothers came over to her.

“Rebecca?” she said.

Rebecca hesitated for a moment. Then she cried, “Julia!” She stood, and they embraced each other. “I didn't ( 6 ) you at first!”

“It's been a long time.”

Since Tracy's memorial service, Rebecca thought.

Julia sat down. “Are you still living in New York?”

“Yeah,” Rebecca replied. “I'm just here for a couple of days. But I'm thinking of moving back to Michigan.”

“( 7a ) I thought you liked New York.”

“Well, my roommate is getting married and moving out, so I have to either find a new roommate or move. Rent is really expensive there.”

“( 7b )”

“My stepfather says he can get me an office job at the chemical plant. I have an interview there tomorrow.”

“( 7c )” Julia paused. “Have you been dating anybody?”

“Not really.” Then Rebecca asked, “How’s Jerry?”

“( 7d ) Still working for his father. He’s gone fishing today, so I brought the kids to the mall to let them run around.”

Rebecca and Julia had been friends in high school. Julia had dated Tracy pretty seriously, but they broke up after high school. Julia was already married to Jerry when Tracy was killed in Afghanistan.

\* \* \*

At dinner that evening, Henry talked about an accident that had happened at the plant: “...and then the cracker overheated, and we had to deal with that, too, while we were flushing out the reflux lines...” Even ( 8 ) a teenager, Rebecca was embarrassed not to understand what Henry said. Neither she nor her mother said much. Later, Rebecca helped Henry wash and put away the dishes. He had married Rebecca’s mother and moved in when Rebecca and Tracy were eleven. Their real father had left three years earlier. Rebecca hadn’t seen him for twenty years.

“I told my boss that you’d come in to the office tomorrow at eleven,” Henry said. “I’ll take your mother to work, so you can drive her car.”

“Thanks.”

“He just wants to meet you before he hires you. I didn’t ask about the pay, but it should be okay. The girl who had the job before you didn’t ( 9 ).”

Fatigue from the bus trip hit Rebecca early in the evening, so she said goodnight to her mother and Henry and went to bed. She fell asleep quickly and slept soundly. Around four in the morning, while it was still dim and silent outside, she woke up. She stayed in bed and gazed at the model airplanes hanging from the ceiling. She thought about Julia spending Sunday afternoon with her kids at the mall and about how she couldn’t imagine doing that herself. She thought about the chemical plant where Henry worked, and the call center outside of town where her mother spent her days talking to faraway voices about their credit card problems. She thought about New York City — the noisy streets, the crowded sidewalks, the tiny Korean restaurant near her apartment, the boy in the coffee shop on 35th Street.

Then she thought about Tracy, who would never grow older than twenty-three. She remembered how they had quarreled when they were small, when their mother had been a good-natured referee, and how they had stopped quarreling when their father left. Why had they stopped? And why had her mother become so

silent towards her after Tracy's death? Rebecca felt a surge of helplessness wash over her.

It was not yet five o'clock, the house still silent, when she got out of bed and quietly packed her bag. What had made her decide? She wasn't sure. But she wrote a note to her mother and Henry: "I've decided to <sup>(10)</sup>go back home. I'm sorry."

She put the note on the kitchen table and slipped out the front door. She walked the twelve blocks downtown to catch the first bus to Detroit, from where she would take another bus back to New York.

(1) 空所( 1 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ア as she left        | イ as her childhood  |
| ウ as she was a child | エ as she remembered |

(2) 空所( 2 )を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- |             |            |
|-------------|------------|
| ア recovered | イ reformed |
| ウ replaced  | エ revised  |

(3) 下線部(3)を和訳せよ。

(4) 空所( 4 )を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア perspective                      イ sight  
ウ transformation                  エ way

(5) 下線部(5)は、主人公のどのような心情を表現しているか。最も適切なものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア 大都会の多彩な文化に参加している喜び  
イ 都市文化の中で地に足がつかない不安感  
ウ 最新の都市文化を目の当たりにした興奮  
エ 巨大な都市の文化に入り込めない無力感

(6) 空所( 6 )を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア appreciate                      イ confirm  
ウ foresee                          エ recognize

(7) 空所( 7a )～( 7d )を埋めるのに最も適切な文をそれぞれ次のうちから一つ選び、その記号を記せ。同じ記号は一度しか使えない。

- ア Why not?    イ He's okay.    ウ Here he is.  
エ How come?    オ That's great.    カ That's what I hear.



## NO 28



【1】 〔語彙③〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)~(5)において、二つの英文の空所に共通の一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を書きなさい。

- (1) (a) Please (        ) a seat for me.  
(b) Japan is said to be a (        ) country.
- (2) (a) I (        ) a flush rise on my cheeks.  
(b) She had the (        ) to refuse the offer.
- (3) (a) He bought it at the (        ) price.  
(b) The (        ) in the river was very strong.
- (4) (a) The situation will (        ) a new problem for us.  
(b) The model had to hold the same (        ) for hours on end.
- (5) (a) His office is just (        ) the station on your left.  
(b) Washing the dishes was considered women's work in the (        ).

## 【2】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

今の世では、自然の季節に人工的な修飾がほどこされている。私たちの周囲では花が季節に先立って咲き、以前は季節季節にかぎられていた野菜や果物がいつでも食卓を飾っている。季節感のそがれる世の中である。

## 【3】 〔構文研究〕 《完成編③》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Many young women now wear jeans, tight-fitting trousers made of denim. This is a fashion first designed for male wear, and not disagreeable when worn by a young man, provided he is not fat, but very unbecoming when worn by the wrong females. But the young women love their jeans, not least the feminists among them, unconscious that by wearing them they proclaim male dominance.

---

【3】 disagreeable [disəgrɪːəbl] 「嫌な、不愉快な」 provided (that) SV... 「SV...であれば」 unbecoming [ˈʌnbɪkˈlʌmɪŋ] 「似合わない」 proclaim A [prəʊkleɪm] 「A を公然と示す」 dominance [dámənəns] 「優位」 「支配」



【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)～(3)を和訳せよ。

People often use a language to signal their membership of particular groups. (1)Social status, sex, age, and the kinds of social networks people belong to turn out to be important dimensions of identity in many communities. I will illustrate the way people use language to signal such affiliations.

*Telephone rings.*

Pat : Hello.

Caller : Hello, is Mark there?

Pat : Yes. Just hold on a minute.

Pat (to Mark)

: There's a rather well-educated young lady from Scotland on the phone for you.

When you answer the telephone, you can often make some pretty good guesses about various characteristics of the speaker. Pat was able to deduce quite a lot about Mark's caller, even though the caller had said nothing explicitly about herself. Most listeners can identify children's voices without any problem. When the caller is an adult it is usually easy to tell whether a speaker is female or male. (2)If the person has a distinctive regional accent, then their regional origins will be evident even from a short utterance. And it may also be possible to make a reasonable guess about the person's socio-economic or educational background, as Pat did.

No two people speak exactly the same. There are infinite sources of variation in speech. A sound spectrograph, a machine which represents the sound waves of speech in visual form, shows that even a single vowel may be pronounced in hundreds of minutely different ways, most of which listeners do not even register. <sup>(3)</sup>Some features of speech, however, are shared by groups, and become important because they differentiate one group from another. Just as different languages often serve a unifying and separating function for their speakers, so do speech characteristics within languages. The pronunciation, grammar, and vocabulary of Scottish speakers of English is in some respects quite distinct from that of people from England, for example. Though there is variation within Scotland, there are also some features which perform an overall unifying function. The letter *r* in words like *girl* and *star* is pronounced in a number of English-speaking areas, and Scotland is certainly one of them. And a Scot is far more likely to say *I'll not do it* than *I won't do it*.

(注) socio-economic 「社会経済的な」

---

【4】 a dimension [dəmɛnʃən] 「要素」「次元」 an affiliation [əfɪliəʃən] 「所属」「加盟」 explicitly [eksplɪsɪtli] 「はっきりと」 identify A [aɪdɛntɪfaɪ] 「A を突き止める」「A を判別する」 spectrograph [spɛktrɒgrəf] 「音響スペクトルグラフ」 vowel 「母音」 minutely 「詳細に」「微妙に」 register A [rɛdʒɪstər] 「A を登録する」「A に気づく」 overall [ɔvəɹɔ:l] 「全体の」 unifying [ju:nəfaɪɪŋ] 「統合する(形容詞)」 (unify [ju:nəfaɪ] 「...を統一 [統合] する」の派生語)

## NO 29



【1】 [語彙④]

解答時間 5分

次の(1)~(5)において、二つの英文の空所に共通の一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を書きなさい。

- (1) (a) Would you like (        ) cup of coffee?  
(b) We always call one (        ) during the holidays.
- (2) (a) Do you know that pretty (        ) girl?  
(b) The table had been moved a (        ) closer to the wall.
- (3) (a) Are you sure your mother doesn't (        )?  
(b) Use a pencil so you can erase it if you change your  
(        ).
- (4) (a) The train was out of (        ) soon.  
(b) We caught (        ) of the baseball player on his way to  
the ballpark.
- (5) (a) A (        ) of rainy days spoiled their vacation.  
(b) The new movie is based on the classic TV (        ) from  
the '60s.

## 【2】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

大人になるためには、何かを断念しなくてはならない。単純なあきらめは個人の成長を阻むだけだが、人間は自分の限界を知る必要がある。単純なあきらめと異なり、大人になるための断念は、深い自己肯定感にもとづいている。

## 【3】 〔構文研究〕 《完成編④》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Be there or be there not any other revelation, we have a veritable revelation in Science — a continuous disclosure of the established order of the Universe. This disclosure it is the duty of every one to verify as far as in him lies; and having verified, to receive it with all humility.

(注) revelation [rèvələiʃən] 「啓示」 veritable [vèritəbl] 「真の」 as far as in A lies 「(A が)できる限り」 (=as far as lies in A's power / as far as A can / to the best of A's ability”)

【3】 continuous [kəntínjuəs] 「絶えまない」 disclosure [disklúʒər] 「開示」 (disclose [disklúuz] 「開示する」の名詞形) verify A [vèrəfài] 「A を立証する」 humility [hju (: ) míləti] 「謙虚」

【4】 furiously [fjúeriəsli] 「激怒して」 condemnation [kàndemnéiʃən] 「非難」 「叱責」 extraction [ɪkstrɪækʃən] 「抽出」 「抜歯」 flatiron 「アイロン」 determination [ditə:rminéiʃən] 「決意」 a leftover [le'ftəʊvə] 「残り物」 a paring 「皮をむくこと、削ること；薄いはぎ皮；削り [切り] くず」 harshly [hɑ:rʃli] 「きつく」 roar [rɔ:r] 「怒鳴る」 「唸り声をあげる」 glare 「睨む」 strained [strein] 「張りつめた」 glow [glou] 「白熱する」 「赤く光る」 meekly [mi:kli] 「おとなしく」

【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(7)を和訳しなさい。

‘My God,’ said my father to my mother. ‘Again no money? But I gave you twelve dollars at the beginning of the week. What have you done with it?’

‘I don’t know. It went away.’

‘So quickly...by Thursday? Impossible.’

(1) ‘It couldn’t be helped. Some of it I used to pay old bills. We’ve owed money to Jacob for I don’t know how long.’

‘But did you have to pay him this week?’

(2) ‘He’s right in the block. For two months now I’ve been coming home the long way around. I gave him three dollars.’

‘How could you! Haven’t you any sense? And what did you do with the rest? Joshua,’ he said, turning to me furiously. ‘Take a pencil and write these things down. I have to know where it all went. I bought eggs and butter on Tuesday.’

‘Seventy-five cents to the milkman,’ said Ma, earnest and frightened. She must have believed she had done something wrong.

‘Write it,’ he said.

(3) I had taken a piece of Ma’s checkered stationery and placed the figures carefully within the tiny boxes. I was shaken, too, and eager to escape condemnation.

‘Willie had a tooth out. It cost fifty cents.’

‘Fifty?’ he said.

‘Yes, it’s usually a dollar on extraction. I sent him up alone and told him to say it was all he had. And after he was done, I waited for him downstairs. I was ashamed to show my face to Dr Zadkin.’

‘Did it have to come out?’

‘There was nothing left of it but the walls. Do you want to look at it? The child was in pain...Then there was fifty cents to have the boys’ hair cut.’

(4)‘I’m going to buy a pair of clippers and do it myself Pa’ said. He was always resolving to do this.

‘Fifty cents for the gas meter. Twenty cents for a coal shovel. Twenty-five cents to the insurance man. Twenty cents for a flatiron handle. I haven’t even started on the bigger things yet, such as meat.’

‘We have meat far too often,’ Pa said. ‘We don’t need it. I prefer milk soups anyway.’

‘Don’t expect me to stint\* on the stomach,’ my mother said with determination. ‘If I do nothing else, I’m going to feed the children.’

(5)‘They don’t look starved,’ said Pa. ‘Especially this one. I never look at him but he’s chewing.’

My appetite was large and I seemed never to have had enough. I ate all the leftovers. I chewed down apple parings, cold vegetables, chicken bones.

(6)‘If I knew how to do things more cheaply,’ said Ma, as though she now consented to take the blame.

‘You don’t bargain enough,’ my father said to her harshly.

‘And do you know how much money I’d have now if it weren’t for you and the children?’ he roared at her. ‘I’d be worth ten thousand dollars. Ten thousand, do you hear? And be a free man. Do you hear what I say?’ he glared with a strained throat.

(7)‘Why don’t you leave then?’ My mother wept.

‘That’s what I will do!’

He hurried out. It was night. He was gone for about an hour, and then I saw his cigarette glow on the front step, and he said to me, meekly, that he had only gone to buy a package of cigarettes.

\*stint: 儉約する

語彙 P27





## NO 30



【1】 〔語彙⑤〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)～(5)において、二つの英文の空所に共通の一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を書きなさい。

- (1) He has a cheerful but quiet (        ).  
This is the Chinese (        ) for horse.
- (2) What is your (        ) at college?  
Smoking is one of the (        ) causes of cancer.
- (3) I had to (        ) speaking in public.  
It gave him the chance to put his ideas into (        ).
- (4) The (        ) on the wall said 'No smoking'.  
People were making fun of him but he didn't seem to  
(        ).
- (5) Shall I (        ) some meat for dinner?  
Make a list of what you have to do, and put them in (        )  
with the most important at the top.

## 【2】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

たとえば青信号で人や車は進み、赤で停止する。このとりきめは世界に及ぼしうるし、現に及んでもいる。普遍的という意味で交通信号は文明である。逆に文化とは、日本でいうと、婦人がふすまをあけるときの、両ひざをつき、両手であけるようなものである。立ってあけてもいい、という合理主義はここでは、成立しえない。

## 【3】 〔構文研究〕 《完成編⑤》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

It is a very well-known fact that one human being can affect another by what is called suggestion. One person sees another afraid, and he becomes afraid; if everyone around us is laughing and happy, we begin to laugh and feel happy; or if they are all miserable we get miserable, too. Suggestion is the more powerful, too, the nearer the suggested thing is to the needs of life; that is why the suggestion of fear is so powerful.

【4】 〔英文読解〕 《東京大》

解答時間 20 分

次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

When people hear that I'm writing an article about the way human beings deceive each other, they're quick to tell me how to catch a liar. Liars always look to the left, several friends say; liars always cover their mouths, says a man sitting next to me on a plane. Beliefs about ( 1 ) are numerous and often contradictory. Liars can be detected because they move a lot, keep very still, cross their legs, cross their arms, look up, look down, make eye contact or fail to make eye contact. Freud thought anyone could spot people who are lying by paying close enough attention to the way they move their fingers. Nietzsche wrote that "the mouth may lie, but the face it makes nonetheless tells the truth."

Most people think they're good at spotting liars, but studies show otherwise. It is wrong to expect that professionally trained people will have the ability to detect liars with accuracy. In general, even professional lie-catchers, like judges and customs officials, perform, when tested, ( 2 ). In other words, even the experts would have been right almost as often if they had just tossed a coin.

Just as it is hard to decide who is lying and who is not, it is also much more difficult ( 3 ) tell what is a lie and what is not. "Everybody lies," Mark Twain wrote, "every day; every hour; awake; asleep; in his dreams; in his joy; in his grief."

First, there are the lies which consist of *not* saying something. You go out to dinner with your sister and her handsome boyfriend,

and you find him utterly unpleasant. When you and your sister discuss the evening later, isn't it a lie for you to talk about the restaurant and not about the boyfriend? What if you talk about his good looks and not about his offensive personality?

Then there are lies which consist of saying something you know to be false. Many of these are harmless lies that allow us to get along with one another. When you receive a gift you can't use, or are invited to lunch with a co-worker you dislike, you're likely to say, "Thank you, it's perfect" or "I wish I could, but I have a dentist's appointment," rather than speak <sup>(4)</sup>the harsher truth. These are the lies we teach our children to tell; we call them manners. Even our automatic response of "Fine" to a neighbor's equally mechanical "How are you?" is often, when you get right down to it, a lie.

More serious lies can have a range of motives and implications; for example, lying about a rival's behavior in order to get him fired. But in other cases, not every lie is one that needs to be uncovered. We humans are active, creative animals who <sup>(5)</sup>can represent what exists as if it did not, and what doesn't exist as if it did. Concealment, indirectness, silence, outright lying — all contribute to the peace-keeping of the human community.

Learning to lie is an important part of growing up. What makes children able to start telling lies, usually at about age three or four, is that they have begun developing a theory of mind, the idea that what goes on in their heads is different from what goes on in other people's heads. With their first lie to their parents, the power

balance shifts a little: they now know something their parents don't know. With each new lie (6)they gain a bit more power over the people who believe them. After a while, the ability to lie becomes just another part of their emotional landscape.

Lying is just so ordinary, so much a part of our everyday lives and everyday conversations, that we hardly notice it. The fact is that in many cases it would be more difficult, challenging and stressful for people to tell the truth than to lie. Can't we say that deceiving is, ( 7 ), one characteristic associated with the evolution of higher intelligence?

At present, attempts are being made by the US Federal Government to develop an efficient machine for "credibility assessment," ( 8 ), a perfect lie detector, as a means to improve the nation's security level in its "war on terrorism." This quest to make the country safer, however, may have implications for our everyday lives in the most unexpected ways. How will the newly developed device be able to tell which are truly dangerous lies and which are lies that are harmless and kind-hearted, or (9)self-serving without being dangerous? What happens if one day we find ourselves with instruments that can detect untruth not only in the struggle against terrorism but also in situations that have little to do with national security: job interviews, tax inspections, classrooms, bedrooms?

A perfect lie-detection device would turn our lives upside down. Before long, we would stop speaking to each other, television would be abolished, politicians would be arrested and civilization

would come to a halt. It would be a mistake to bring such a device too rapidly to market, before considering what might happen not only if it didn't work — (10)which is the kind of risk we're accustomed to thinking about — but also what might happen if it did. Worse than living in a world filled with uncertainty, in which we can never know for sure who is lying to whom, might be to live in a world filled with certainty about where the lies are, thus forcing us to tell one another nothing but the truth.

(1) 空所( 1 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- |                         |                                 |
|-------------------------|---------------------------------|
| ア why people lie        | イ the timing of lying           |
| ウ what lying looks like | エ the kinds of lies people tell |

(2) 空所( 2 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

- ア as accurately as expected
- イ not much better than chance
- ウ somewhat worse than average
- エ far better than non-professionals

(3) 下に与えられた語を正しい順に並べ替え、空所( 3 )を埋めるのに最も適切な表現を完成させよ。ただし、下の語群には、不要な語が一つ含まれている。

look    tend    than    think    to    to    we

(4) 下線部(4)の意味内容として最も近いものを次のうちから一つ  
選び, その記号を記せ。

ア how you really feel      イ the lies children tell

ウ a visit to the dentist      エ why you don't like lunch

(5) 下線部(5)を和訳せよ。

(6) 下線部(6)の意味内容として最も近いものを次のうちから一つ  
選び, その記号を記せ。

ア They become less dependent on others.

イ They learn more clearly to tell right from wrong.

ウ They realize that their parents are just like other people.

エ They understand that they are being encouraged to learn  
how to lie.

(7) 空所( 7 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから一つ  
選び, その記号を記せ。

ア in vain      イ after all      ウ in no way      エ by  
contrast

(8) 空所( 8 )を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから一つ  
選び, その記号を記せ。

ア all the same      イ by all means

ウ in other words      エ on the other hand

(9) 下線部(9)で説明されている **lies** はこの文脈では何を意味するか。次のうちから最も適切なものを一つ選び、その記号を記せ。

- ア 自分にとっては安全で使いやすい嘘
- イ 自動的に出てくる、たわいのない嘘
- ウ 自己犠牲を必要とする割に無難な嘘
- エ 利己的だが、国家にとって安全な嘘

(10) 下線部(10)で説明されている **risk** とは、この場合どのようなものか。15～20 字の日本語で具体的に説明せよ。

(11) 以下は筆者の見解をまとめたものである。空所( a )～( d )を埋めるのに最も適切な語を下の語群から選び、必要に応じて適切な形にして記せ。同じ語は一度しか使えない。

As human beings, we cannot ( a ) lying at times. Indeed, sometimes lying ( b ) people from unnecessary confrontation. In many cases, peace in human society is ( c ) because not all the truth is ( d ).

avoid    invite    maintain    protect    reveal    struggle

【4】 deceive A [disi:v] 「Aをだます」 contradictory [kàntɹədɪkteri] 「矛盾している」 detect A [ditékt] 「Aを見抜く」 spot A 「Aを見抜く」 grief [gri:f] 「悲しみ」 consist of A 「Aから成り立つ」 offensive [əfénsiv] 「攻撃的な」 get along with A 「Aとうまく付き合う」 when you get right down to it 「詰まり」「詰まるころ」 an implication [ɪmplikéiʃən] 「言外の意味」 fire A 「Aを解雇する」 concealment 「隠蔽」 (conceal A[kənsi:l] 「Aを隠す」) outright [áutràit] 「明白な」 contribute to A [kəntɹibju:t] 「Aに役立つ」 peace-keeping 「平和維持」 challenging [tʃæləndʒɪŋ] 「骨の折れる」 be associated with A 「Aと結びつく」 struggle 「戦い」 tax inspections 「税査察」 (an inspection [ɪnspekʃən] 「査察」) abolish A [əbáliʃ] 「Aを廃止する」 arrest A [ərest] 「Aを逮捕する」 nothing but A 「Aだけ」



## NO 31



【1】 〔語彙⑥〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)~(5)において、二つの英文の空所に共通の一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を書きなさい。

(1) The (        ) of his visit was to meet her.

I (        ) strongly to his political view.

(2) It's hard to (        ) his ability when we haven't seen his work.

The metre is a (        ) of length.

(3) You should (        ) attention to what I'm saying.

It's interesting work but the (        ) isn't very good.

(4) Would you be (        ) enough to post this letter?

Questions of this (        ) are very hard to answer.

(5) They drink a good (        ) of tea in England.

She is a difficult person to (        ) with.

## 【2】 [英作文] 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

おそらく、人間というものは真に心の成熟を遂げるためには、一般に否定的な評価を受けている、憎しみ、怒り、悲しみ、などの感情を体験することも必要なのであろう。そして、そのようなことを体験しつつ、なおかつ切れない人間関係として、家族というものが大きい意味をもつのである。

## 【3】 [構文研究] 《完成編⑥》

解答時間 15 分

次の英文を日本語に訳せ。

The use of *the* before comparatives and superlatives is so little related to its other uses, qualifying, as it does, adjectives and adverbs and not nouns, that we might very properly consider it a different word altogether, and class it as an adverb.

---

【3】 a comparative [kəmpəreɪtɪv] 「比較級」 a superlative [səpeɪrleɪtɪv] 「最上級」 an adjective [ædʒɪktɪv] 「形容詞」  
an adverb [ædvə:rb] 「副詞」 a noun [naʊn] 「名詞」

【4】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間各 15 分

次の英文(1)～(5)の下線部を日本語に訳せ。

(1)

Even now, when interviewing a candidate for a job, we are inclined to attach too much weight to the school and university background and to the academic record. We would rather accept this evidence than take the more difficult step of trying to find out for ourselves what the applicant is really like and what is the potential.

(2)

Early in January my wife and I set out for Rome. My affections are still so deeply attached to the Italy I discovered then — for the few months I had spent in it twenty-three years before had told me little or nothing — that (1)if I were to write at length about it now, gratitude would make me say too much, or dread of appearing extravagant tempt me to say too little. Perhaps the fact that Rome made my wife well again and let me forget Prague was enough to account for part of the gratitude. Perhaps the warmth of Italian life after the chills of Prague intoxicated us both a little at first. But (2)it was the gradual revelation of Italy during the next year and a half which came to mean so much to us. We did not idealize our Italian friends; we had instead the pleasure of being able to take them as they were.

(3)

To his mother Rachel had always seemed the least probable of Gregory's girlfriends. He was passive by nature, and left little trace of himself on the world. Rachel was small and fierce. She not only knew her own mind, she knew other people's as well, especially Gregory's. His mother had heard about the attraction of opposites, but still did not give the relationship long.

(4)

I tried to visit my neighborhood zoo one afternoon but found it closed for renovations. As I turned and headed back toward home, I was thinking only of the old black rhino\*, wondering whether he'd be back when the zoo was re-opened. Judging from my numerous visits, he was never a very big draw, being, I suppose, entirely too inactive to look at for long. And yet I found him the most attractive, the most challenging to draw near to for that.

(注) \*rhino[ráinou]サイ

---

【4】(1)candidate [kændədeɪt]「候補者」「志願者」attach weight to A「Aを重視する」(≡put weight on A) university background「学歴」「志願者」applicant [æplɪkənt]

(2)an affection [əfɛkʃən]「愛情」at length「①長々と②ついに」gratitude [grætɪtjù:d]「感謝」extravagant [ekstrəvəgənt]「贅沢な」「過度の」Prague [pra:g]「ブラハ(チェコの首都)」revelation [rɛvələɪʃən]「開示」(reveal A [rɪvɪ:l]「明らかにする」)

(3)by nature「生まれつき」a trace「痕跡」fierce [fɪərs]「獯猛な」「激しい」

(4)a renovation「改装」(renovate A[rɛnəvèɪt]「Aを改装(改修)する」)head「進む」challenging「挑む」「誘いをかけてくる」

## NO 32



【1】 〔語彙⑦〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)～(5)において、二つの英文の空所に同じつづりの一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を解答用紙に書きなさい。

- (1) (a) I think I missed the (        ).  
(b) He was always very keen to (        ) out my mistakes.
- (2) (a) Don't (        ) in the sun for too long.  
(b) It would be a (        ) to say that I wasn't upset.
- (3) (a) Do you (        ) have her phone number?  
(b) The children are never (        ) for a moment.
- (4) (a) She had blue eyes and (        ) brown hair.  
(b) She could just see by the (        ) of the candle.
- (5) (a) Look at that beautiful jewelry (        ).  
(b) He had his camera ready, just in (        ) he saw something that would make a good picture.

## 【2】 〔英作文〕《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

使い捨ての時代だと言われる。まだ使える電気製品や家具ばかりか、ペットまでがゴミとして捨てられるしまつである。なるほど生活の物質面は豊かになったが、心の生活はますます貧しくなってしまったようである。身近な物や動物への愛情なくして、人間への温かい気持ちを期待できるわけがない。

## 【3】 〔構文研究〕《完成編⑦》

解答時間 15 分

次の英文を日本語に訳せ。

When I could I travelled as comfortably as my ample means allowed, for it seemed to me merely silly to rough it for the sake of roughing it; but I do not think I ever hesitated to do anything because it was uncomfortable or dangerous.

(W. Somerset Maugham)

(注) rough it : 質素な旅行をする

【3】 ample [æmpl] 「豊富な」 means 「財産」 for the sake of A 「Aのために」

【4】 an assumption [əsʌmpʃən] 「仮説」 an axiom [æksiəm] 「原理」「公理」 a statement [stéitmənt] 「説明」「声明」 infinite [ínfənit] 「無限の」 yield A [ji:ld] 「Aを産む」 implicitly [implísitli] 「言外の」 shatter A [ʃætər] 「Aを打ち砕く」 a reference [réfərəns] 「参考事項」 tablets of stone [tæblit] 「石の刻文」 hypothesis [haipáθəsis] 「仮説」 an abstraction [æbstrækʃən] 「抽象化したもの」「抽象概念」 intimately [íntəmətli] 「密接に」 for the time being 「差し当たり」 give way to A 「Aに屈する」「Aに取って代わられる」

【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)～(3)を和訳せよ。

Science rests ultimately on a set of assumptions, usually called axioms. These are statements, such as that the universe is infinite in all directions; or that science studied on the planet Earth will yield exactly the same results in the same circumstances in any other part of the universe (1)The truth of axioms like these is impossible to prove, but one of the objectives of science is, or should be, to keep them under continuous review. The concept of time, for example, was implicitly thought until this century to be the same for any observer, anywhere, but Einstein showed that time was strictly a local matter. The axiom of constant time was shattered as soon as Einstein's theory had been accepted. Thus one scientist's axiom might be another's challenge, and axioms are only accepted as long as they survive.

The axioms provide the foundations of a science and convenient points of reference, but they are not tablets of stone, and every scientist has the right to challenge them. (2)Scientists also have a duty to prove to their colleagues that their observations are correct within the limitations of measurement, or that their hypotheses give a better account of a set of observations than all previous hypotheses, or that otherwise their view of the world is justified. The more general concept of truth, however, does not fit comfortably within scientific methodology. The concept of truth as used in everyday speech refers not only to accuracy, but also to

such abstractions as loyalty and sincerity, and is intimately connected with the quality of human relationships <sup>(3)</sup>Furthermore, if one accepts the axiom that the world's complexity is infinite, the scientific understanding we have at present will inevitably be incomplete, and merely the best we can manage for the time being, whatever our intentions; it will probably be only a matter of time, therefore, before that understanding gives way to a more general view. Scientists who do not accept that or any other axiom have a duty to show why they do not.



## NO 33



【1】 〔語彙⑧〕 多義語

解答時間 5分

次の(1)~(5)において、二つの英文の空所に同じつづりの一語を入れて文を完成させる場合、最も適切な英単語を解答用紙に書きなさい。

- (1) (a) She is (        ) in her faith.  
(b) She works for an electronics (        ).
- (2) (a) I'm perfectly (        ) with my life.  
(b) This product contains a maximum (        ) of 15 percent fat.
- (3) (a) We (        ) on our hands to warm them.  
(b) In the accident he got a (        ) on the head.
- (4) (a) I can't agree with you in this (        ).  
(b) They should (        ) the novelist's last wishes to burn his letters.
- (5) (a) The speech ended on a very optimistic (        ).  
(b) Please (        ) that a check is enclosed herewith.

## 【2】 〔英作文〕《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

とにかく、何か喋ろう。自分について何か喋ることから全てが始まる。それがまず第一歩なのだ。正しいか正しくないかは、あとでまた判断すればいい。僕自身が判断してもいいし、別の誰かが判断してもいい。いずれにせよ、今は語るべき時なのだ。そして僕も語ることを覚えなくてはならない。

## 【3】 〔構文研究〕《完成編⑧》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Between historical events and the historian there is a constant interplay. The historian tries to impose on these events some kind of rational pattern: how they happened and even why they happened. No historian starts with a blank mind as a jury is supposed to do. He does not go to documents with a childlike innocence of mind and wait patiently until they dictate conclusions to him. Quite the contrary.

【3】 interplay[ɪˈntəplèi]「相互作用」 rational[ræʃənəl]「合理的な」 a jury[dʒʊəri]「陪審員」 childlike[tʃáildlæk]「子供のような」(childish[tʃáildiʃ]「子供じみた」)patiently[peɪjəntli]「辛抱強く」 dictate A[dɪktèɪt]「Aを述べる」

【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(3)を和訳しなさい。

The eruption surprised Pompeii on a warm August day A.D. 79. The people of the town were not unaware that Vesuvius was a volcano, but it had been inactive from time immemorial, and its slopes were covered with villas and vineyards. <sup>(1)</sup>Although sections of the city still lay in ruins from a local earthquake that had shaken the region 17 years before, no one had taken that disturbance as a warning of the disaster to come. The awakening of the volcano was sudden and unbelievably violent. Its crater abruptly collapsed, and a great black column shot into the sky. Pliny the Younger (whose uncle, Pliny the Elder, was nearby and was among those killed) vividly described the eruption: it looked like an Italian umbrella pine — a tall “trunk” spreading out at the top to a dense cloud shot with flashes of lightning. From that cloud, driven by a strong northwest wind, there fell on Pompeii a heavy hail of pumice stones,\* which smashed roofs, riddled the houses and buried the city under a blanket of pumice more than 12 feet deep. When the hail diminished, survivors who had taken refuge in cellars and vaults tried to escape to the shores of the bay nearby. But they were overtaken by a second, slower fall from the cloud — a rain of suffocating ashes that piled up to a height of six to nine feet. Like a palpable fog or a quicksand, <sup>(2)</sup>it trapped and enveloped people in their houses and even those fleeing in the streets. Their bodies were encased in ash as in a mold and these

casts of hardened ash are today the most moving evidences of the tragedy of Pompeii. By pouring liquid plaster into the now hollow molds, we can re-create the shape of the body, the form of the clothing, the footgear, even the last exhalation of men and women who lived and died in that ancient city.

Pompeii was so utterly wiped out that even its site was lost. But in the last two centuries the city has in a sense been reborn. In 1748 canal diggers came on the buried houses, and the excavation has continued almost without interruption ever since. Generations of archaeologists and laborers, Italian and foreign, have devoted their entire lifetimes to uncovering or restoring the ruins of Pompeii. The two-century excavation of Pompeii is the longest ever made of any city of the ancient world. <sup>(3)</sup>In part the lure has been the dramatic circumstances of the city's death, in part the fact that in Pompeii we can see an ancient city caught at a certain moment at the height of its career, showing its qualities unspoiled by the passage of time. But above all, Pompeii has a special attraction for scholars interested in studying the everyday life of an ordinary town of an ancient time.

\*pumice (stones): 軽石

---

【4】 an eruption [ɪrʌpʃən] 「噴火」 「噴出」 immemorial [ɪmɪməˈriəl] 「太古の」 「大昔の」 a vineyard [vɪnjərd] 「ブドウ園」 abruptly [əbrʌptli] 「突然」 collapse [kəlæps] 「崩壊する」 「崩れる」 an Italian umbrella pine 「イタリアカサマツ」 flash [flæʃ] 「閃光」 「ひらめき」 hail 「あられ」 riddle A 「A を穴だらけにする」 take refuge in A [reɪfjuːdʒ] 「A に避難する」 vault [voʊlt] 「円天井(の部屋)地下室」 palpable [pælpeɪbl] 「容易に知覚できる；明白な」 quicksand 「流砂」 「浮砂」 envelope A [ɛnvəloʊp] 「A を包み込む」 plaster [plæstər] 「しっくい」 「壁土」 hollow 「うつろな, 中空の」 footgear 「履物」 exhalation [ɛks(h)əleɪʃən] 「発散」 「息」 (exhale [ekshéil] 「発散する, 息を吐き出す」 excavation [ɛkskəveɪʃən] 「発掘」 ([ɛkskəveɪt] 「A を発掘する」 without interruption 「間断なく」 an archaeologist [ˌɑːkiələdʒɪst] 「考古学者」 devote A to B [dɪvəʊt] 「A を B に捧げる」 uncover A [ʌnkʌvər] 「A を明らかにする」

## NO 34



【1】 〔語彙⑨〕 多義語

解答時間 5分

次の各組の英文の空所には、それぞれ共通の1語が入ります。その共通の1語を書け。

- (1) To get tickets, you have to ( ) in advance.  
You can't judge a ( ) by its cover.
- (2) Germany is on its way to becoming a world ( ) with a permanent seat on the UN Security Council.  
The Conservative Party is expected to be returned to ( ) in the forthcoming election.
- (3) We tried very hard, but we couldn't talk Charles ( ) of his foolish idea.  
Did she say anything about me? Come on, ( ) with it!
- (4) That's your decision, not mine, so you must ( ) the responsibility.  
Broken bones always ( ) time to mend.
- (5) He has just started working for a high-tech ( ) in Chicago.  
Some people still claim that there is no ( ) evidence linking smoking with lung cancer.

- (6) She wanted to tell him that she didn't want to see him any more, but she didn't know how to ( ) it.  
The government has decided to ( ) a strict limit on exports of arms to that country.

【2】 [英作文] 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

友情には、私利私欲をさしはさまないのが本当だと思う。私は友人に、私のために何か取計らってくれと頼んだり、物質的な利益を得られるようにしてくれと頼んだりしたことはほとんどない。ただ友人とのつき合いを楽しみ、彼らも私とつき合っていて喜んでいっているのを見て満足しているだけである。

【3】 [構文研究] 《完成編⑨》

解答時間 15 分

次の英文を日本語に訳せ。

Logically, the sound energy created by two people conversing face-to-face should be twice that created by one person conversing with an unheard partner on their mobile phone, yet the latter appears to be more annoying.

---

【3】 logically [lɒdʒɪkəlɪ] 「論理的に言って」 「論理的には」 unheard 「聞こえない」 annoying [əˈnɔɪɪŋ] 「いらいらさせる」

【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

Like other objects remembered from childhood, a book is alive, absolute, vague and partial. Dreamlike, memory reassembles (and resembles) the past, a scene or a moment, and always in pieces: a sound, smell, colour, shape. The script I write and cast as Memory is almost intangible and unfailingly incomplete. I turn and look at my bookshelves. There's a snapshot of my mother, my sister and me; I'm the infant in the baby carriage. I keep a memory: I'm little, with my mother, walking over a footbridge; there's another woman and a baby carriage. Something disturbing happens. My mother doesn't remember the scene. She thinks I dreamed it. Is the picture what I remember?

When I was about five I read a seemingly simple tale that was impossible for me to grasp. A little girl has a blanket. The blanket gets a hole. The little girl wants to get rid of the hole so she cuts it out. The hole gets bigger, and she cuts that out. She cuts and cuts and finally the blanket disappears.

I read the story over and again, as if it might change, and at its new end explanation would erupt from its pages. But the story's dire conclusion — the blanket disappears — left me trying to understand why it made sense and didn't make sense. Why couldn't she cut out the hole? (1)The mysterious effect of reading, the immense undecidability of meaning, all this was contained in a book whose title, author and illustrator I can't remember. And

no one's ever heard of it. The book is like a memory whose status as an object is in question.

But I remember reading it on my bed, and on the floor of the bedroom I shared with one of my sisters, and sitting in a big chair, in a room whose walls were papered brown, with little blue and yellow flowers. I didn't like brown. Was the radio on? Was I aware of girls and holes? What am I making up?

Years later I wrote a novel in which a character reads the blanket story. <sup>(2)</sup>By incorporating the lost book into 'my' book I found a way to restore it to some kind of existence outside, and yet within, 'me'. Now as I write about it again the blanket story gains significance and structure, becomes a private myth in my scripted childhood, overwhelming everything else, much as the hole consumed the blanket.

---

【4】 partial [pɑːrʃel] 「一部分の」「部分的な；不完全な」 reassemble A [riːəseɪbl] 「Aを再構築する」「Aを再び集める」 script 「原稿」 intangible [ɪntæŋdʒəbl] 「漠然とした」「不明瞭な」 unfailingly 「尽きない」「不朽の」 footbridge 「歩道橋」 disturbing [distəːrbɪŋ] 「困惑させる」 erupt [ɪrʌpt] 「噴出する」 dire [daɪə] 「恐ろしい」「悲惨な」 immense [ɪmɛns] 「巨大な」「計り知れない」 undecidability 「決定できないこと」 in question 「疑わしい」 incorporate A into B [ɪŋkɔːrpeɪt] 「AをBへと統合する」 restore A [rɪstɔːr] 「Aを復活させる」 scripted 「脚本化された」 overwhelming [ɒvərhweɪlɪŋ] 「圧倒的な」



## NO 35



【1】 〔語彙⑩〕 多義語

解答時間 5分

次の1～5それぞれにおいて、AとBの空所を共通に補うことのできる同じつづりの1語をしるせ。

1. A : As soon as we had solved one ( ) of problems, we faced another.  
B : She ( ) the tray down on a table next to his bed.
2. A : The ( ) was filled with dirty plates after the party.  
B : On the beach we watched the sun ( ) below the horizon.
3. A : The singer moved his body to the ( ) of the music.  
B : Brazil easily ( ) Japan in the World Cup last year.
4. A : The shuttle bus came to a ( ) outside the school.  
B : Please ( ) talking and listen to me carefully.
5. A : Would you kindly give me a ( ) this weekend to talk about it?  
B : We will ( ) on you later to discuss the matter.

## 【2】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

何によらず、これまでにできないと思っていたことが何かの拍子に突然できるようになったり、これまでよくわからずにもやもやしていたものが突然理解できたりするのは人生における大いなる喜びのひとつだと思う。そういう時はあたかも目の前の不透明なヴェールが一枚すっとはがれたような気がするものである。

## 【3】 〔構文研究〕 《完成編①》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

\*本文中のlineupは「容疑者」の意味で用いられている。

Faces just pop into our minds. But suppose I were to ask you to take a pen and paper and write down in as much detail as you can what your person looks like. Describe her face. What color was her hair? What was she wearing? Was she wearing any jewelry? Believe it or not, you will now do a lot worse at picking that face out of a lineup. This is because the act of describing a face has the effect of impairing your otherwise effortless ability to recognize that face.

---

【3】 pop into one's mind 「～の心に思い浮かぶ」 (≒come into one's mind) impair A [impéəɪ] 「Aを弱める」

【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(3)を和訳しなさい。

The domestic cat, that sits purring so tamely in front of the fire, has a secret wild life outside. It will walk out into the garden to stalk its prey, seizing it with sharp claws before giving a death bite with its dagger-like front teeth. The instinct of the cat is to hunt — whether its prey is an expensive cat toy in the house or a defenceless little shrew in the garden. This ability was highly valued in the past. Cats were natural pesticides, keeping down the numbers of mice and rats in farmyards, barns and mills. But, alas, it is not only mice that are caught. A study of what the cat brought home in an English village showed that they also caught sparrows, song thrushes, robins and blackbirds.

(1)There is something devilish in the way a well-fed cat will play with a terrified mouse, batting it up in the air, pouncing again on it, then setting it free again so that the chase can go on. Like man, they will kill for sheer pleasure, not for hunger. Above all, the cat can survive without man's help. It is truly independent. The cat as the ethologist Konrad Lorenz puts it, 'remains an independent, wild, little panther'. It is a paradoxical pet — a tame animal with all the skills of a wild being.

In both town and country there are two cat populations — the plump pet moggies, fed to the brim with expensive cat food, and the wild or half-wild strays which live off the mice in the fields and barns or plunder the town's dustbins at night. Some cats move

between these two worlds with ease and the angel in the home becomes the devil outside on the streets. <sup>(2)</sup>This way cats have the best of both worlds — regular meals and warm naps under the radiator inside, and the excitement of exploring the rooftops, hunting, and perhaps fighting outside. We often do not know much about the private lives of our own cats. From inside the house we hear the unearthly caterwauls of a mating ritual or mysterious spitting stand-offs for territory.

This wildness at the heart of a cat is a great attraction to the true cat lover. <sup>(3)</sup>Animal lovers though we are, we may feel a pang of pride, when we see our cat proudly bringing home a large mouse or even, maybe, a rabbit. Perhaps the cat's hunter heart speaks to the savage instinct, that is still alive in women and men despite thousands of years of suppression.

Three or four generations ago, the cat's hunting instinct was taken for granted. Poets and writers saw it merely as part of its usefulness to man. But as civilization imposes its petty rules and regulations on us all, it becomes a thing to marvel at.

---

【4】purr [pəːr] 「ゴロゴロなく」 stalk [stɔːk] 「忍び寄る」「こっそりつける」 prey [prei] 「獲物」 seize A [siːz] 「Aを捕まえる」 an instinct [ɪnstɪŋkt] 「本能」 shrew [ʃruː] 「トガリネズミ」 a pesticide [pestəsəɪd] 「殺虫剤」「駆除剤」 a song thrush 「ウタツグミ」 a robin 「コマドリ」 a blackbird 「クロウタドリ」 pounce on A [paʊns] 「Aに襲い掛かる」 an ethologist [iθɒlədʒɪst] 「動物行動学者」 paradoxical 「矛盾する」 plump [plʌmp] 「丸々とした」「ふくよかな」 a moggy [máɡi] 「猫」 (=a cat) stray [streɪ] 「迷子」 plunder [plʌndə] 「略奪する」 a dustbin 「ゴミ箱」 unearthly 「この世のものではない」「超自然的な」 caterwauls [kætərwɔːl] 「(盛りのついた猫のように) 鳴く」「叫ぶ; わめく」 ritual [rɪtʃuəl] 「儀式」 spit [spɪt] 「にらみ合いの」 stand-off 「争い」 a pang of A 「ちょっとした痛み of the A」 「胸のうずくような A」 petty [peti] 「些細な」 marvel at A [máːrvel] 「Aに驚嘆する」

## NO 36 LISTENING//ENGLISH COMPOSITION



【1】 [リスニング選択]

【2】 [英作文選択] 《九州大》

解答時間 20 分

次の日本語の下線部を英語に訳しなさい。

(1) 言語、習慣、文化、伝統などことごとく異なっている欧米人と本当に意志疎通をすることはなまやさしいことではないであろう。会話さえできれば、と考えるのは楽天的でありすぎる。われわれの考えをのべれば、たいていは否定されるであろう。しかし、そこでひるんで気まずく黙ってしまったりしてはいけない。 (2) むしろ、意見がくい違ったところから伝達ははじまるのである。本当に親しくなるのは、はげしい議論をした相手であることも忘れてはなるまい。ただ、はいはいと言っているのでは、かえって相手から信頼されない。必要なときには、どんどん反論を出すべきだが、ただ、相手を不快にしないような配慮だけはしたいものである。相手の主張にも耳をかたむけながら、おだやかに、しかし、明確に、自分の意見を主張するのは、相手が外国人の場合、とくに難しい。われわれはそういう優雅な反駁の方法をもっと研究しなければならないような気がする。

## 【3】 [英作文選択] 《東北大》

解答時間 20 分

次の文章を読み、下線部(A)、(B)を英語に訳しなさい。

人間の体は自然に属している。上に述べたように、どれほどの人がそれを実感しているだろうか。(A)「人工」とは意識がつくり出したもので、「自然」とは意識がつくらなかった世界である。自分の体は、意識がつくり出したものではなく、勝手にできたものだから自然に属する。それをいちばん端的に表しているのは、人間には自分の告別式がいつ来るかがわからない、ということである。

意識がつくり出した世界、頭で考えてつくった世界を、私は「脳化社会」と呼んでいる。具体的には都市のことである。自然がつくった人間の体と、脳化社会はあちこちで矛盾する。そのことを二十年ぐらい言い続けているが、十分には理解してもらえていないと思う。(B)たいていの人は、中年になって突然、体の心配をはじめ、健康にいいといわれるものを次々に試すようになる。自分の体が自然に属することをずっと忘れていて、中年になって急に気がつき、あわてだす。ふだんは田畑の面倒をみていなかった人が、突然面倒をみはじめるようなもので、まあ、間に合うわけがない。これも広義の環境問題であろう。人体という自然をめぐる話だからである。

(養老孟司『いちばん大事なこと』より一部変更)

## NO 37



### 【1】〔英作文〕《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

このごろ昔の長い小説を読んでいる。一つには、当今のものを退屈しながら読むくらいなら、前に読んで重い手応えのあったものを再読したいという気持ちになったためであり、もう一つには、長大な作品を書いていくなかで作者が成熟して行くのを見るのが面白くなったためである。

### 【2】《難問①》

解答時間 15 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Dread and savagery are the signs of our time, and quietly over coffee, matter-of-factly we discuss the likelihood of events once too terrible to be taken seriously. The age sways between extremes of hope and despair, and yet the steady tendency of imagination, at least in its literary manifestations, is to think deeply about the darker possibilities. The sense of gathering darkness prominent in modern classics narrows in recent fiction to the specific awareness, closely tied to political developments, of the disappearance of familiar coalitions\* of life and the coming of a condition so extreme as to threaten if not the continuity of the race then surely our claim to value as human beings.

(注) a coalition [kòuəlíʃən] 「合同、連合」

## 【3】〔英文解釈〕《東京大》

解答時間各 10 分

(1)

Even before France's Prime Minister, Edith Cresson, declared the Japanese relentless "economic animals" seeking to "dominate the world" with their workaholic habits, a half-hearted campaign began here to convince the country to relax. To a younger generation that questions the merits of working 9-to-9 and then drinking with colleagues until the last train home, the new push for shorter hours and longer vacations is welcome. To many over 50 it is evidence that the tough stuff that made Japan a great competitor is lost.

(2)

The first "telephone" in Monroe county, Missouri, was installed in 1876 by Dr. Fred M. Moss, a local physician. One end of the wire was in his home, the other end down in the drug store four blocks away. The service was very unsatisfactory. In fact, the telephone was more of a nuisance than otherwise until local people had satisfied their curiosity by making unprofessional calls.

(注) Missouri [mizúeri] ミズーリ [米国中部の州]

【2】dread [dred] 「恐怖」 savagery [sævidʒ] 「残忍性」 matter-of-factly 「当然のように」 despair [dispéər] 「絶望」 manifestations 「兆候」 (in its literary manifestations 「それが文学として現れること」) prominent [prámənənt] 「明らかな」 specific [spəsifik] 「特定の」

【3】(1) declare A [dikléər] 「A を断言する」 (=proclaim A 「A を公言する」) relentless [riléntlis] 「情け容赦のない」 workaholic [wə:rkəhɔ (:)] lik 「仕事中毒の」 convince A to V [kənvíns] 「A に V するよう説得する」 tough 「屈強な」 a competitor [kəmpétətər] 「競争者」 「競争国」

(2) county [káunti] 「(米) 郡 (英) 州」 instal A [instɔ:l] 「A を設置する」 「取り付ける」 a physician [fiziʃen] 「医師」 a nuisance [nju:sens] 「迷惑(なもの、こと)」



## NO 38 <ENGLISH COMPOSITION>



【1】 [英作文] 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

あなたがどこかの場所を訪れるとすると、当然のことながら土地が主人公となる。ガイドに案内されようと、ガイドブックを持って歩こうと同じことなのだ。まず、どこへ行こうかとプランを立てるそもそもの始まりから、場所が主導権を握り、あなたはその従順な奴隷となってしまう。

【2】 《難問②》

解答時間 20 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

The function of the aesthetic critic is to distinguish, to analyze, and separate from its adjuncts, the virtue by which a picture, a landscape, a fair personality in life or in a book, produces this special impression of beauty or pleasure, to indicate what the source of that impression is, and under what conditions it is experienced. His end is reached when he has disengaged that virtue, and noted it, as a chemist notes some natural element, for himself and others.

(注) aesthetic [esθétik] 「美術の」 an adjunct [ædʒʌŋkt] 「付属的なもの」  
disengage A [dìsingéidʒ] 「A を分離する」

---

【2】 distinguish A [distɪŋɡwiʃ] 「A を識別する」 analyze A [ænalàiz] 「A を分析する」 indicate A [índikèit] 「A を示す」 some natural element 「元素」

## 【3】 〔英文解釈〕 ≪京都大≫

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)(2)を訳せよ。

It is the glory of God to conceal things; it is our honour to search out the things which God has concealed. In Germany at Easter time they hide coloured eggs about the house and the garden so that the children may amuse themselves in hunting after them and finding them. <sup>(1)</sup>It is to some such game of hide-and-seeK that we are invited by that power which planted in us the desire to find out what is concealed, and stored the universe with hidden things so that we might delight ourselves in discovering them. And the pleasure of discovery differs from other pleasures in this, that it is shadowed by no fear of excessive gratification on the one hand or of frustration on the other. Other desires perish in their fulfilment; but the desire of knowledge never: the eye is not satisfied with seeing nor the ear filled with hearing. <sup>(2)</sup>Other desires become the occasion of pain through scarcity of the material to gratify them, but not the desire of knowledge: the sum of things to be known is inexhaustible, and however long we read we shall never come to the end of our story-book. So long as the mind of man is what it is, it will continue to rejoice in advancing on the unknown throughout the infinite field of the universe; and the tree of knowledge will remain forever, as it was in the beginning, a tree to be desired to make one wise.

【3】 conceal A [kənsi:l] 「Aを隠す」 honour [ˈɒnər] 「栄光」 amuse A [əmjú:z] 「Aを喜ばせる」 hide-and-seeK 「宝探しゲーム」 excessive [eksésiv] 「過度の」 gratification 「満足」 (gratify A) [grætifài] 「満足させる」 perish [péiʃ] 「消滅する」 inexhaustible [inɛgzɔ:stəbl] 「尽きることがない」 infinite [infənit] 「無限の」

## NO 39



### 【1】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

初対面の時には、相手が一体どんな人か分からない。何となく重苦しい雰囲気、緊張しているし、多少とも不安である。そんな時、お互いにニコッと笑い合えたら、それで意思が通じ合えたような気になり、安心して話せそうに思えてくる。

### 【2】 《難問③》

解答時間 20 分

次の英文の下線をほどこした部分を日本語に訳せ。

Now much of the concern of the modern physical scientist, atoms, electrons, \*atomic nuclei, electron-waves, etc., is essentially not of a nature to be directly known to sight, touch or hearing. These 'things' are as far from being objects of direct sense-perception as anything imagined by the most fantastic of artists. If the latter justifies himself by the coherence of the communicated ideas to which his patterns give rise, where is he resembling and where is he differing from the physicist whose view of the universe is a deliberately woven structure of ideas which also radically \*diverges from sense-perception?

(注) sense-perception 「知覚」 atomic nuclei [njú:kliài] 「原子核」  
diverge from A [divə:rdʒ] 「A と異なる」

## 【3】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

There is a familiar fairy tale sometimes called “Darwinism” that probably would have shocked Darwin. The tale says that the systems of the body are well adapted to their functions, perhaps perfectly so. What that is supposed to mean is unclear. It is no principle of biology. On some interpretations, the statement just seems false. Nothing follows about the theory of evolution, which in no way suggests that the systems that have developed should be well adapted to conditions of life. They may be the best that nature could do under the constraints within which organisms evolve, but the outcome may be far from ideal. <sup>(1)</sup>For all sorts of reasons, specific organs might turn out to be more poorly designed than is possible even within these constraints; perhaps because such design failures contribute to modifications elsewhere in the highly integrated system that improve reproductive capacity. Organs do not evolve independently, of course, and a successful organism has to hang together in complicated ways. In general, little can be said without an understanding of the physical and chemical properties of complex organisms, and if we had that understanding, it would hardly be a surprise to discover significant “design errors” in organisms that are a “biological success” (meaning plenty of them are around).

A familiar example is the human skeleton. Few people escape back problems, because the system is poorly designed from an

engineering standpoint. That may be true for large vertebrates\* generally (though cows don't know how to complain about backpains). (2)The system works well enough for reproductive success, and perhaps it is the “best solution” under the conditions of vertebrate evolution. But that’s as far as the theory of evolution reaches. In the case of language, there would be no reason to expect the system to be “well adapted to its functions,” and it seems not to be (at least, if we try to give some natural meaning to these obscure notions). The fact that large parts of language are unusable doesn't bother us; we use the parts that are usable, hardly an interesting fact.

(注) vertebrates [və:rtəbrèit] 「脊椎動物」 reproductive capacity [ri:prədʌktiv] 「生殖能力」

---

【3】 a fairy tale 「おとぎ話」 adapt A to B 「A を B に適応させる」 in no way 「決して～ない」 a constraint [kənstréint] 「制約」 outcome [áutkʌm] 「結果」 an organ [ɔ:rgən] 「組織」 contribute to A [kəntribju:t] 「貢献する」 a modification 「修正」 (modify [máðəfài]) integrated [intəgrèitid] 「統合された」 a property [prápərti] 「特性」 skeleton [skéləten] 「骨格」 from ~ standpoint [st'æn(d)p'ɔint] 「～の見地から」 obscure [əbskjúər] 「曖昧な」 unusable [ʌnjú:zəbl] 「使用できない」 bother A [báðər] 「A を困らせる」



## NO 40



【1】 [長文総合] ≪東京大≫

解答時間 20 分

次の文を読み、以下の設問に答えよ。

“When I was a kid,” Paul tells me, “we used to play something we called the politeness game. The idea was to stop some man in the street and ask for the time, but to do it so politely and pleasantly that he gave you not only the time, but a smile and a few nice words as well.” “That was the game?”

“Well, we had a point system. One point for the time, a second for a smile, and a third for an answer, like ‘That’s all right’ — or even ‘You’re welcome’ when we said thank you. The fourth and most decisive point was ( A ) if he went on to ask our name or anything about us.”

“But what was the idea of the game ?”

“Well, on the surface the idea was just to score four points by being polite and cheerful. But the truth was that I — and my friends too, I’m sure — got a tremendous thrill out of being polite and seeing how that politeness forced a pleasant response.”

“Did it always ?”

“Almost always. Maybe because we were young and the part of town we lived in was rough, our politeness was unexpected. Most people were ( B ) off guard — some were even a little upset, as if they were wondering, (c) ‘What’s the kid after ?’

“But then, the funny thing was, a good many of the people held on to us.”

“How do you mean, held on ?”

“Well, they were reluctant to give us the time and walk away, to (D)let it go at that. We were kind ( (E) ) a challenge, so pleasant and polite, and they were curious. The usual question was, ‘Are you new here ?’ and I’d get a kick out of answering, ‘Oh, no, sir. I’ve lived here all my life.’ It ( (F) ) them up. Most kids, to them, were mean little savages. Why were we so polite and mannerly ?”

“Did you ever use the game later ?”

“Well, when I was a teen-ager I used to play the game with the parents of the girls I (G)went out with. I’d call the father ‘sir,’ and I’d stand up when the mother came into the room.”

“(H)How did it work ?”

Paul laughs. “I’ll tell you. The first time I tried it, the girl was furious. When we were alone, she said, ‘Why are you making fun of my parents ?’ and (I)I had a job convincing her I really meant it. But her parents — wow ! From then on I could do no wrong. (J)They were furious with her, she told me, when we split up.”

(A)空所(A)を補うのに最も適当な 1 語を次の中から選び、その記号を  
記せ。

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| (ア) awarded | (イ) grasped  | (ウ) lost |
| (エ) raised  | (オ) stressed |          |



(B)空所(B)を補うのに最も適切な 1 語を次の中から選び,それを適切な語形に変化させよ。

(ア) drive      (イ) hold      (ウ) keep      (エ) take

(C)下線部(C)を日本語に訳せ。

(D)下線部(D)の内容として最も適切なものを次の中から選び,その記号を記せ。

(ア) さらに深く追求する      (イ) それ以上何もしない  
(ウ) 疑問をそれにぶつける      (エ) いたずらをした子を逃がす

(E)空所(E)を補うのに最も適切な前置詞 1 語を記せ。

(F)空所(F)を補うのに最も適切な 1 語を次の中から選び,それを適切な語形に変化させよ。

(ア) catch      (イ) give      (ウ) shake      (エ) shape

(G)下線部(G)と同じ意味となるものを次の中から選び,その記号を記せ。

(ア) came across      (イ) dated      (ウ) liked  
(エ) looked after      (オ) quarreled with

(H)下線部(H)を日本語に訳せ。

(I) 下線部(I)と同じ意味となるものを次の中から選び、その記号を記せ。

- (ア) I took it on myself to persuade her
- (イ) because of my good job she consented
- (ウ) it was by no means easy to convince her
- (エ) I was engaged in my work while I was telling her

(J) 下線部(J)の理由として最も適切なものを次の中から選び、その記号を記せ。

- (ア) 自分の娘の気まぐれな態度に愛想がつきたから
- (イ) ぼくが娘の心をひどく傷つけてしまったと心配したから
- (ウ) ぼくのような好青年と交際を続けるべきだと考えたから
- (エ) 僕たちが相談して両親をからかったと思ったから

## NO 41

【1】〔英作文〕《京都大》



解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

雨は降らなくても降りすぎても災いを招く。天気予報という言葉さえなかった時代、先の天気は自分で判断するしか術がなかった。だから人々は真剣に空を眺め、風を読んだに違いない。天気に関わる言葉が豊かなのは、そのせいだろう。

## 【2】 《難問④》

解答時間 30 分

次の英文の下線をほどこした部分(1)(2)を日本語に訳せ。

(1)With every day that passed she became more conscious of her powers and of her limitations and at the same time of her inability to use the one or alter the other. She had the mind of a man — an exceptional man — but no opportunity to develop or apply it. She worried incessantly about herself, for when she looked in her glass she saw only defects; the charm which no mirror reflects was hidden from her. And her sufferings on this score were aggravated\* by the waste of intellect. If she had no faith in her physical attractiveness, she believed in the power of her mind and in its ability to win for her the admiration and affection she coveted\*. (2)Every book she opened was at once an assurance of her mental power and a tantalizing\* reminder that by reason of her sex and her position she could never use it, never emulate\* the men about whom she read. She felt absolute despair.

(注) aggravate A [ægrəvèit] 「A をさらに悪化させる」 covet A [kʌvɪt] 「A を切望する」 tantalizing [tæntəlàiziŋ] 「いらいらさせる」 emulate A [émjulèit] 「～と競う、張り合う」

【2】 inability [ɪnəbɪlɪti] 「不可能であること」 alter A [ɔːltər] 「A を変える」 incessantly [ɪnsésentli] 「終始」「絶えず」 a suffering [sʌfərɪŋ] 「苦しみ」 at once A and B 「A も B も」 assurance [əʃʊərəns] 「保証」「確証」 by reason of A 「A のせいで」

【3】 occupy A [ákjupài] 「A を占める」 sway [swei] 「揺れる」 spiritualist [spɪrɪtʃuəlɪst] 「降霊術師」 Clayfield College 「クレイフィールド大学」 declare oneself [dɪkleɪər] 「本性を明らかにする」 out of the blue 「突然」 murder A [məːrdər] 「A を殺害する」 appropriate [əprəʊpriət] 「適切な」 whizzing 「ヒューヒューという音(をたてること)」 (whizz [hwɪz]) a troop [truːp] 「軍隊」「大群」 tilt A [tɪlt] 「A を(上下に)傾ける」 in defiance of A 「A をものともせず」 decently [dɪːsentli] 「きちんと」 loaded A to capacity 「A を能力いっぱいまで積む」 dignity [dɪgnəti] 「威厳」 conceal A [kənseɪl] 「A を隠す」 clearing my throat 「咳払いをする」 fool A [fuːl] 「A を馬鹿にする」 steam [stiːm] 「蒸気を上げる」 firefly 「ホタル」 impressionably [ɪmprɪʃənəbli] 「感じやすい」「感受性の強い」 dizzy [dɪzi] 「めまいのする」

【3】 〔総合問題〕 《東京大》

解答時間 20 分

次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

When I was eleven, I took violin lessons once a week from <sup>(1)</sup>a Miss Katie McIntyre. She had a big sunny fourth-floor studio in a building in the city, which was occupied below by dentists, paper suppliers, and cheap photographers. It was approached by an old-fashioned lift that swayed dangerously as it rose to the fourth floor, which she shared with the only ( 2a ) occupant, Miss E. Sampson, a spiritualist who could communicate with the dead.

I knew about Miss Sampson from gossip I had heard among my mother's friends. The daughter of a well-known doctor, she had gone to Clayfield College and been clever and popular. But then her gift appeared — that is how my mother's friends put it, just declared itself out of the blue, without in ( 2b ) way changing her cleverness or good humour.

She came to speak in the voices of the dead: little girls who had been murdered in suburban parks, soldiers killed in one of the wars, lost sons and brothers. Sometimes, if I was early for my lesson, I would find myself riding up with her. Holding my violin case tightly, I pushed myself hard against the wall of the lift to make room for <sup>(3)</sup>the presences she might have brought into the lift with her.

It was odd to see her name listed so boldly — “E. Sampson, Spiritualist” — in the entrance hall beside the lift, among the dentists, photographers, and my own Miss McIntyre. It seemed

appropriate, in those days, that music should be separated from the everyday business that was being carried on below — the whizzing of dentists' drills and the making of passport photos for people going overseas. But I thought of Miss Sampson, for ( 2c ) her sensible shoes and businesslike suits, as a kind of fake doctor, and was sorry that <sup>(4)</sup>Miss McIntyre and classical music should be associated with Miss Sampson and with the troops of sad-eyed women (they were mostly women) who came all the way to her room and shared the last stages of the lift with us: women whose husbands might have been bank managers — wearing smart hats and gloves and tilting their chins a little in defiance of their having at last reached this point; other women who worked in hospital kitchens or offices, all decently gloved and hatted now, but <sup>(5)</sup>looking scared of the company they were in and the heights to which the lift brought them. They tried to hang apart, using their elbows in a ladylike way, but using them, and saying politely “Pardon,” or “I’m so sorry,” when the crush brought them too close.

On such occasions the lift, loaded to capacity, made heavy work of it. And it wasn't, I thought, simply the weight of bodies (eight persons only, a notice warned) that made the old mechanism grind in its shaft, but the weight of all that sorrow, all that hopelessness and last hope, all that dignity in the privacy of grief. We went up slowly.

Sometimes, in the way of idle curiosity (if she could have had such a thing), Miss Sampson would let her eyes for a moment rest on me, and I wondered hotly what she might be seeing beyond a

small eleven-year-old. Like most boys of that age I had much to conceal. But she appeared to be looking at me, not through me. She would smile, I would respond, and, clearing my throat to find a voice, I would say in a well-brought-up manner that I hoped might fool her and <sup>(6)</sup>leave me alone with my secrets, “Good afternoon, Miss Sampson.” Her own voice was as unremarkable as an aunt’s: “Good afternoon, dear.”

It was therefore <sup>(7)</sup>all the more alarming, as I sat waiting on one of the chairs just outside Miss McIntyre’s studio, while Ben Steinberg, her star pupil, played the Max Bruch, to hear the same voice, oddly changed, coming through the half-open door of Miss Sampson’s office. Though much above the breathing of all those women, it had stepped down a tone — no, several — and sounded as if it were coming from another continent. It was an Indian, speaking through her.

It was a being I could no longer think of as the woman in the lift, and I was reminded of something I had once seen from the window of a railway carriage as my train sat steaming on the line: three old men behind the glass of a waiting room and the enclosed space shining with their breathing like a jar full of fireflies. It was entirely real, but the way I saw them changed that reality, making me so impressionably aware that <sup>(8)</sup>I could recall details I could not possibly have seen at that distance or with the naked eye: the greenish-grey of one old man’s eyes, and a stain near a shirt collar. Looking through into Miss Sampson’s room was like that. I saw too much. I felt dizzy and began to sweat.

There is no story, no set of events that leads anywhere or proves anything — no middle, no end. Just a glimpse through a half-open door.

(1) 下線部(1)にある不定冠詞の a の用法と同じものを次のうちから一つ選び, その記号を記せ。

ア The car in the driveway looked like a Ford.

イ All who knew him thought he was an Edison.

ウ A Johnson came to see you while you were out.

エ At that museum I saw a Picasso for the first time.

オ She was an Adams before she married John Smith.

(2) 空所(2a), (2b), (2c)を埋めるのに最も適切な単語を次のうちから一つずつ選び, その記号を記せ。

ア all            イ another    ウ any            エ different

オ every        カ no            キ none          ク other

ケ same        コ some        サ that          シ those

ス what        セ which

(3) 下線部(3)と最も意味が近い, 2語からなる別の表現を文中から抜き出して記せ。



(4) 下線部(4)の意味に最も近いものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

ア Miss McIntyre and classical music should be involved in Miss Sampson's business

イ Miss McIntyre and classical music should be influenced by someone like Miss Sampson

ウ Miss McIntyre and classical music should be looked down on even more than Miss Sampson was

エ Miss McIntyre and classical music should be coupled with someone as unrespectable as Miss Sampson

オ Miss McIntyre and classical music should be considered to be as unprofessional as Miss Sampson

(5) 下線部(5)の意味に最も近いものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

ア seeming frightened of the other women in the lift and of how high the lift was rising

イ looking fearfully at the other women in the lift, which went up to the fourth floor

ウ showing their fear of the unfamiliar women in the lift, which brought them to a high floor

エ looking anxiously at the other passengers in the lift, frightened because the lift seemed to go up forever

オ apparently feeling frightened of the company which  
employed them and the heights to which the unsteady lift  
rose

(6) 下線部(6)の意味として、最も適切なものを次のうちから一つ選  
び、その記号を記せ。

ア hide my feeling of guilt

イ let me enjoy being alone

ウ assure her of my good manners

エ keep her from reading my mind

オ prevent her from telling others my secrets

(7) 下線部(7)の表現がここで用いられている理由として、最も適切  
なものを次のうちから一つ選び、その記号を記せ。

ア Because Miss Sampson usually spoke in a mild voice.

イ Because Ben Steinberg heard the same voice oddly  
changed.

ウ Because more and more people were afraid of Miss  
Sampson's voice.

エ Because the piano in Miss McIntyre's studio sounded as if  
it were far away.

オ Because Miss Sampson could be heard more easily than  
all the other women.

(8) 下線部(8)を和訳せよ。

## NO 42 《VOCABULARY CHECK》



【1】 [講習会確認テスト]

※第3回 英文法語法検定 [発音・アクセント]

【2】 [英文解釈] 《東京大》

解答時間各 10 分

次の英文(1)(2)を読んで下線部を和訳しなさい。

(1)

When chicks are reared together, fighting develops about the fourth week of age. When they are about ten to twelve weeks old, the weaker or less determined chicks have learned to avoid the stronger or fiercer, and all of them can be arranged in a straight rank order, from the most dominant to the most submissive. But this does not imply the presence of social classes. Each individual may have superiors and subordinates, but in such a ranking system any line we draw, to divide an upper from a lower class, may be entirely arbitrary.

(2)

It is a well-known fact that the same things are not funny to everybody. We have all at some time made what we consider to be a witty remark at the wrong time and in the wrong company and have consequently had to suffer severe embarrassment to find the joke falls flat. Unspoken rules govern where, when and with whom it is permissible to joke.

---

【2】 (1) rear A [riə] 「A を育てる」 fierce [fiərs] 「獐猛な」 dominant [dámənt] 「優勢な」 submissive [sʌb mɪsɪv] 「従属的な」 arbitrary [á:rbətəri] 「恣意的な」  
(2) witty [wɪti] 「機知」 consequently [kɒnsɪkwəntli] 「その結果、結果として」 unspoken rules 「暗黙の了解」 govern A [gʌvərn] 「A を支配する」 permissible [pərmɪsəbl] 「許される」



## NO 43



### 【1】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

偉人の生涯は感動的で面白い。親や教師が教えることも模範を示すこともできないような、人間のすばらしい生き方、ものの考え方を伝えてくれる。幼少の頃に偉人伝から得た感動や教訓が幾分なりとも残在していれば、大人の世界も少しは変わってくるはずだ。

### 【3】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 10 分

次の英文を読んで下線部を和訳しなさい。

John Fenton, manager of a 7,000-acre estate in Humberside, is working with a Danish combine harvester manufacturer, Dronningbourg, on a method of using computers to map levels of fertility in different parts of a field. The aim is to make labour, chemicals and machinery work together more effectively.

It never occurs to most of us that a field of wheat is anything but a uniform whole. But the crop produced in one part of a field can be three times that of another.

---

【3】 an estate [estéit] 「地所」(注) Humberside [hʌmbərsaɪd] 「ハンバーサイド州」 Danish [deɪniʃ] 「デンマーク」 Dronningbourg 「ドゥロニブルグ」 fertility [fəːrtɪləti] 「肥沃」 It occurs to A that SV... 「SV...とふと思う」 uniform 「均一な」

## 【4】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)(2)を和訳せよ。

The word “patina” refers to the surface color and finish built up by age, wear and polishing. On wooden furniture, a patina shows depth and grain and indicates that the piece has aged. Indeed this mellowed color is one of the things about antique furniture that collectors love most. Like the laugh lines on the face of a beloved grandparent, they are the signs that it has “lived.”

Patina is also an important indicator of fake antiques. All woods and wood finishes discolor over time due to use, oxidation\* , the care (or lack of it) the piece has received at the hands of former owners and exposure to heat and cold, sunlight and humidity. However, false patinas are produced with a variety of weapons that range from chemicals to smoke.

(1)If the patina of the entire piece is a uniform color, be wary! The finish should be uneven, worn wherever it would have been rubbed by hands, backs of knees, shoulders and dust rags as a part of normal use and care. It should be darker where rags and hands couldn't reach or where the wood was protected from the elements. Check the back or underside of the piece in question, which would have been left in its natural state — neither stained nor varnished — when it was made. Over time, this untreated, unfinished wood will have oxidized. Its surface will be dark, but if you scratch it gently with a fingernail, you'll see the wood is appreciably lighter underneath. If the dark color penetrates below

the surface, this may indicate that the wood has been stained or treated with chemicals. (Never, never attempt to do this “scratch test” anywhere it will show!)

(2) Since all of their individual components are genuinely old, truly “married” antiques usually show the expected pattern of fading produced by many years of use. But, if you have a cupboard, for instance, with a top and bottom that started life on different pieces of furniture, the color of the patina on each section will be somewhat different. There will also be gaps where the old joinings and the new ones do not match.

One last word about patina: If the piece you are looking at has a carbony, woodsmoke smell, or you can pick up carbon dust in cracks and crevices with a clean tissue, it probably got its patina in a smokehouse. Pass it by.

\* patina [pætinə] 「古色」 oxidation 「酸化」

---

【4】 refer to A 「Aのことを言う,Aを意味する」 surface [sə:rfis] 「表面」 indicate A...[ɪndikəɪt] 「のしるし [徴候] である, ...を(暗に)示す」 mellowed [méloud] 「深みのある」 beloved [biləvid] 「最愛の」 fake [feik] 「ニセの」 exposure [ekspəʊʒər] 「晒すこと、触れること」 (expose A 「Aを晒す」) humidity [hjú:miditi] 「湿気」 wary [wéeri] 「用心している」 a dust rag 「雑巾」 the elements 「自然の要素」 in question 「当該の、問題となっている」 staine A 「Aにシミを付ける」 varnish A 「Aにニスを塗る」 untreated 「処理されていない」 unfinished 「未仕上げの」 oxidize A [áksidàiz] 「Aを酸化させる」 appreciably [əpri:ʃiəbli] 「明らかに」 penetrate A [pénitrèit] 「Aを突き抜ける」 a component [kəmpúnənt] 「部品」 fade [feid] 「消える」 a joining 「部分、継ぎ目」 carbony [ká:rbəni] 「炭のような」 (carbon [ká:rbən] 「炭」) woodsmoke smell 「木がこげている匂い」





## NO 44



### 【1】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

茶室の窓はヨーロッパ的な意味の窓とは根本的に異なっている。それは外を見るためではなく、外の気配を感じとるためにある。我々はそこに映る樹木の影がゆれるのを見て外の風を感じとり、この影が薄くなるのを見て日没を感じとる。茶室の窓は外の光を抑制して内部に入れることを役割としているのである。

### 【2】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 10 分

次の英文を読んで下線部を和訳しなさい。

It is said of the British that, when two people meet , their opening exchange is about the weather. This can be interpreted as a result of Britain's changeable climate. After all, it would be meaningless for two Egyptians meeting in July to say "Another sunny day, then," while in Britain it is at least reasonable to express some surprise. Such opening remarks may also reflect a certain self-restraint or even politeness since they allow either party to depart after a sentence or two if they are in a hurry.

---

【2】 interpret A [intə:'rprət] 「A を解釈する」 changeable [tʃeɪndʒəbl] 「移ろいやすい」 self-restraint [rɪstrɪənt] 「節度」 depart [dɪpɑ:rt] 「分かれる」

## 【3】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(3)を和訳しなさい。

Popular books with “nature” in their titles are sometimes stocked with pictures of particular natural objects, lakes, species of fish, and habitats. The photos or drawings are usually accompanied by word pictures or descriptions meant to evoke the image of particular objects. Because pictures by themselves are barren of any syntax, they make no contentions and construct no arguments about the objects that they represent. A picture of a shore bird encased in oil tar may or may not be an argument against offshore oil drilling. (1) Depending on the moral understanding of the viewer, the picture may represent the tragic or the merely unfortunate, constitute an “argument” against any offshore oil drilling or for safer offshore drilling, or be met with plain indifference. To take another example, if I see a picture of a dying fish, I don’t know whether to feel good or bad until I read something like “This fish is dying because of poisonous waste spills from XYZ chemical company.” If I read instead “This fish is dying because it is old,” I will feel differently. By themselves, then, pictures do not argue with the world or anyone in it.

(2) Whether “real” pictures illustrate a text or whether the text merely clarifies the pictures, real pictures and word pictures alike silently and powerfully make a single demand: they want recognition. The picture states “Here is a particular tree; you’ll recognize it. Or if you don’t, the picture will help you recognize a

tree like it, if and when you ever see one.”<sup>(3)</sup> The picture might be worth a thousand words when describing a particular tree or species of tree, but it is worth little in terms of understanding that there is a category of things in nature called “trees” — a category that exists in our minds independent of any particular real tree or species of trees.

This categorical understanding is premised on the power of abstraction, and abstraction presupposes a language that is not merely a good or poor substitute for a photograph but rather demands to be understood and argued with, that is, that represents the world not as an object but as an idea. Language depends on syntax, hence is necessary for reasoning and argumentation; pictures, by contrast, usually aid recognition much better than language does.

(注) syntax [sɪnt`æks] 「統語法(脈絡)」

---

【3】 stock A with B [stak] 「A に B を供給する」 A is accompanied by B [əkampeni] 「A は B を伴う」 evoke A [ivóuk] 「A を喚起する」 barren of A [bærən] 「不毛の」 encase A [enkéis] 「A をすっぽり包む」 constitute A [kánstətjù:t] 「A を構成する」 poisonous [pɔizenəs] 「有毒な」 a waste spill [spil] 「廃液」 clarify A [klærəfài] 「A を明確に説明する」 a category [kætəgɔ:ri] 「範疇」 categorical [k`ætəgɔ(:)rikel] 「範疇の」 premise A [prémis] 「A を前提とする」 abstraction [æbstrækʃen] 「抽象化」 presuppose A [pri:səpóuz: ] 「A を前提とする」 a substitute[sabstətjù:t] 「代用」 demand to V [dimánd] 「V することを要求する」 reasoning 「推論」 argumentation [à:rgjumentéiʃen] 「議論」 by contrast[kántræst] 「対照的に」



## NO 45



### 【1】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

わからないことがあると、インターネットで検索すればなんでもすぐに答えが見つかるから、百科事典や辞典といった書物はもう必要がなくなった、という人がいるが、それは大きなまちがいだ。わたしたちは、そうした書物が実は巨大な知識と知恵の宝庫であることに、今ようやく気づくのである。そして、それを編集した人々の想像を絶する努力に、あらためて感謝するのだ。

### 【2】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 10 分

次の英文を読んで下線部を和訳しなさい。

Creative thinking may well mean simply the realization that there's no particular virtue in doing things the way they have always been done.

## 【3】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線をほどこした部分(1)～(3)を和訳せよ。

Susan Lichtman is sitting in the crowded reception area of the dentist's office. She is waiting for her daughter, Nicki, to arrive, even though Nicki's last words out the door this morning were to forget it, she had no intention of letting anyone put braces on her teeth, and that no one could make her. Not even her mother. *Especially* not her mother, Susan thinks now, the emphasis hers.

She checks her watch. Almost four o'clock. Still a few minutes before Nicki's scheduled appointment. Even if she does show up, Susan recognizes, she'll be late. Nicki is always late, unlike her mother, who is always early.

(1)She stares toward the reception room door, willing it to open and Nicki to walk through. But Nicki has been remarkably resistant to her mother's will of late, and the door stays firmly closed. Are all fifteen-year-old girls so stubborn? So argumentative? What happened to the little girl whose love for her mother was once so absolute and unquestioning, whose every glance was filled with sweet and total admiration? Now whenever Nicki deigns to look her way, it is through eyes heavy-lidded with disgust, as if she is overwhelmed that this woman so out of touch with reality, this archaic, irrelevant remnant of the dark ages, could actually be her *mother*. Surely someone, somewhere, has made a terrible mistake.

The mistakes are all hers, Susan acknowledges silently. She's the one who is either too lenient or too strict, too inquisitive or too disinterested, too old-fashioned or too trendy, too much or too little. Too angry. Too protective. Too moody. Too intense. Too tired. Whatever she can be, she's too much of it, except for the one thing all the books say mothers should be — consistent. Unless consistently inconsistent counts for something, she thinks hopefully.

Not like her own mother.

Susan's eyes automatically brim with tears, as they do every time she thinks of the mother she lost to cancer just months after Nicki was born. So beautiful. So patient. So instinctively correct in everything she said and did. (2)What would she think of the mother her daughter had become? What advice would she give her? How would she have handled the increasingly challenging young woman her infant grandchild had grown into?

As if on cue, the door to the reception area opens and Nicki sweeps through. Nicki always sweeps. She moves as if there is a camera following her, recording her every gesture, her eyes on guarded alert for the camera's telltale red light that signals she is "on." Susan watches in awe of her daughter's total self-absorption as Nicki removes her jacket and hangs it up, fluffs her long brown hair in the small mirror next to the coat rack, then retrieves a magazine from the coffee table in the middle of the room. She has yet to acknowledge her mother's presence.

“Hi, sweet thing,” Susan whispers as Nicki occupies the seat beside her.

She hears a grunt, close-mouthed, barely audible. Maybe “Hi,” maybe not. Nicki stares straight ahead, then without warning flicks her hair away from her shoulders, absently whipping it across the side of her mother’s cheek.

“Ow! Watch that,” her mother says, a touch too loud.

(3) Nicki’s entire body tenses, her soft features hardening into a frown. Not here two minutes, Susan thinks and I’ve already managed to offend her. She wonders only briefly why it’s her daughter who’s angry when she’s the one who’s been hurt.

---

【3】 have no intention of Ving 「 Ving するつもりはない」 braces 「歯列矯正器」 resistant [rizístent] 「反抗的な」「抵抗する」 stubborn [stʌbərn] 「頑固な」 argumentative 「理屈っぽい」 unquestioning 「疑いのない」 disgust 「嫌悪感」 overwhelm A 「A を圧倒する」 archaic 「古い」「時代遅れの」 irrelevant 「無関係な」 remnant 「遺物」 acknowledge A 「A を認める」 lenient [lí:niənt] 「優しい」「寛大な」 inquisitive [inkwízətív] 「好奇心の強い」 disinterested [disínterístid] 「無関心な」 consistently 「首尾一貫して」 inconsistent 「首尾一貫していない」 count for something 「重要でない」 brim with A [brim] 「A でいっぱいになる」 instinctively 「直感的に」 on guarded alert [əle:rt] 「用心深い」 remove A [rimú:v] 「A を取り除く」 fluff A [flʌf] 「A を毛羽立たす」 retrieve A [ritrí:v] 「A を回収する」 have yet to V 「まだ V していない」 grunt [grʌnt] 「ブツブツ言う」 flick A [flík] 「A を打つ」 whip A [hwíp] 「A を鞭打つ」 a frown [fraun] 「しかめっ面」 offend A 「A を怒らせる」



《文法解説》

[直接話法・間接話法・描出話法]

「彼は、昨晚よく寝たと言った」

直接話法： He said, "I had a good sleep."

間接話法： He said (that) he had had a good sleep.

直接話法：人や自分の言葉をそのまま伝える言い方。

間接話法：人や自分の言葉を自分の立場から伝える言い方。

描出話法(中間話法)：小説などの中でよく用いられる。直接話法と間接話法の中間的な話法。ある人の発言や考えたことを、伝達者の言葉のように述べる言い方である。時制の一致や代名詞の用い方は間接話法と同じであるが、それ以外はほとんどそのままの形(直接話法のように)で表し、また *She said* ~ というような表現は用いない。

*She walked to the window. She found her shirt torn. She would mend it. She would wear it tonight.*

「彼女は窓際まで歩いた。それは破れていた。自分のシャツが破れているのに気付いた。自分で直すわ。今夜これを着るわ、と彼女は思った」

イタリックの部分描出話法。

上の英文を直接話法、間接話法で書き換えた場合

直接話法： She said to herself, "I will mend this. I will wear it tonight."

間接話法： She thought that she would mend it and she would wear it that night.

---

次の英文を全訳しなさい。《京都大》

A maid came to the door after Stephen had rung the bell two or three times. Asked whether Mr Carstairs lived there, she answered that he did. Was he at home? No was the reply, Mr Carstairs is at the church. The tone in which this was said clearly implied that the questioner was a fool for expecting him to be anywhere else. And Mrs Carstairs? She was at church too. And the door slammed.

---

Stephen 「ステファン」 Mr Carstairs 「カーステアズ」 a questioner 「質問」 slam A [slæm] 「A(ドア)をバタンと閉める」



## NO 46



### 【1】 [英作文] 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

テレビが現れる前には、茶の間の中心はラジオだった。私たちは、小さな魔法の箱から飛び出してくる音を胸をわくわくさせて聞いた。テレビと共に育っている人たちは、ラジオは表現力の点で劣ると考えるに違いない。しかし、映像表現を欠くラジオはそれ故に、私たちの心をかえって想像力豊かなものにしてくれた。

### 【2】 [英文解釈] 《東京大》

解答時間 10 分

次の英文を読んで下線部を和訳しなさい。

Most of us feel intuitively that time goes on forever of its own accord, completely unaffected by anything else, so that if all activity were suddenly to cease time would still continue without any interruption. For many people the way in which we measure time by the clock and the calendar is absolute, and by some it has even been thought that to tamper with either was to court disaster.

(注) court disaster 「天災」

---

【2】 intuitively [intju(:)itivli] 「直感的に」 of one's own accord 「ひとりでに」 a calendar [kæləndər] 「カレンダー」 tamper with A [tæmpər] 「A に干渉する」

【3】 leap [li:p] 「飛躍」 multi-levelled 「多重構造の」 imply that SV...[implái] 「SV...を示す」 manipulate A [mənɪpjulèit] 「A を操作する」 a norm [nɔ:rm] 「基準」 relevant [réləvənt] 「関連のある」 articulate A [ɑ:rtikjulit] 「A を説明する」 be alert to A [ələ:rt] 「A に用心する」 「A に敏感である」 a dimension [déménʃən] 「次元」 「要素」 a bias 「先入観」 a presupposition [prɪ:s'ʌpəzɪʃən] 「想定」 assimilate A [əsímələit] 「A を吸収する」

## 【3】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)(2)を和訳しなさい。

There are historians and others who would like to make a neat division between “historical facts” and “values.” <sup>(1)</sup>The trouble is that values even enter into deciding what count as facts — there is a big leap involved in moving from “raw data” to a judgment of fact. More important, one finds that the more complex and multi-levelled the history is, and the more important the issues it raises for today, the less it is possible to sustain a fact-value division. But this by no means implies that there has simply to be a conflict of prejudices and biases, as the data are manipulated to suit one worldview or another. What it does mean is that the self of the historian is an important factor. The historian is shaped by experiences, contexts, norms, values, and beliefs. When dealing with history, especially the sort of history that is of most significance in philosophy, that shaping is bound to be relevant. As far as possible it needs to be articulated and open to discussion.

The best historians are well aware of this. They are alert to many dimensions of bias and to the endless (and therefore endlessly discussable) significance of their own horizons and presuppositions. A great deal can of course be learned from those who do not share our presuppositions. Our capacity to make wise, well-supported judgements in matters of historical fact and significance can only be formed over years of discussion with others, many of whom have very different horizons from our own <sup>(2)</sup>It is possible to have a 12-year-old chess champion or

mathematical or musical genius, but it is unimaginable that the world's greatest expert on Socrates could be that age. The difficulty is not just one of the time to assimilate information; it is also the time to mature judgement and come to decisions which only ring true after complex studies and discussions with others and with oneself.



## NO 47



### 【1】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の日本語を英訳しなさい。

「コンビニに行ってもどうやってものを買ってよいのかわからない」という子供が、テレビゲームの世界ではいろいろな町に寄って人と話し、驚くほど効率よく情報を集めながら目的地にらくらくとたどり着くさまを見ていると、たとえ同じ試行であっても、現実とゲームの世界ではそれをするのに必要とされる論理がまったく違うのではないか、と思えるほどです。

### 【2】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間各 10 分

次の英文(1)～(4)を読んで下線部を和訳しなさい。

(1)

Before the sun was full up I went out into the yard and I was shocked to see Ritchie still squatting there reading in the flowerbed ; I walked over and spoke to him. But he didn't so much as take his eyes off the book to look at me ; you'd have thought he didn't hear me.

---

【2】 (1)squat [skwat] 「しゃがみこむ」 (2)roar [rɔ:r] 「唸り声を上げる」

(2)

Fred and Ann were driving on the expressway to Minneapolis for Ann's health check-up. She was worried that she might have cancer, having read a lot about the disease in the newspaper, although the doctor in their hometown had told her she was all right. It was cold and raining, the traffic was terrible, huge trailers roared past them. Fred said, <sup>(1)</sup>"If it was up to me, I'd just as soon turn around and go home."

It was the wrong thing to say, with Ann in the mood she was in. <sup>(2)</sup>But she had been expecting him to say it and had prepared a speech in her mind in case he did. "Well, of course. I'm sure you would rather turn around. You don't care. You don't care one tiny bit, and you never have, so I'm not surprised you don't now. You don't care if I live or die."

(注) Minneapolis[mɪniˈæpəlɪs] 「ミネアポリス：米国 Minnesota 州南東部の都市」

---

(3) be at a loss 「困惑する」 inherit A [inhérit] 「A を譲り受ける」 at birth 「生まれた時に」



(3)

What are rights ? If you ask ordinary people what exactly a right is, they'll probably be at a loss, and won't be able to give a clear answer. They may know what it is to violate someone's rights. They may also know what it is to have their own right to this or that denied or ignored by others. But what exactly is it that is being violated or wrongly denied? Is it something you acquire or something you inherit at birth ?

(4)

Who ever reads a newspaper from cover to cover ? Clearly almost nobody. There isn't time in a busy day, and not all the articles are equally interesting. All readers have their own personal tastes and purposes for reading, which cause them to turn immediately to whichever sections interest them, and to ignore the rest. Thus, most of the paper remains unread, yet you still have to buy all of it.

---

(4)from cover to cover 「最初から最後まで」 an article [á:rtikl] 「記事」



## NO 48



【1】 〔英文解釈〕 《東京大》

解答時間 10 分

次の英文の下線部を和訳せよ。

One of the biggest problems with modern computers is that they follow all commands mechanically. Computers do what they are told to do, whether we meant it or not. Moreover, they cannot turn themselves on, nor can they ever begin something entirely new on their own.

【2】 〔英作文〕 《京都大》

解答時間 20 分

次の文を英訳しなさい。

隣家の犬はふだんは愛想がいいが、飼い主が近くにいると、大きな声で必死にほえる。番犬の務めを果たそうとしているのだろうか。しかし、そのしっぽはと見ると、いつも通り、ちぎれんばかりに振られている。どうやら、これは私の本心ではありませんよ、とさりげなく伝えようとしているようだ。けなげさに思わず頭をなでてやりたくなるときもあるが、やめておいたほうがよさそうだ。

## 【3】 〔英文解釈〕 《京都大》

解答時間 30 分

次の文の下線部をほどこした部分(1)～(3)を和訳しなさい。

On my second day, I drove along Route 5, which follows closely along Lake Erie, and which, mile after mile, is absolutely gorgeous. Even a fruit stand I stopped at overwhelmed me with its earthy grandeur: dark purple Concord grapes set out in brown baskets, blushing peaches crowding each other on wooden tables, green apples in bushel baskets, all smelling of fall.

I drove through the morning, before taking a break at a boat-launch site where I brought out a piece of my cinnamon bread to feed a lone seagull I saw. <sup>(1)</sup>But within seconds, there were a good 20, squawking loudly, hanging suspended in the air like live mobiles. I took several photographs that failed miserably at capturing the beauty of my time at the edge of that vast body of water. You had to be there, as they say. You had to smell the air so clean it seemed bleached, feel the perfect warmth of the day against your bare arms, hear the shrill cries of those greedy, greedy birds, see the sun sparkle in the glassy curls of the waves. You had to stand still with your eyes closed, and feel with your feet on the face of the earth.

When you drive so many miles, you get in a lot of good thinking time. <sup>(2)</sup>I experienced the rich kind of meditation that occurs only when you reach a nearly selfless state of relaxation. I felt as though my life spread out on either side of me, airing itself out so that it could come back into me, refreshed.

When I saw the red sun hanging low in the sky, I knew I had to get back on the highway and make better time. I gulped more coffee, got more gas, turned the radio up loud. And the next time I got out of the car, I was home in Boston.

“How was your trip?” my daughters asked

“I got a quilt,” I said as though it were an answer.

Here’s the real answer:

It can be incredibly time-consuming and uncomfortable to drive a long distance. But it’s worth it, for the way your imagination gets off the leash. You drive past a house in a small town, and you wonder: Who lives there? What do they do for a living? Who’s in their family, and what do they call their dog? You see a stranger walking down a random sidewalk, and you wonder what he dreams at night. You drive past a farmhouse and think, What is it like to eat breakfast in that kitchen? To walk in those fields? To fall asleep in that bedroom so close to that maple?

(3)In the beginning, we humans did not settle away from each other. We did not keep to ourselves or to lonely, outer borders. We were curious, drawn to one another, comforted by our similarities and inspired by our differences. We are still that way, I think. This trip showed me that. It also showed me that the America I remembered still exists. I drove for more than a thousand miles in a car smelling of cinnamon, my heart filled to the stretching point by the beauty of the land and the people who live here. That is why this is a love story. And that is why I believe everyone should, at least once, forget about airports and enjoy a close-up look at what

is still here in this country, and free for the taking, if only we will slow down and look.

---

【3】 gorgeous [gɔːrdʒəs] 「豪華な」「贅沢な」 overwhelm A [əʊvərhwélm] 「A を圧倒する」 grandeur [grændʒər] 「壮大な」 blushing [blʌʃɪŋ] 「赤みを帯びた」 bushel [búʃel] 「ブッシェルかご」 cinnamon [sínəmən] 「シナモン」 a seagull 「かもめ」 bleach A [bli:tʃ] 「A を漂白する」 shrill [ʃrɪl] 「鋭い(声)」 sparkle [spá:rkɪ] 「輝く」 stretching [stretʃ] 「広がる」

## NO 49 <L&EC>



【1】 [リスニング選択]

【2】 [英作文選択] 《九州大》

解答時間 20 分

次の文の下線部(1), (2)を英語に訳しなさい。

(1)我々は批判されることに弱い。自分の意見を批判されると頭に血がのぼり、自分自身が攻撃されたように感じ、相手が何を言っているのかもよくわからなくなる。わたしも哲学者という仕事柄、面と向かって他人の意見を批判する機会が多いが、非常に有能な哲学者でも何を批判されているのか理解できず、話がかみあわないということがよく起こる。逆の立場で、わたし自身も他人の批判に対する自分の回答をあとで読み返して反省することは多い。

こういう場合、どうしたらいいだろうか。まず、自分の意見に感情移入しすぎないことである。自分で思いついた愛着のある説でも、場合によっては切り捨てる覚悟がないと、結果的には自分にはねかえってくることになる。相手に譲歩するのはプライドが許さないという人もいるだろう。(2)そういう人は、自分が今持っている意見を無理やり弁護し通すことにプライドを持つのではなく、自分の過ちを素直に認めるということにプライドを持ってもらいたい。それが結局は実り多い論争への道でもあり、実り多い論争からは自分自身も得るものが多いはずである。次に、自分の意見に対する批判は必ずしも自分自身に対する攻撃ではないということをわきまえることが大事である。批判されて頭に血がのぼっていると感じたら、自分が落ち着くまで返事をするのを待つのも実際的な方法として有効である。

## 【3】 〔英作文選択〕《京都大》

解答時間 20分

次の文を英訳しなさい。

コンピュータの操作に際しては、まず、調整が可能で体をしっかり支える座り心地のよい椅子を選んでください。次に、足の裏全体が床につき、太ももと床が平行になるように、椅子の高さを調整してください。さらに、キーボードの前に座ったときには、画面の上端が目の位置よりも少し低くなるようにし、目から画面までの間隔は **50cm** 以上の距離を保つようにしましょう。



## 英文解釈 基礎知識 〈FIVE SENTENCE PATTERN〉

### 構文解説 | 品詞

#### 1. 《名詞の働き》

1. Her **ability** to write with her foot is amazing.
2. Talking is a human **ability**.
3. We admit that he is a man of **ability**.
4. We might have overestimated his **ability**.
5. Our earnings are in proportion to our real **ability**.
6. He is lacking of something important, the **ability** to concentrate.

1. 〈主語〉  
彼女の足で書ける能力は驚くべきことだ。
2. 〈補語〉  
話すことは人間の能力である。
3. 〈of 名詞：形容詞句〉 a man of ability = an able man  
我々は彼がやり手だと言う事を認める。
4. 〈他動詞の目的語〉  
私たちは彼の能力を過小評価していたのかもしれない。
5. 〈前置詞の目的語〉  
我々の稼ぎは実力に比例している。
6. 〈同格「AつまりB」〉 ※AとBが文法的対等  
彼は重要な資質、つまり集中力を欠いている。

#### 2. 《形容詞の働き》

1. **The** movie often comes to a **happy** end.
2. He was **happy** in the bosom of his family.
3. The news made her **happy**.
4. **Happy** with his new job, these days he is very kind to everyone.

1. 〈名詞を修飾〉  
映画はしばしば幸せな結末になる。
2. 〈主格補語〉  
家族の愛情に包まれて彼は幸福であった。
3. 〈目的格補語〉  
そのニュースを聞いて彼女はうれしくなった。
4. 〈分詞構文〉  
新しい仕事もうまくいっているので、最近誰にでも優しい。

### 3. 《副詞の働き》

1. The apples are not **quite** ripe.
2. My heart's beating **so** fast!
3. I did not sleep **well** last night.
4. She can **hardly** speak Japanese.
5. Great pandas live **only** in China.
6. She despises him **only** because he is poor.

1. 〈形容詞を修飾〉  
リンゴはまだ完全には熟してはいません。
2. 〈副詞を修飾〉  
心臓がドキドキしてる！
3. 〈動詞を修飾〉  
私は昨夜よく眠れなかった。
4. 〈否定文〉※not/hardly/scarcely は副詞扱い / no は形容詞  
ほとんど話せない。
5. 〈前置詞句を修飾〉  
パンダは中国にしかいません。
6. 〈副詞節を修飾〉  
彼が貧しいというだけの理由で彼女は彼を軽蔑している。

#### 4. 《前置詞》

1. He answered **in** a polite but not always honest **way**.
2. She explained her idea **by means of** pictures.
3. I know nothing **concerning** the lost textbook.
4. I like that young man **in that** he is honest and candid.
5. A question arose **as to** who should be the leader.
6. They talked and talked **until after** midnight.

1. 〈前置詞～名詞〉前置詞句を作る  
彼は礼儀正しいが必ずしも正直に答えたわけではない。
2. 〈群前置詞〉2語以上からなる前置詞  
彼女は自分の考えを絵によって説明した。
3. 〈分詞派生の前置詞〉  
私は失われたテキストについて何も知らない。
4. 〈that節を取る前置詞〉※**in that SV...**「①SV...なので(理由)②SV...の点で」/ **except that SV...**「SV...を除いて」のみ  
正直で率直なので、私はその若者が好きだ。
5. 〈as to 疑問詞節〉  
誰がリーダーになるかについて質問が生じた。
6. 〈二重前置詞〉前置詞を二つ重ねて用いる用法  
彼らは真夜中を過ぎるまで語り続けた。

## 5. 《副詞と前置詞の区別》

1. The sun slowly sinks **in** the west.
2. My train is due **in** at 7 p.m.
3. Keep the drawer **on** the chain.
4. Who left all the lights **on**?
5. There was a stranger standing right **behind** me.
6. She often falls **behind** with the payments.
7. He kept waiting **outside** the door.
8. She went **outside** for a breath of fresh air.
9. The children enjoying jumping **over** a puddle.
10. We have to think the matter **over**.

1. 〈前置詞〉  
太陽がゆっくり西に沈む。
2. 〈副詞〉  
私の乗る列車は7時に到着予定だ。
3. 〈前置詞〉  
引き出しに鎖をかけておいてください。
4. 〈副詞〉  
だれが電気をつけっぱなしにしたの。
5. 〈前置詞〉  
知らない人が私の真後ろに立っていた。
6. 〈副詞〉  
彼女はよく支払いが遅れる。
7. 〈前置詞〉  
彼はドアの外で待ち続けた。
8. 〈副詞〉  
彼女は新鮮な空気を吸いに外に出た。
9. 〈前置詞〉  
子供たちは、水たまりをとび越えて遊んでいた。
10. 〈副詞〉  
そのことについてじっくり考えてみる

1. 《5 文型 〈主語になるもの〉》

1. The rain prevented the boys from playing baseball.
2. To learn a foreign language often needs so much effort.
3. Seeing you there was the greatest pleasure to me.
4. Whether you believe it or not makes little difference to me.

1. 〈主語になるもの：名詞〉  
雨のため、少年たちは野球ができなかった。
2. 〈主語になるもの：不定詞〉  
外国語を学ぶには相当の努力が時に必要となる。
3. 〈主語になるもの：動名詞〉  
そこであなたに会えたことが私には最大の喜びだった。
4. 〈主語になるもの：名詞節〉  
君がそれを信じようと信じまいと僕にはたいした違いはない。

2. 《5 文型 〈目的語になるもの〉》

1. I will discuss **the problem** later about the problem.
2. We promised **to stand by him** in case of trouble.
3. He gave up **drinking** for the sake of his health.
4. We demanded **that he explain to us why he was late**.
5. Tell me **why you want to go there**.

1. 〈目的語になるもの：名詞〉 discuss の目的語  
その問題については後で話し合おう。
2. 〈目的語になるもの：不定詞〉 promise(d) の目的語  
困ったとき、彼の味方になると我々は約束しました。
3. 〈目的語になるもの：動名詞〉 give up の目的語  
彼は健康のために酒をやめた。
4. 〈目的語になるもの：名詞節 that〉 demand の目的語  
我々は彼になぜ遅れたかを我々に説明するよう求めた。
5. 〈目的語になるもの：疑問詞節(名詞節)〉 tell の目的語  
なぜそこに行きたいのか、私に教えてください。

## 3. 《5文型〈補語になるもの① 主格補語〉》

1. His son became **a great scientist**.
2. She is very **thoughtful** and patient.
3. Her dream is **to lead a life full of variety**.
4. Tom's hobby is **collecting photos of cars**.
5. The ultimate question for me is **whether I like business**.
6. The trouble is **that I am not equal to the work**.

1. 〈補語になるもの：名詞〉  
彼の息子は偉大な科学者になった。
2. 〈補語になるもの：形容詞〉  
彼女はとても思慮深く、しんぼうづよい。
3. 〈補語になるもの：不定詞〉  
彼女は変化に富んだ生き方をするのが夢である。
4. 〈補語になるもの：動名詞〉  
トムの趣味は車の写真を集めることです。
5. 〈補語になるもの：名詞節〉  
私にとって結局問題なのは商売が好きかどうかということだ。
6. 〈補語になるもの：名詞節〉  
困ったことに、私はその仕事に耐えられない。

## 4. 《5文型〈補語になるもの② 目的格補語〉》

1. I think him **a good teacher**.
2. She painted the wall **pink**.
3. His doctor told him **to cut down on drinking**.
4. I will not let her **escape** this time.
5. I heard her **singing in her room**.
6. We saw a boy **run over by a truck**.

1. 〈補語になるもの：名詞〉  
私は彼をいい先生だと思う。
2. 〈補語になるもの：形容詞〉  
彼女は壁をピンクに塗った。
3. 〈補語になるもの：to 不定詞〉  
医者は彼に酒量を減らすように言った。
4. 〈補語になるもの：原形不定詞〉 make O V 「O に V させる」  
今度こそは彼女を逃がさないぞ。
5. 〈補語になるもの：現在分詞〉  
私は彼女が自分の部屋で歌っているのを聞いた。
6. 〈補語になるもの：過去分詞〉  
私たちは少年がトラックにひかれるのを見た。

## 英文解釈 英文読解の技術 〈品詞分解〉

次の各英文の下線部の語の品詞を下記のカッコの中から選んで記入しなさい

(代)名詞	名詞	動名詞	形容詞	現在分詞 (限定用法)	現在分詞 (叙述用法 C になる)	現在分詞 (分詞構文)	過去分詞 (限定用法)	過去分詞 (叙述用法 C になる)	過去分詞 (分詞構文)	副詞	動詞	名詞節を導く接続詞	副詞節を導く接続詞	関係代名詞	関係副詞	強調構文の that/who/which	前置詞	等位接続詞
-------	----	-----	-----	-------------	-------------------	-------------	-------------	-------------------	-------------	----	----	-----------	-----------	-------	------	----------------------	-----	-------

### (1) 〈大阪府立大〉

Laughter is a ①decidedly social signal, ②not a self-centered expression of emotion. In the absence of ③stimulating media (television, radio or books), people are ④about 30 times more likely to laugh when they are in a social situation ⑤than when they are alone. ⑥Indeed people are more likely to smile or talk to themselves than they are to laugh when they are alone. Aside from the obvious implication ⑦that ⑧sociality can encourage laughter and ⑨perhaps ⑩lift one's mood, these observations indicate ⑪that laughter has a social function. What can we say about laughter as communication?

### (2) 〈神戸大〉

The world is gray. Nothing is pure black and nothing pure white. ①When we apply black-and-white reasoning to a gray world, we must treat something ②true to a degree as either wholly true or wholly false. Each step in a reasoning process ③requires such a simplification and ④therefore adds another layer of arbitrariness and error. The more reasoning you throw at something, the ⑤farther you get from the actual case, not the closer.

### (3) 〈関西学院大〉

Is ①creativity something that is ②appropriate only to a few people of special talents, who rise to a level that is commonly called “genius”? ③Clearly, it is not all a matter of special talent ④because there are a ⑤tremendous number of ⑥highly talented people who remain ⑦unexceptional. Thus, ⑧here must have been a ⑨onsiderable body of scientists who were ⑩etter at mathematics and knew more physics than Einstein did. The difference was ⑪that Einstein had a ⑫certain quality of ⑬originality.

But what is this quality of originality? It is very hard to define or specify. Indeed, to define originality would in itself be a contradiction, ⑭since ⑮



whatever action can be defined in this way must evidently be unoriginal. ⑮ Perhaps, then, it might be better to hint at it by indirection, rather than to try and assert positively what it is.

(4) 〈大阪府立大〉

In ①seeking the roots of today's crisis, we need to take another look at what happened in the nineteenth century, when Japan first ②encountered the West. Japan woke from centuries of ③isolation to find itself a poor and ④weak nation in a world ⑤where many ancient kingdoms were ⑥rapidly being swallowed ⑦up by European colonial powers. ⑧Shocked at the nation's ⑨precarious position, Japan's new rulers set out on a crash program to build up the economy and the army, first to resist the Western powers and ⑩later to challenge them for dominance. From the beginning, this ⑪meant ⑫making ⑬industrial output a top priority to which ⑭almost everything ⑮else had to be sacrificed.

(5) 〈大阪大〉

I know a great many people worry ①deeply about how they speak and how they sound, and ②that this anxiety often stops them ③expressing themselves as fully ④as they would wish. ⑤Nowadays, because ⑥probably more people than ever find themselves having to express their thoughts and ideas in situations which are important to them, ⑦yet in which they do not feel totally at ease, it is ⑧valuable to look at the reasons for this anxiety, and to find out, practically, ⑨what can be done about it. I feel strongly ⑩that the confidence that comes from knowing you are able to express yourself with clarity and ⑪ease extends into all areas of your life — both private and public — and makes you more fulfilled and ⑫complete. In other words, if you have confidence when you speak, it will make you, as a person, more ⑬confident and, ⑭consequently, ⑮more relaxed.

(6) 〈大阪市立大〉

In explaining any human ①shortcoming, the first tool I reach for is Hanlon's Razor: Never attribute to malice\* ②that which is adequately explained by stupidity. The kind of stupidity I have in mind has nothing to do with ignorance or low IQ; in fact, it's often the brightest and best informed ③who suffer the most from it. I ④once attended a lecture on biology ⑤addressed to a large general audience at a conference on technology, entertainment, and

design. The lecture was also being filmed for distribution over the Internet to millions of other laypeople. The speaker was an ⑥ eminent biologist who had been invited to explain his recent ⑦ breakthrough in the structure of DNA. He launched ⑧ into a jargon-packed technical presentation ⑨ that was geared to his fellow molecular biologists, and it was immediately ⑩ apparent to everyone in the room ⑪ that none of them understood a word. Apparent to everyone, that is, ⑫ except the eminent biologist. When the host interrupted and asked him to explain the work more clearly, he seemed ⑬ genuinely surprised and not a little ⑭ annoyed. This is the kind of stupidity I am talking ⑮ about.

\* malice=hate eminent=famous

(1)笑いは、明らかに社会的な信号であり、自己中心的な感情表現ではない。刺激的なメディア(例えばテレビ、ラジオ、本)がない場合でも、人々は、1人である時より、他の人たちと一緒にいる時の方が、約30倍は笑いやすい。確かに人は、1人である時には、笑うより、にやっとしたり、独り言を言ったりしがちである。人というだけで笑いやすくなり、おそらく気持ちが高ぶることがあるというのはどうやら明らかかなようだという点はさておき、こういうところを見ると、笑いには社会的機能があるということはいくぶんわかる。コミュニケーションとしての笑いとなるとどうだろうか?

(2)世界は灰色である。真っ黒なものはないし、真っ白なものもない。私たちが白黒をはっきりさせる論法を灰色の世界に適用するならば、ある程度正しい事柄を、完全に正しいか、完全に間違いかのどちらかとして扱わなければならない。論理的に考えるプロセスにおける各段階では、そういう単純化が求められるので、結果的に、恣意性と誤りが積み重なってゆく。何かに対して論理的な考え方をすればするほど、真相からは遠ざかるばかりで、近づくことはないのである。

(3)独創性とは、一般に「天才」と呼ばれる段階にまで昇り詰めるような、特別な才能をもつ一握りの人々にだけに特有のものなのだろうか?明らかに、全てが特別な才能の問題というわけではない。というのも、平凡なままで収まっている、膨大な数の非常に才能に恵まれた人々がいるからだ。したがって、アインシュタインよりも数学に秀でており、物理に精通していた科学者はかなり大勢いたはずだ。その違いは、アインシュタインにはある種の質の独創性があったということだ。

しかし、この独創性の質とは何なのだろうか?それは定義したり、特定したりするのが非常に困難なものだ。実際独創性を定義するとすれば、その行為自体が矛盾することになる。というのも、この方法で定義される行動は全て、明らかに独創的ではないに違いないからだ。とすれば、ひよっとすると、独創性とは何なのかをきっぱりと断言しようとするのではなく、遠回しにそれとほのめかすほうが良いのかもしれない。

(4)今日の危機的状況の根源を探る際に、私たちは日本が初めて西洋と出会った19世紀に起きたことをもう一度検証する必要がある。日本は数世紀にわたる孤立から目覚めると、多くの古来の王国が欧州の植民地勢力に急速に飲み込まれつつあった世界にあって、自国が貧しい弱小国であるというのを思い知ったのであった。自国の危うい立場に衝撃を受けて、日本の新しい支配者たちは経済と軍隊を構築する突貫計画に着手したのだが、それは当初は西洋の列強に対抗するためであり、後には彼らと覇権を争うためのものとなった。最初から、これは工業生産高を最優先するというものであり、他のほぼすべてをその犠牲にしなければならなかった。

(5)非常に多くの人々が話し方や話しがどう聞こえるかを深く心配しており、この不安で自分たちが望むようには十分に自分自身を表現することができないことを知っています。今日、おそらくこれまで以上に多くの人々が自分にとって重要な状況だが、完全に安心してできていない状況で、自分の考えやアイデアを表現しなければならないことに気づいているので、この不安の理由を直視することと、実際に、それについて何ができるかを見つけることは価値がある。あなたが自分を明快かつ簡単に表現できることを知ることから得られる自信は、プライベートとパブリックの両方のあなたの人生のすべての領域に広がり、あなたをより充実した完全なものにすると私は強く感じる。言い換えれば、話すときに自信があれば、人としての自信が増し、その結果、リラックスできるようになります。

(6)何であれ人の持つ欠点を説明する際に、私がまず手をつける道具は「ハンロンの剃刀」だ。曰く、愚かさできちんと説明がつくことに悪意を見出しはならない。私が想定している類の愚かさというのは、無知やIQの低さなどとはまったく関係がない。それどころか、この愚かさに最も悩むのはものすごく聡明でもものすごく知識のある人なのだ。以前、科学技術と娯楽とデザインを議題とする集まりの場で、多数の一般の聴衆に向けた生物学の講義に出席したことがある。その講義はまた、録画されてインターネット上で何百万もの、これまた一般の人に公開されることにもなっていた。話をしたのは著名な生物学者で、DNAの構造において彼が最近達成した成果を説明するよう依頼を受けていた。彼が始めたのは難用語が詰まった専門的なプレゼンテーションで、分子生物学者仲間と合わせた内容だった。だからすぐに、誰一人として一言も理解できていないことが部屋にいた皆に明らかになった。皆に、といっても当の著名な生物学者を除いてということだが、司会者が割って入って、成果をもっとわかりやすく説明するように求めると、本人は心底驚いた様子を見せ、少なからず不快に感じているようだった。これが私の話している類の愚かさである。

## 〈長文読解の技術 スラッシュリーディング〉

### 1. スラッシュリーディング（区切り読み）とは

「スラッシュリーディング」とは、英文を前から理解することを目的とした読解方法です。英文を意味のカタマリごとにスラッシュ(/)で区切って読んでいきます。「誰が」「何をした」→「どこで?」「いつ?」「何のために?」というように、後に続く内容をカタマリごとに予想しながら読んでいきます。英語を語順通り読むことで、速読力やリスニング力も同時にアップします。

### 2. 「キレイな和訳」は厳禁!

通常の英語の授業が和訳中心であったり、テストで和訳を求められることが多いため、英文を読むときに頭の中で「キレイな日本語に訳す」習慣がついている人は少なくありません。テストではそうせざるを得ないものの、すべての英文をきれいに訳す必要はありません。また、一般的に、日本語をきれいに訳そうとすると、英語を後ろから訳し上げることになり、英語を読むスピードがかなりかなり落ちる上に、リスニング力養成にはかえって弊害が生じかねません。

It was odd to see her name listed so boldly — “E. Sampson, Spiritualist” — in the entrance hall beside the lift, among the dentists, photographers, and my own Miss McIntyre. 〈東京大〉

[後から訳し仕上げた和訳]

エレベータの脇のエントランスホールで、歯科医、写真家、そして私が教わっていたマッキンタイア先生の中に、彼女の名前が「E. サンプソン降霊術師」とはっきり掲げてあるのは奇妙だった。

[スラッシュリーディング]

It was odd / 奇妙なのは / to see her name listed so boldly / 彼女の名前が非常にはっきりと掲げてあるのを見たこと / — “E. Sampson, Spiritualist” / 「E. サンプソン降霊術師」 / — in the entrance hall beside the lift, / エレベータの脇のエントランスホールで / among the dentists, photographers, and my own Miss McIntyre. / 歯科医、写真家、そして私が教わっていたマッキンタイア先生の中に

### 3. スラッシュリーディングの区切り方の例

一般的なスラッシュを入れる箇所

- ・前置詞の前 ・動名詞の前 ・不定詞の前 ・過去分詞の前
- ・接続詞や疑問詞節の前 ・関係詞の前 ・カンマ ( , )、セミコロン ( ; )、  
コロンの ( : )、ダッシュ ( - ) の後 ・長い主語の後 ( 述語動詞の前) ・長  
い目的語や補語の前

スラッシュリーディングは「英文を前から意味のカタマリごとに理解する」のが目的です。必ずしも上の約束事通りにならなくてもかまいません。初めは細かく区切った方が読みやすいかもしれませんが、慣れてくるとより大きなカタマリで捉えられるようになります。それこそ、読解力工場のあかしです。

I have known in the course of my life a great many rich people, and I can hardly think of one of them who appears to be either happy or free. I have known a great many people who were extremely poor — they also could hardly be happy and free. But in the intermediate realms you find most happiness and freedom. It is not great wealth or great poverty that brings most happiness.

I have known / in the course of my life / a great many rich people,

私は知っている / 人生において / 非常に多くの金持ちの人々

and I can hardly think of\* / one of them /

そして私はほとんど思いつかない / その人たちの一人

who appears to be either happy or free.

彼らは幸せか自由のいずれかであるように思われる。

I have known a great many people / who were extremely poor

私は多く非常に多くの人を知っている / 彼らは非常に貧しかった

— they also could hardly be happy and free.

彼らもまた幸せでも自由ともほぼ言えない

But / in the intermediate realms / you find most happiness and freedom.

しかし / その中間に / たくさんの幸せや自由を垣間見る

It is not great wealth or great poverty / that brings most happiness.

大きな富や大きな貧困ではない / たくさんの幸せをもたらすのは

\*think of ...を一つの他動詞として考える

## 英文解釈 品詞 〈接続詞とその領域〉

### CASE 1 〔接続詞の確認〕

When we look at the languages of the world, we find hundreds of isolated languages. Moreover, **when** we look at all the language families of the world, the differences between them stand out much more than the similarities. Could they all have come from a single source? It is possible. But it is also possible **that, when** the human race first learned to talk, it did so in different parts of the world in different ways, and perhaps even at different times.

〈神戸大〉

語彙 stand out 「目立つ」 similarity 「類似(点)」 [simə'lærəti] source [sɔ:rs] 「源」 perhaps [pərhæps] 「ひょっとしたら」

全訳世界の言語を見ると、何百もの孤立した言語がある。さらに、世界のすべての語族見ると、それらの違いは類似点よりもはるかに際立っている。それらはすべて単一の源から来たのであろうか?あり得る。しかし、人類が最初に話すことを学んだとき、それは世界のさまざまな部分でさまざまな方法で、おそらくはさまざまな時期にそうすることも可能である。

### CASE 2 〔接続詞の領域〕

As a rule, processed foods are more “energy dense” **than** fresh foods: they contain less water and fiber but more added fat and sugar, **which** makes them both less filling and more fattening. These particular calories also happen to be the least healthful ones in the marketplace, **which** is **why** we call the foods that contain them “junk.” Drewnowski concluded **that** the rules of the food game in America are organized in such a way **that if** you are eating on a budget, the most rational economic strategy is to eat badly — and get fat.

〈甲南大〉

語彙 as a rule 「概して」 process [prəses] 「加工処理する」 contain A [kəntéin] 「Aを含む」 fiber [faɪbər] 「繊維」 fatten [fætn] 「太らせる」 particular [pə'tɪkjələr] 「特有の」 conclude [kənklú:d] 「結論付ける」 organize A [ɔ:rgənəɪz] 「Aを組み立てる」 budget [bʌdʒɪt] 「予算」 rational [ræʃənəl] 「合理的な」 strategy [strætədʒi] 「戦術」

全訳原則として、加工食品は生鮮食品よりも「エネルギー密度が高く」なる。水と繊維はより少なくなるが、脂肪と砂糖が多くなるため、充填量が少なくなり、肥厚しやすくなる。これらの特定のカロリーは、たまたま市場で最も健康に悪いものであるため、それらを含む食品を「ジャンク」と呼んでいる。ドリュエノフスキーは、アメリカのフードゲームのルールは、予算内で食べている場合、最も合理的な経済戦略は多く食べることであり、太ることであると結論付けた。

## 1. 《接続詞の種類》

1. I think **that** he is responsible for this accident.
2. The book **that** was published ten years ago is popular with us.
3. He has lost the pen **that** I lent him on his birthday.
4. I was very glad **that** she passed the exam.
5. Talk louder **so that** we can hear you.
6. She can't accept the fact **that** we explained it to her.
7. She can't accept the fact **that** we explained to her.
8. It is here **that** we met for the first time.

1. 〈名詞節 | think の目的語〉  
彼はこの事故の責任者だと思う。
2. 〈形容詞節 | 目的格の関係代名詞〉  
10年間に出版された本が私たちの間に人気である。
3. 〈形容詞節 | 目的格の関係代名詞〉  
彼は私が彼の誕生日に彼に貸したペンを失くした。
4. 〈副詞節 | 原因・理由を表す〉  
彼女が試験に合格したのでとても嬉しかった。
5. 〈副詞節 | 目的・結果を表す〉  
私たちがあなたの声を聞くことができるように大声で話してください。
6. 〈名詞節 | 同格〉 **that** 節内が完全文であることに注意  
彼女は私たちが彼女にそれを説明したという事実を受け入れてくれない。
7. 〈関係詞節 | 目的格〉 **that** 節内が不完全文であることに注意  
彼女は私たちが彼女に説明したという事実を受け入れてくれない。
8. 〈強調構文〉  
まさにここで、私たちは初めてであった。

## 2. 《等位接続詞》

1. I have long lived, **and** will live in this town.
2. She doesn't smoke **or** drink.
3. She is elegant **but** a little talkative.
4. I asked her to stay longer, **for** I had something to tell her.

1. 〈等位接続詞 and〉  
私はこの街に長い間住んできたし、これからも済むつもりだ。
2. 〈等位接続詞 or〉  
彼女はたばこも酒もやらない。
3. 〈等位接続詞 but〉  
彼女は上品だが少しおしゃべりだ。
4. 〈等位接続詞, for〉理由を表す  
私はここで彼女を待った。というのも話すべきことがあったからだ。

### 3. 《相関接続詞》

1. He is good **both** at tennis and baseball.
2. **Either** you **or** I have to do the job.
3. He can speak **neither** English **nor** French.
4. I want to date not with Nancy **but** with Yoko.
5. I know **not only** her name **but also** her phone number.
6. She is **not so much** stingy **as** thrifty.
7. He chose to learn German **rather than** French in school.
8. It is difficult **if not** impossible to solve this problem.

1. 〈both A and B | A も B も両方〉  
彼はテニスも野球も得意である。
2. 〈either A or B | A か B のどちらか〉  
君か僕のいずれかがその仕事をしなければならない。
3. 〈neither A or B | A と B のいずれも...ない〉  
彼は英語もフランス語も話せない。
4. 〈not A but B | A でなく B〉  
私はナンシーではなくヨーコとデートしたいのだ。
5. 〈not only A but also B | A だけでなく B も〉  
僕は彼女の名前だけでなく電話番号も知ってるよ。
6. 〈not so much A as B/not A so much as B | A というよりむしろ B〉  
彼女はケチというよりもむしろ倹約家なのだ。
7. 〈A rather than B | B というよりむしろ A〉  
学校でフランス語よりはむしろドイツ語の方を選択した。
8. 〈A if not B | B でないとしても A〉  
この問題を解くのは不可能ではないとしても難しい。

## 英文解釈 動詞の識別 〈V / to V / Ving / Vp.p.〉

### CASE 1

Not everyone believed there had been a real city named Troy, but one of those who did was an archaeologist\* named Frank Calvert. It was Calvert who first discovered that what looked like a large hill on the Turkish plain had actually been made by human beings. Calvert believed that inside that man-made hill lay the lost city of Troy. He bought some of the land and started digging. When Schliemann met Calvert in 1868, he adopted his beliefs. Eventually, though, Schliemann made the discovery of Troy sound as if it were his alone.

\*archaeologist 考古学者

〈立命館大〉

語彙 Troy[trɔɪ] 「小アジア北西部の古代都市」 dig[dɪg] 「穴を掘る」 adopt A[ədɑpt] 「Aを採用する」  
 全訳 誰もがトロイという名前のある都市があると信じていたわけではないが、そうした人の一人はフランク・カルバートという名前の考古学者であった。カルバートが、トルコ平原の大きな丘のように見えるものが実際に人間によって作られたことを最初に発見したのであった。カルバートは、人工の丘の中に失われたトロイの街があると信じていた。彼は土地の一部を購入し、掘り始めました。1868年にシュリーマンがカルバートに会ったとき、彼の信念を取り入れた。しかし、最終的に、シュリーマンによって、トロイの発見は、まるで彼単独のように聞こえることとなった。

### CASE 2

Although the nineteenth century was an era of steam, the last quarter of the century saw electricity come into its own, as a source of power and of light. Whether the source of power was steam or electricity, it was dependent upon coal, so that this period was one of great expansion and development for the coal industry.

〈同志社大〉

語彙 steam[sti:m] 「蒸気」 come into one's own 「本領を発揮する」 development [divələpmənt] 「発達」 electricity [ɪlektʀɪsəti] 「電気」 expansion [ɪkspænʃən] 「拡大」  
 全訳 19世紀は蒸気の時代であったが、最後の25年間には、電気が動力と照明のエネルギー源として、本格的に利用されるようになった。動力源は蒸気であろうと電気であろうと、石炭に依存していた。だからこの時代は、石炭産業が大きく拡大し、発達した時代であった。



### CASE 3 [Ving の識別]

It's early evening, and you've stopped at the grocery store to pick up a few items for dinner on your way home. You grab a cart and start **walking** through the shop, quickly **looking** at the shelves up and down, left and right, **tossing** items into your cart as you go. You head to the cash register, casually **glancing** at the magazine covers as you pick up a last-minute item, you exchange a few words with the clerk, pay by card, fill your bags, and be on your way.

〈関西学院大〉

語彙 grab[græb] 「ひつつかむ」 glance at A[glæns] 「ちらりと見る」 clerk[klɜːrk] 「店員」「事務員」  
全訳夕方早い時間で、食料品店に立ち寄って、帰宅途中の夕食にいくつかの商品を受け取った。カートを手に取り、店内を歩き始め、棚を上下左右にすばやく見て、商品をカートに入れて進む。あなたはレジに向かい、最後の商品を取り上げると、雑誌の表紙をさりげなくちらっと見る。店員と少しの言葉を交わし、カードで支払い、荷物をいっぱいにして、帰途につく。

### CASE 4 [Ved / Vp.p.の識別①]

Over the centuries, philosophers investigating knowledge have **revealed** some strange puzzles and paradoxes, and have also **developed** advanced solutions to these problems. Knowledge is sometimes **portrayed** as a free-flowing resource: it is **stored** in databases and libraries, and exchanged through “the knowledge economy,” as information-**driven** commerce is sometimes **called**. Like many resources, knowledge can be acquired, used for various purposes, and lost — sometimes at great expense. But knowledge has a closer connection to us than resources like water or gold. Gold would continue to exist even if the whole of humanity were **wiped** out in a disaster; on the other hand, the **continued** existence of knowledge depends on the existence of someone who possesses that knowledge.

語彙 investigate A[invɛstəgɛt] 「Aを調査する」 reveal A[rɪvɪ:l] 「Aを明らかにする」 paradox[] 「パラドックス」  
[pærədɒks] 「矛盾」 portray A[pɔːrtrɪ] 「Aを描く」 commerce [kɜːmɜːrs] 「商取引」 disaster[dɪzæstər] 「災害」  
possess A[pɒzɛs] 「Aを所有する」  
全訳何世紀にもわたって、知識を調査する哲学者は奇妙なパズルとパラドックスを明らかにし、これらの問題に対する高度な解決策を産み出した。知識は時々自由に流れる資源として描かれる。情報駆動型商取引が呼ばれるのと同様に、知識はデータベースやライブラリに保存され、「知識経済」を通じて交換される。多くの資源と同様に、知識は取得したり、さまざまな目的に使用したり、失われたりすることがある。しかし、知識は水や金のような資源よりも私たちが密接な関係がある。人類全体が災害で全滅したとしても、金は存在し続ける。一方、知識の継続的な存在は、その知識を所有する誰かの存在に依存する。

## CASE 5 [Ved / Vp.p.の識別②]

My father was a tall man with an impressive shock of white hair, which gave him a distinctive and **dignified** look. He had kindly eyes and a gentle face. He **appeared** to be the perfect father figure: **concerned**, compassionate, and knowing. With the advent of his fame he **acquired** a larger-than-life social aura, a special air of confidence, which **nourished** people's fantasies about him and **suggested** that he **felt** as wise and as comfortable with himself as they **perceived** him to be. His words, even his most casual remarks, were **heard** as profoundly meaningful, because of the reverence **felt** toward their source. And people often **felt** deeply **understood** by him even in the course of a brief conversation — the power of his sympathy was **magnified** by his aura.

〈大阪大〉

語彙 impressive [imprɛsɪv] 「印象的な」 distinctive [dɪstɪŋktɪv] 「独特の」 dignified [dɪgnəfaɪd] 「威厳ある」  
 concerned [kənsɪːrnd] 「気遣いのできる」 compassionate [kəmpeɪʃənət] 「思いやりがある」 knowing [nəʊɪŋ] 「物知り  
 な」 larger-than-life 「実際以上の」 aura [ɔːrə] 「オーラ」 「独特の雰囲気」 nourish A [nəːrɪʃ] 「Aを育む」 fantasy  
 [] 「幻想」 reverence [fəɪntəsi] 「敬意」 sympathy [sɪmpəθi] 「共感力」

全訳父はもじゃもじゃの白髪が印象的な背の高い男性で、その白髪が父に独特の威厳ある風貌を与えていた。父は優しい目と穏やかな顔つきをしていた。完璧な父親の姿のように見えた。気遣いと思ひやりがあり、物知りであった。名声を得て、父は周囲の人々を捕らえる並外れた独特の雰囲気、すなわち自信に満ちた特別な風格を身に付けたのである。その雰囲気は父に関する人々の幻想を育み、人々がそう認めるのと同じくらい自分でも学識があると思ひ、自分に満足を感じていることを暗示していた。父の言葉は、ふと何気なくもらす感想のようなものでさえ、その言葉が言及している対象に対して敬意が感じられるため、非常に意味深いものとして聞かれた。そして人々は、短い会話の間でも自分が父によって深く理解されていると感じることがしばしばあった。父の共感力はその独特の雰囲気によって拡大されていたのである。

## 1. 《Ving の区別》

1. Do you know where my **walking** shoes are?
2. My brother is **walking** for the museum.
3. I saw Nancy **walking** with Tom.
4. **Walking** on the road, I found a beautiful dandelion.
5. Look at the man **walking** a dog over there.
6. My grandfather liked **waking** around the park.

1. 〈名詞〉  
私のウォーキングシューズがどこにあるか知りませんか。
2. 〈現在分詞 | be 現在分詞〉動詞の一部  
私の兄は博物館のほうに向かって歩いています。
3. 〈現在分詞 | 目的格補語 S V O Ving〉形容詞 (句)  
私は昨日ナンシーがトムと歩いているのを見た。
4. 〈現在分詞 | 分詞構文〉副詞 (句)  
道を歩いていると、美しいタンポポを見つけた。
5. 〈現在分詞 | 名詞修飾〉形容詞 (句)  
向こうで犬と散歩している人を見てください。
6. 〈動名詞〉  
私の叔父ちゃんは公園の周りを歩くのが好きだった。

## 2. 《Vp.p の区別》

1. This book is **written** in easy English.
2. He has just **written** to you.
3. I found the letter **written** in French.
4. He got the report **written** by his father.
5. **Written** in light characters, your answer is difficult to read.

1. 〈過去分詞 | be 過去分詞〉受動態  
この本は簡単な英語で書かれています。
2. 〈過去分詞 | have 過去分詞〉完了形  
彼はあなたに手紙を書いたところです。
3. 〈過去分詞 | 名詞を修飾する〉形容詞 (句)  
フランス語で書かれた手紙を見つけました。

4. 〈現在分詞 | 目的格補語 SVO Vp.p.〉形容詞 (句)  
彼はその報告書を父に書いてもらった。
5. 〈過去分詞 | 分詞構文〉副詞 (句)  
薄い字で書かれているので、あなたの答えは読みにくいです。

### 3. 〈Vの区別 | 本動詞と原形不定詞〉

1. She made him **clean** the room.
2. I'll have him **translate** this letter.
3. Please let me **know** your availability.
4. I saw a man wearing a cap **run** away.
5. I heard someone **shout** in the distance.
6. We felt my house **shake** last night.
7. My neighbor helped me (to) **clean** my room.
8. All you have to do is (to) **click** here.
9. I can't do anything but (to) **pray** for everyone's safety.

1. 〈make O 原形不定詞「Oに～させる」〉強制  
彼女は彼に部屋を掃除させた。
2. 〈have O 原形不定詞「Oに～させる」〉依頼  
私は彼にその手紙を翻訳してもらおうつもりです。
3. 〈let O 原形不定詞「Oに～させる」〉許可  
あなたのご都合を私にお知らせください。
4. 〈see O 原形不定詞「Oが～するのを見る」〉  
帽子をかぶった男が走り去るのを見た。
5. 〈hear O 原形不定詞「Oが～するのを聞く」〉  
私は、遠くで、誰かが叫ぶのを聞きました。
6. 〈feel O 原形不定詞「Oが～するを感じる」〉  
私たちは昨夜、私の家が揺れるのを感じました。
7. 〈help O (to) 原形不定詞「Oが～するのを手伝う」〉  
隣に住んでいる人が部屋を掃除するのを手伝ってくれた。
8. 〈All you have to do is (to) 原形不定詞「～するだけでよい」〉  
あなたはここをクリックするだけでいい。
9. 〈can't do anything but (to) 原形不定詞「～せざるを得ない」〉  
みんなの安全を祈ることを除いたどんなこともできない。  
(=みんなの安全を祈ることしかできない。)

## 英文解釈 構文分析① 〈主語の発見〉

### CASE 1 [主語の原則 | 文の最初に出てくる前置詞のついていない名詞]

One of the unusual things a visitor might experience during a trip to England comes when riding the London Underground. These days, there are **few trains** running on the Circle Line. **They** used to come along every few minutes, but now, generally **you** wait for a very long time to see one. On one particular morning, **a great many of us** had been standing on a platform at Gloucester Road station for about twenty-five minutes without any sign of a train. **I** noticed a man standing beside me **who** appeared to be a tourist and looked very confused. 〈神戸大〉

語彙 unusual[ˈʌnjú:ʒuəl]「異常な」「珍しい」 particular[pəˈtɪkjʊlə]「特定の」「特有の」 confused[kənˈfju:zd]「困惑」「混乱」した

語彙科学研究は通常、ある個体の集団に関する何らかの疑問から始まる。たとえば、ある研究者は弟や妹の数が第1子の子供たちの学業成績にどのような影響を及ぼすかに興味を抱くかもしれない。あるいは、男女のさまざまな体型について調べたいと思う研究者もいるかもしれない。最初の例では、その研究者は家族で最初に生まれた子である子供たちの集団に興味がある。2つ目の例では、その研究者は全男性の集団と、全女性の集団とを比較したいと思う。集団を構成するのは人でなくてもよい—それがアフリカのゾウの集団、大都市のコンビニ、工場で生産される車、他の何であれ、研究者が研究したいものであればよいのだ。科学において、私たちは、研究したい個体の集団全体を母集団と呼んでいる。

### CASE 2 [主語の発見 | 長い主語]

The assertion that mathematics has been a major force in the molding of modern culture, as well as a vital element of that culture, appears to many people incredible or, at best, an extreme exaggeration. This disbelief is quite understandable and results from a very common but mistaken conception of what mathematics really is. 〈神戸大〉

語彙 assertion[əseɪˈrʃən]「主張」 mo(u)ld A[móuld]「Aを形成する」 vital[váitl]「重要な」 element[élemənt]「要素」 incredible[ɪnkrédəbl]「信じられない」 exaggeration[ɪgzæˈdʒereɪʃən]「誇張」(exaggerate A「Aを誇張する」) conception[kənsépsən]「考え方」「概念」

全訳数学は現代文化にとって、きわめて重要な要素であるばかりではなく、その現代文化の形成にあたって大きな力となってきたという主張は、多くの人々にとっては信じがたいことであるか、あるいは、せいぜい極端な誇張であるように思われる。この不信感はきわめて当然とも思われるが、これは数学とは本当はどのようなものであるかについての非常によくある、しかし誤った考え方からきている。

**CASE 3** [主語の発見 | 名詞節が主語になる場合]

How we handle our own feelings of impatience, hostility, and anger is a far more powerful example to our children than what we tell them to do with theirs. We don't want to impose our black moods on our children, but neither do we want to pretend that our angry feelings don't exist. In any case, we may as well be honest, for even when we try to cover up our anger, our children sense how we feel.

〈大阪大〉

語彙 handle A [hændl] 「A に対処する」 impatience [impéiʃəns] 「いらだち」 hostility [hastiləti] 「敵意」 impose A on B [impóuz] 「A を B に押し付ける」 pretend that SV...[pri (: ) ténd] 「SV...の振りをする」

全訳 私たちが自分自身のいらだち、敵意、怒りの感情にどのように対処するかを示すことは、子供たちに対して、そういう感情をどう処理するかを口で言うよりもはるかに説得力のある手本となる。私たちは自分のむっとした気分を子供に押しつけたとは思わないが、自分の怒りの感情が存在しないようなふりもしたくはないものである。いずれにせよ、私たちは正直でいるほうがよい。なぜなら、怒りを隠そうと思っても、子供は私たちがどういう気持ちなのかを感じ取るからである。

**CASE 4** [接続詞内部の主語の発見]

Studies have found that committing to any small, consistent act of self-control, such as improving your posture, cutting back on sweets, and keeping track of your spending, can increase overall willpower. And while these small self-control exercises may seem inconsequential, they appear to improve the willpower challenges we care about most, including focusing at work, taking good care of our health, resisting temptation, and feeling more in control of our emotions.

〈神戸大〉

語彙 commit to A [kəmit] 「A に取り組む」 consistent [kənsístənt] 「継続的な」「首尾一貫した」 posture [póstʃər]

「姿勢」 keeping track of A 「A の記録をつける」 overall 「全体の」 inconsequential [inkənsikwénʃəl] 「たいしたことではない」 resist A [rizíst] 「A に抵抗する」 temptation [temptéiʃən] 「誘惑」

全訳 研究によると、たとえば、姿勢を良くするとか、甘いものを控えるとか、支出の記録をつけるといったように、何であれ、ちょっとした継続的な自制心を使う行為を行うことで、全体としての意志力を高めることができるということがわかってきた。しかも、これらのちょっとした自制心の訓練は、あまりたいしたことではないように思われるかもしれないが、仕事に集中したり、健康に留意したり、誘惑と戦ったり、自分の感情をこれまで以上にコントロールできている気がするというようなことも含め、私たちが最も気にかけている意志力の課題を向上させるように思われるのだ。

## CASE 5 [主語の発見 | 長い副詞節, SV...]

As we tremble with anticipation at the prospect of finding a single microorganism on another planet, under our feet we're wilfully executing a mass extinction event. Once a fashionable cause, threats to our forests, which are cradles to the diversity of life, have been largely forgotten. But this century we've been losing them at the astonishing rate of 50 football pitches per minute. That's an area the size of Greenland since the turn of the millennium. 〈神戸大〉

語彙 tremble [trémbl] 「震える」 anticipation [æntɪsəp'eɪʃən] 「期待」 prospect [práspekt] 「展望」 microorganism [ˌmaɪ.krɪə'ɔː.gən.ɪ.zəm] 「微生物」 wilfully [ˈwɪlfəli] 「自らの意志で」 execute A [éksɪkjù:t] 「Aを実行する」 extinction [ɪkstɪŋkʃən] 「絶滅した」 cradle [kréɪdl] 「場所」「ゆりかご」 astonishing [əstəni'fɪŋ] 「驚くべき」 the turn of the millennium [mɪl'eniəm] 「世紀の変わり目」  
全訳他の惑星にたった1つの微生物を発見できるかもしれないという期待に身を震わせながらも、その足元で、私たちは自らの意志で大規模な絶滅行為を行っている。かつては当代流行の原因であった、生命の多様性が生まれる場所である森林に対する様々な脅威は、ほとんど忘れ去られている。しかし、今世紀に入って私たちは毎分、フットボールの競技場50個分という驚くべき速度でその森林を失いつつある。それは、今世紀に入ってからだと、グリーンランドの広さに相当する面積なのだ。

## CASE 6 [主語の発見 | 長い副詞句, SV...]

Nobody ever discovered ugliness through photographs. But many, through photographs, have discovered beauty. Except for those situations in which the camera is used to document, or to record social ceremonies, what moves people to take photographs is finding something beautiful. Nobody cries out, "Isn't that ugly! I must take a photograph of it ." Even if someone did say that, all it would mean is: "I find that ugly thing ... beautiful." 〈関西学院大〉

全訳今まで写真を通して醜さを発見した者はいなかった。しかし、多くの者は写真を通して美しさを発見してきた。詳細に記録したり、式典を記録したりするためにカメラが用いられる状況を除けば、写真を撮るよう人々を突き動かすものは何か美しいものを発見することである。「あれは醜いじゃないか!写真を撮らねば」とは誰も声を上げて言わない。たとえ誰かがそう言ったとしても、それが意味することは、「私はその醜いものを...美しいと思う」でしかない。

**CASE 7** [主語の発見 | ... that 長い副詞句, SV...]

Valtin says that for people who have specific health concerns, such as certain kidney problems or a tendency to some kinds of infection, drinking lots of water can be beneficial. But after an extensive search in 2002 for the origins of the 8 × 8 guideline, he reports he found no scientific evidence supporting the notion that healthy individuals need to consume such large quantities of water. In 2008, Dan Negoianu and Stanley Goldfarb reviewed the evidence for a medical journal. They came to a similar conclusion: “There is no clear evidence of benefit from drinking increased amounts of water.”

\*一日当たり 8.8 オンス(227g)の水を飲むこと 〈関西大〉

語彙 specific[spɪsɪfɪk] 「特定の」 kidney [kɪdni] 「腎臓」 infection[ɪnfɛkʃən] 「感染症」 beneficial[bɛnəfɪʃəl] 「有益な」  
consume A[kən'su:m] 「Aを消費する」 review A[rɪvju:] 「Aを検討する」

全訳バルタンは、特定の腎臓の問題やある種の感染症の傾向など、特定の健康上の懸念がある人にとっては、大量の水を飲むことが有益であると言います。しかし、2002年に8×8ガイドラインの起源を徹底的に調査した後、彼は健康な人がこのような大量の水を消費する必要があるという概念を支持する科学的証拠は見つからなかったと報告している。2008年に、ダンネゴイアヌとスタンリーゴールドファーブは医学雑誌の証拠を検討した。彼らは同様の結論に達しました：「どんどん水を飲むことの利益の明確な証拠はない。」

**CASE 8** [接続詞の領域]

Whatever their political view may be, most people agree that to fight terrorism in an effective way we must deal with its root causes. And most people assume that the fundamental causes of terrorism must be third-world poverty and lack of education. While this view is widely held, I suspect there might be some other factors contributing to terrorism.

〈甲南大〉

語彙 political [pə'lɪtɪkəl] 「政治的な」 assume that SV...[ə'su:m] 「SV...と思いこむ」 contribute to A[kən'trɪbjʊ:t] 「Aに寄与する」

全訳政治的見解がどうであれ、ほとんどの人は、根本的な原因に対処しなければならない効果的な方法でテロと戦うことに同意します。そして、ほとんどの人々は、テロの根本的な原因は第三世界の貧困と教育の欠如に違いないと考えています。この見解は広く支持されているが、テロに寄与する他の要因があるかもしれないと思う。



## 英文解釈 構文分析② 〈カンマとダッシュの処理①〉

### CASE 1 [カンマとダッシュの処理① | いろいろなカンマ]

For many years, people believed that the brain, like the body, rested during sleep. After all, we are rendered unconscious by sleep. Perhaps, it was thought, the brain just needs to stop thinking for a few hours every day. Wrong. During sleep, our brain — the organ that directs us to sleep — is itself extraordinarily active. And much of that activity helps the brain to learn, to remember and to make connections. 〈神戸大〉

語彙 render O C[réndər] 「OCにする」 unconscious [ʌnkənʃəs] 「無意識の」 organ[ɔːrgən] 「組織」 extraordinarily (extraordinary [ekstrəːrdənəri] 「異常なほどの」 「他に類を見ない」  
全訳長年にわたって、脳は、肉体と同様、睡眠中は休んでいると考えられていた。なにしろ、私たちは睡眠によって意識のない状態になるからである。おそらく脳は、毎日数時間は思考を停止する必要があるだろうと考えられていた。だが、それは間違いである。睡眠中も、私たちの脳——私たちが睡眠へと導く器官——それ自体は、非常に活発に活動しているのだ。しかも、その活動の多くは、脳が学習し、記憶し、さまざまな関連づけを行うのに役立っている。

### CASE 2 [カンマとダッシュの処理① | 継続用法 | ..., 接続詞 SV ~]

One outstanding feature of Japanese weather is the series of great cyclonic storms, called typhoons, which devastate parts of the country in late summer and early autumn. These are identical in nature with the hurricanes that occasionally ravage the east coast of the United States, both being products of the same general relationship between land and water at comparable latitudes. Typhoons, however, strike Japan with somewhat greater frequency and usually with more destructiveness to life and property, since the greater part of the Japanese population is concentrated on the seacoasts of southwestern Japan where the typhoons first come ashore. 〈神戸大〉

語彙 outstanding [aʊtstændɪŋ] 「目立つ」 「主な」 cyclonic[saiklɒnɪk] 「激しい」 devastate A [dévəstèit] 「(土地)Aを壊滅的にする」 identical [aɪdɛntɪkəl] 「等しい」 「同一の」 a hurricane [həːrɪkən] 「ハリケーン」 ravage A [rævɪdʒ] 「Aを破壊する」 comparable [kəmperəbəl] 「等しい」 a latitude [lætətjuːd] 「緯度」 ((通例 latitudes) ある緯度の所 [地方]) property [prəpərtɪ] 「財産」 「特性」 ashore [əʃɔːr] 「海岸へ(に)」

全訳日本の気候の顕著な特徴の一つは、台風という、次々と訪れる非常に激しい暴風雨であり、夏の終わりから秋の初めにかけて国内の各地に甚大な被害をもたらしている。これらは、時に米国東海岸に大被害をもたらすハリケーンと性質は同じで、そのどちらも、同じぐらいの緯度にある陸地と海とが、同様に総合的に関係しあって発生するものである。しかしながら、台風のほうが日本を襲う頻度がやや高い上、日本の人口の過半数が台風が最初に上陸する南西日本の沿岸部に集中しているために、たいてい、人命や財産にさらに大きな被害を与えるのである。

## 英文解釈 構文分析③ 〈カンマとダッシュの処理②〉

### CASE 1 [カンマとダッシュの処理 | (冠詞) 形容詞, 形容詞 名詞]

Some people constantly do only the things they like to do. They put off the unpleasant, less interesting things they have to do. But no one can afford to live this way all the time. If they do, they will lose opportunities and frequently inconvenience others. The consequences in business and friendship can be disastrous.

〈関西大〉

語彙 put off A 「A を先延ばしにする」 unpleasant 「不快な」 can afford to V 「(否定文で)V する余裕がない」 inconvenience[inkənviːniəns] 「不便」 「迷惑」 consequence[kɒnsɪkwəns] 「結果」 disastrous[dizæstrəs] 「悲惨な」

全訳 一部の人はいつも好きなことだけをする。そうした人々は、しなくてはいけなくても楽しくない、興味のないことを先延ばしにする。しかし、いつもこのやり方をして生活できる人はいない。そんなことをしていると、チャンスを逃し、他人に迷惑をかけることも多くなるだろう。仕事と交友関係において、悲惨な結果を招くこともある。

### CASE 2 [カンマとダッシュの処理① | 完全文, 名詞要素]

For many Americans wilderness stands as the last remaining place where civilization, that all too human disease, has not fully infected the earth. It is an island in the polluted sea of urban-industrial modernity, the one place we can turn for escape from our own too-muchness. Seen in this way, wilderness presents itself as the best cure for our human selves, a refuge we must somehow recover if we hope to save the planet. 〈大阪大〉

語彙 wilderness[wɪldərnɪs] 「荒野」 infect[infekt] 「A を感染させる」 「A を侵す」 cure[kjʊə] 「治療法」 a refuge[rɛfjuːdʒ] 「避難場所」

全訳 多くのアメリカ人にとって荒野は、あのあまりにも人間的な病いともいえる文明がまだ完全にはこの地球を侵していない、残された最後の場所としてその姿をとどめている。荒野は都市工業的近代性という汚染された海に浮かぶ島であり、我々が自らの耐えられない状況から脱出するために向かうことのできる唯一の場所なのである。このように考えると、荒野は我々の人間性を癒してくれる最善の治療法であり、もし我々がこの地球という惑星を救いたいと願うのであれば何とかして取り戻さなければならない避難場所なのである。

**CASE 3** [カンマとダッシュの処理② | 完全文, 副詞要素]

In the rich and fascinating tradition of philosophy there are various schools of thought, and individual philosophers have often put forward views which conflict with those of other philosophers. The point is not that there are final answers in philosophy which one can accept, like buying a ready-made suit. What the philosophers agree about is that we have to think things through for ourselves, taking the different sides of every problem into account. ‹大阪大›

語彙 fascinating [fæ'səneɪtɪŋ] 「魅力的な」 conflict [kən'flikt-ɔ:] 「争い」「矛盾」 take A into account. 「Aを考慮に入れる」

全訳豊かで魅力的な哲学の伝統においては、さまざまな学派があり、個々の哲学者はしばしば他の哲学者と反する見解を唱えてきた。要は、哲学には、既製のスーツを買うことのような、誰もが受け入れることのできる最終的な答えはないということである。哲学者たちの中で意見が一致しているのは、我々はあらゆる問題のさまざまな側面を考慮に入れながら、自分自身で物事を考え抜かねばならないということである。

## 英文解釈 構文分析④ 〈挿入への対応①〉

### CASE 1 [挿入への対応① | 挿入の考え方]

Whether consciousness could arise in a complex, artificial system is a question many people find intrinsically fascinating. Although it may be decades or even centuries before such a system is built, a series of experiments offers strong evidence that an artificial brain, if organized appropriately, would indeed have precisely the same kind of conscious experiences as a human being. 〈神戸大〉

語彙 consciousness[kán,ʃəsnis] 「意識」 complex[kəmpléks] 「複雑な」 artificial[ɑːrtəʃiəl] 「人工の」 intrinsically [intri(n)ʃik(ə)li] 「本来」「本質的に」 fascinating[fæˈsɛnèitiŋ] 「魅力的な」 appropriately(appropriate [əprəʊpriət] 「適切な」)precisely(precise [pri (: ) sáis] 「簡潔な」「精確な」)

全訳複雑な人工装置の中で意識が生じ得るかどうかは、多くの人々が本質的に心をひかれる問題である。このような装置が作られるまでには何十年、いや何百年もかかるかもしれないが、正しく組み立てれば人工頭脳は実際に人間と全く同じような意識体験をするであろう、という有力な証拠を一連の実験は示している。

### CASE 2 [挿入への対応② | 挿入の考え方]

In one of the most famous stone gardens in Kyoto, I was listening to the interpreter explain how every ripple in the pebbles had a special meaning. A group of Japanese tourists came in, lined up along a wall and began a characteristic modern ritual. In turn each of them approached their guide and, standing on exactly the same spot, positioned a camera. The guide's lips would move with the repetitiveness of a priest repeating exactly the same words to each person in a ritual. The camera would click. The next tourist would come up. After watching this I asked my interpreter what the religious phrase was that the guide was repeating. She said, "What the guide is saying is, 'Shutter speed 250, no flash.'" 〈神戸大〉

語彙 interpreter [intəˈrɪprɪtər] 「通訳」 explain A[ɪkspléin] 「Aを説明する」 ripple [rɪpl] 「さざ波」 pebble [pébl] 「小石」 characteristic [kæˈrɪktərístik] 「特有の」 a ritual[rɪʃuəl] 「儀式」 repetitiveness [ripətətɪvnəs] 「繰り返す」「繰り返すこと」 a religious phrase [rɪlɪʃəs] [fréiz] 「念仏」

全訳京都にある最も有名な石庭の1つで私は、小石で作ったさざ波の一つ一つに、どのように特別な意味が込められているかを通訳が説明するのに耳を傾けていた。日本人の団体旅行客が入ってきて、壁沿いに並び、現代に特有の、ある儀式を始めた。彼らは1人ずつ順番にガイドに近づき、まったく同じ位置に立って、カメラの位置を合わせるのだった。ガイドは、儀式で各人にまったく同じ言葉を繰り返す僧侶のように、何度も同じように唇を動かしていた。カメラがカシャッと音をたてると、次の旅行客がガイドに近づいた。これを見て、私は通訳にそのガイドが繰り返しているのはどんな念仏かと尋ねた。彼女は「案内の人は『シャッタースピードは250。フラッシュは禁止です』と言ってるんですよ」と言った。

### CASE 3 [挿入への対応③ | 主節の挿入]

Americans rely on guilt, rather than shame, to keep people from breaking the laws and the unwritten rules of society. Guilt, they believe, will keep people honest even when no one is watching. Shame, on the other hand, works only when there is social pressure from others.

語彙 guilt[ɡɪlt] 「罪悪感」 shame[ʃeɪm] 「恥」

全訳アメリカ人は、人々が法律や社会の不文律を破らないようにするために、恥ではなく罪悪感に訴える。罪悪感  
は、誰も見ていなくても人々を正直に保つと信じている。一方、恥は他者からの社会的圧力がある場合にのみ機能す  
る。

### CASE 4 [主語の発見 | 長い副詞句, SV...]

Any time people or groups appear to be cruel to one another, the popular, inadequate view is that it is a manifestation of "the survival of the fittest\*." Many people wrongly assume that, in society as well as in nature, to be strong and aggressive is the only condition for survival. In fact, however, evolution requires creatures to show a whole range of different behaviors, not just cruelty, in order to successfully ensure their survival. Many animals, including our nearest relatives such as chimpanzees and bonobos, rely on each other for survival, which means that caring and sympathetic behavior is one of the key factors in their evolution. \*the survival of the fittest 適者生存 <同志社大>

語彙 cruel[kruːəl] 「非情な」 inadequate [ɪnædɪkwət] 「不適切な」 manifestation [mæˈnɛstɛɪʃən] 「現れ(たもの)」  
assume A[əsuːm] 「A と思い込む」 「A と仮定する」 aggressive [əɡrésɪv] 「攻撃的な」 sympathetic [sɪmpəθɛtɪk] 「思  
いやりのある」 evolution[ɪvəlúːʃən] 「進化」

全訳人々や集団が互いに対して非情であると思われるときは常に、それが「適者生存」の現れであると見る見方は、通俗  
的で不適切である。多くの人々が、自然だけではなく社会においても、強く攻撃的であることが生き残るための唯一の  
条件である、と誤って仮定する。しかし実際のところは、首尾よく生き残るために、進化は生物に、単に非情さだけではな  
く、全範囲にわたるさまざまな行動を示すよう求めている。チンパンジーやボノボといったような我々の最も近い親類  
を含めて、多くの動物は生き残りのために互いに依存し合っており、そのことは、彼らの進化において優しさや思いやりの  
ある行動が、主要な要因の一つであることを意味している。

## 英文解釈 構文分析⑤ 〈挿入への対応②〉

### CASE 1 [挿入への対応① | A and M B]

The idea of dreams as a preparation for future action is not unusual. Mark dreamed he was going to stay at his friend's house a couple of days before he did so. In the dream he took his pajama-bag to school and was picked up at the end of the day by his friend's mother. He liked the dream because he felt more confident when facing that first night away from home. The dream acted to prepare and reassure him.

Research with animals and humans shows that Mark has basically got it right. If \*REM sleep is interfered with, by drugs or sleep deprivation for instance, then we are less able to deal with situations for which we are unprepared. We learn from everything that happens to us during our waking lives, and through dreaming, process and store the information just in case we need it at some future point. Of course we do not 'know' what will happen to us in the future, but nature has found a brilliant way of preparing us for the unexpected.

(注) REM レム睡眠 (眼球が急速に動いている状態の睡眠で、このとき夢を見ていることが多い) 〈神戸大〉

語彙 preparation [prə'pærɪʃən] 「準備」 unusual [ʌnju:z(ə)l] 「普通でない」 be confident of A [kɒnfədnt] 「A に自信を持つ」 face [feɪs] 「A に立ち向かう」 reassure A [ri:əʃʊr] 「A を安心させる」 interfere with A [ɪntər'fɪər] 「～を妨げる」 sleep deprivation [dɛ'prɪvɪʃən] 「睡眠不足」 deal with A 「A に対処する」 process A [prə'ses] 「A を処理する」 store A [stɔ:r] 「A を蓄える」

全訳夢を未来の行動への予行演習ととらえる考え方は珍しくはない。マークは実際にそうする前に、自分が友達の家に2、3日泊まりに行こうとしている夢を見た。夢の中で彼はパジャマの入ったバッグを学校へもって行き、1日が終わると友達のお母さんに車で迎えに来てもらった。彼がその夢を好きだったのは、はじめて家を離れて過ごすその晩を、もっと自信をもって迎えられたからだ。夢が彼に心の準備をさせ、自信をもたせる働きをしたのである。

動物と人間の両方で行った研究によると、マークは基本的には事態を正しくとらえていたことがわかる。もし、例えば薬を使ったり起こされたりしてレム睡眠が妨げられると、私達は心の準備ができていない事態に対処するのが一層困難になる。私たちは目が覚めている間に自分の身に起こるあらゆることから学び、夢を見ることによって、将来のある時点で必要となる場合に備えて、その情報を処理し蓄えるのである。もちろん私達は将来自分の身に何が起こるかは「わかって」いないが、本能的に予期せぬことに備えるすばらしい方法を見つけているわけである。



## 《挿入構文》

1. There was, **it seems** to me, some misunderstanding between you and her.
2. The secret of long life, **it is often said**, is to have something to live for.
3. She seldom, **if ever**, goes to the movie by herself.
4. He is a great scholar, and, **what is better**, a good teacher.
5. Wataru, **although we waited until ten o'clock**, never showed up.
6. His assistance, **however**, was of little help to me.
7. Perseverance, **as you know**, is the key to success.
8. I couldn't find out **in the book** what gave us the clues to the problem.

1. 〈挿入：主節〉 it seems (to A) that SV...⇔S, it seems (to A), V...  
あなたと彼女のあいだには、少し誤解があったように思われる。
2. 〈挿入：主節〉 it is often said that SV...⇔S, it is said, V...  
長生きの秘訣は、生き甲斐を持つ事だそうだ。
3. 〈副詞句の挿入 慣用的なもの〉  
彼女がひとりで映画に行くことは、たとえあってもまれである。
4. 〈what is 比較級の挿入〉 ※what is 比較級が名詞要素となる場合もある  
彼は偉い学者で、さらによいことには、良い先生だ。
5. 〈副詞節の挿入〉  
私たちは 10 時まで待っていたのだが、ワタルは決して姿を現さなかった。
6. 〈接続副詞の挿入〉  
しかしながら、彼のアドバイスは私にはほとんど役立たなかった。
7. 〈関係詞 as の挿入〉  
忍耐は、ご承知のように、成功への鍵です。
8. 〈動詞と目的語の間の挿入〉 ※節や語句は文末に挿入される（置かれる）こともある。  
私は、その問題の手がかりとなるものをその本の中では見つけることができなかった。



## 英文解釈 構文分析⑥ 〈等位接続詞 and〉

### CASE 1 [等位接続詞 and の対応 | さまざまな and]

Language is a system by which meaning is communicated in terms of forms such as words and sentences. Though we tend to think that the relationship between form and meaning is straightforward, a moment's reflection reveals that it is in fact quite involved. Sometimes a given expression corresponds to two or more distinct meanings, while in other cases one and the same meaning is conveyed by two or more different forms of expression. The former situation is known as ambiguity, and the latter as synonymy. Let us now examine some examples. The word 'bank' represents the case of ambiguity, for it has at least the following two meanings: "the rising ground along the side of a lake, river or canal" and "an institution that receives, lends, exchanges and safeguards money". Likewise the written word 'object' has, among others, the following two meanings: "the end toward which effort is directed" and "to argue against or oppose something with words".

〈大阪大〉

語彙 in terms of A 「A(の観点)で」 straightforward[streɪtfoːwəd] 「簡単な」 reveal A[rɪvɪːl] 「A を明らかにする」 involved[ɪnvɔːlvd] 「複雑な」 correspond to A[kɒːrɪspɔːnd] 「A に相応する」 distinct [dɪstɪŋkt] 「際立った」 convey A [kənveɪ] 「A を伝える」 ambiguity[æˈmbɪɡjuːəti] 「多義語」「曖昧さ」 synonymy[sɪnɔːnəmi] 「同義語」 represent A[rɪprezɪnt] 「A を表す」 institution [ɪnstət(j)ʊːʃən] 「機関」 safeguard A [seɪfɡɑːrd] 「A を守る」 oppose A[əpəʊz] 「A に反対する」

全訳言語は、意味が単語や文といった形におきかえて伝達される方法である。私たちは形と意味との関係を簡単なものだと思いがちだが、ちょっと考えれば、実際は極めて複雑であることが明らかである。時には、ある一定の表現が2つないしそれ以上の異なった意味に相当することがあるが、一方、別の場合には、1つの同じ意味が2つまたはそれ以上の異なった表現形態によって伝えられることがある。前者の場合が多義語、後者が同義語として知られている。では、いくつかの例で調べてみよう。bank という語は、多義語の場合の例である。というのは、bank は、少なくとも次の2つの意味をもつからである。つまり「湖・川・運河に沿って盛り上げた土」と「お金を受けとったり、貸したり、換金したり、守ったりする機関」。同様に文語、とりわけ object は、次の2つの意味をもつ。「努力が向けられる目的」と「言葉であることに反論したり、反対したりすること」である。

## CASE 2 [共通構文]

The Industrial Revolution also made possible, and yet created a need for, a better system of transport. In the early part of the century there had been a great development in canals. The second half of the century saw a far greater development in railways. Largely due to the work of George Hudson\*, through a series of combinations, the railway system covered 6,600 miles by just after 1850, and more and more lines, with better and faster cars, produced 21,800 miles of efficient service by the end of the century. \*George Hudson 「鉄道王」として知られる英国の資本家〈同志社大〉

語彙 the Industrial Revolution[ɪndʌstriəl][rɪvəljuːʃən]「産業革命」 transport[trænsˈpɔːrt]「輸送」 canal[kənəl]「運河」 combination[kəmˈbɪneɪʃən]「連結」 efficient [ɪfɪˈʃɪənt]「効率のよい」  
 全訳産業革命はまた、よりよい輸送システムを可能にし、しかもよりよい輸送システムを必要とした。19世紀の早い段階に、運河の大規模な開発が行われ、また、19世紀後半には、鉄道事業においてさらに大規模な開発がなされた。主にはジョージ・ハドソンの業績のおかげで、一連の線路の連結を通じて、鉄道システムは1850年直後までには6600マイルに及んでいたし、路線がますます増え、車両がより改良され、走る速度も増して、世紀の末までには、21800マイルに及ぶ効率のよいサービスが生み出された。

〈共通構文〉 因数分解的発想

1. We are, and should be, respectful to our parents.
2. His remark not only surprised but also strongly moved those present at the meeting.
3. Democracy is the government of the people, by the people, and for the people.
4. This was an exciting, though not popular, movie.
5. It seems difficult, if not impossible, to talk him into attending the party.
6. He fell in love with, and married the next year, a beautiful woman.

1. 〈(助動詞+助動詞) 形容詞〉  
私たちは両親を尊敬しているし、またそうあるべきだ。
2. 〈(動詞+動詞) 名詞〉 ★not only A but also B 「A だけでなく B」 等位接続詞的に用いる  
彼の発言は、その会議に出席した人を驚かせただけでなく、深く感動させた。
3. 〈名詞(前置詞句+前置詞句)〉  
民主主義とは、人民の、人民による、人民のための政治である。
4. 〈(形容詞+形容詞)名詞〉 ★though が等位接続詞扱い。  
これは、人気はないけれども面白い映画だ。
5. 〈動詞 (形容詞+形容詞)〉 ★A if not B 「B でないとしても A」 / if not が等位接続詞扱い。  
彼を説得してパーティに参加させることは、不可能ではないとしても難しいように思われる。
6. 〈(動詞句+他動詞)名詞〉 ★with の後に目的語がないことに注意  
彼は美しい女性と恋に陥り、その翌年結婚した。

〈共通構文と挿入〉 A and (M) B 型 (M)は B を修飾

1. He was very rich, and **therefore** could buy a mansion.
2. He is a good English scholar, and, **what is more**, a good teacher.
3. I fainted from the heat, and **when I came to**, I was in a life raft.

1. 〈A and (M) B〉 ★M=副詞  
彼は金持ちだった、だから大邸宅が買えた。
2. 〈A and (M) B〉 ★M=副詞句  
彼は優れた英語学者であるが、さらに、教えるのも上手である。
3. 〈A and (M) B〉 ★M=副詞節  
その暑さで気絶して気がついたら救命いかだの中にいた。

## 英文解釈 構文分析⑦ 〈語順転倒の対応〉

### CASE 1 [語順転倒の対応 | VMO]

Our knowledge and our power have been enriched and increased to an extent that no one would have thought possible. We have thereby been enabled to make the conditions of human existence incomparably more favourable in numerous respects, but in our enthusiasm over our progress in knowledge and power we have arrived at a defective conception of civilization itself. We value too highly its material achievements, and no longer keep in mind as vividly as is necessary the importance of the spiritual element in life. 〈大阪大〉

語彙 enrich A [enrɪtʃ] 「A を豊かにする」 thereby [ðeərbaɪ] 「それによって」 a condition [kəndɪʃən] 「条件」 incomparably [ɪnkəmperəbəlɪ] 「比較できないほど」 favourable [fæɪvərəbəl] 「好都合な」 numerous [ˈnjuːmərəs] 「極めて数多くの」 enthusiasm [enθjuːzɪˈæzəm] 「熱狂」 defective [dɪfektɪv] 「欠陥のある」 material (ad) [məˈtɪəriəl] 「物質的な」 an achievement [ətʃiːvmənt] 「業績」 「功績」 vividly [vɪvɪdli] 「はっきりと」 「鮮やかに」 an element [ɛləmənt] 「要素」

全訳我々の知識と能力は、誰も可能だとは考えなかったであろうと思われる程度にまで豊富になり増大した。我々はそれによって人間が生存してゆく上での諸条件を、多くの点で比較にたらないほど好都合なものにすることができるようにたったののだが、知識と能力の進歩に熱を上げているうちに、文明そのものについて欠陥ある概念をもつようになってしまった。文明の物質的な業績を高く評価しすぎて、生活上の精神的要素の大切さを、もはや十分にはっきりとは心に留めていたないのである。

### CASE 2 [語順転倒の対応 | CVS]

In the days of my youth, at a friend's house in the South of France, I met Somerset Maugham for the first time. When, a week later, he graciously accepted my invitation to lunch, I was particularly anxious to make a favorable impression on him, in the hope that he would allow me to take advantage of) the occasion by interviewing him for an American magazine to which I contributed pen-portraits of famous English people. Among topics we discussed over lunch was the regrettable habit film directors then had of altering the plot of a novel to suit themselves, to the extent even of changing a sad ending into a happy one. And I was able to cite a case in point, having the previous day discussed this shameful practice with none other than Rex Ingram. 〈神戸大〉

語彙 graciously [gréi'fəsli] 「上品に」 particularly [pə'tɪkjʊlərlɪ] 「特に」 was anxious to [æ'ŋ(k)ʃəs] 「Vしたがる」  
 interview [ɪntə'vju:] 「インタビューする」 「面接をする」 contribute to A [kən'trɪbjʊ:t] 「Aに貢献する」 regrettable [rɪgrɪ'teɪbl] 「残念な」 alter A to B [ɔ:'ltər] 「AをBへと変える」 shameful [ʃeɪmfəl] 「恥ずべき」  
 全訳私が若かったころ、南フランスの友人の家で、初めてサマセット・モームに会った。1週間後、彼が昼食への招待を快諾してくれたとき、彼に好印象を与えたいという私の気持ちはずいぶん強かった。というのは、私は英国の有名な素描をアメリカの雑誌に寄稿していたのだが、その機会を利用してインタビューさせてもらえることを期待していたからだ。私たちが昼食をとりながら話しあった事柄の一つは、小説の筋を自分たちの気に入るように変え、場合によっては悲しい結末すらハッピーエンドに変えてしまえばいい、当時の映画監督の嘆かわしい習性についてであった。そして私は適切な例をあげることが出来たのだが、それは前日にこの恥ずべき習慣について、ほかならぬレックス・イングラムその人と議論していたからであった。

### CASE 3 [語順転倒の対応 | VCO]

The cassette tape, invented in the 1960s, quickly became the most common propagator\* of recorded sound in the world. Cassette tape technology made possible not only the wide dissemination\*\* of Western popular music, but also the spread of indigenous\*\*\* music. Locally recorded cassettes were easily copied and sold inexpensively enough to reach a wide audience. Back then, a cassette sold to tourists on the streets of Cairo or Beijing as local music may have been considered what is now known as World Music to many Westerners.

propagator\* 情報を広める媒体 dissemination\*\* 普及

indigenous\*\*\* その地域固有の <立命館大>

語彙 cassette [kəsɛt] 「カセット」 invent A [ɪn'vent] 「Aを発明する」 spread [sprɛd] 「普及する」 「広がる」  
 inexpensively 「安価で」

全訳カセットテープは1960年代に発明されたが、たちまち世界で最も普通の録音普及媒体となった。カセットテープの技術によって、西洋大衆音楽の広範な普及だけでなく地域固有の音楽の普及もまた可能となった。地方で録音されたカセットは手軽に複製でき、安価で販売できるので広範な聴衆に届けられた。その当時、カイロや北京の街頭で観光客にローカル音楽として販売されたカセットは多くの西洋人に、現在ワールドミュージックとして知られているものだと考えられたかもしれない。

## 《So 助動詞 S 型》

1. Should you run into trouble, I'll help, and **so will my father.**
2. He did not ignore our request, and **neither did she.**
3. I was unable to attend the party, **nor did I want to.**

1. 〈肯定文, and so 助動詞 S 「S もまたそうである」〉★助動詞は肯定文中の述部に合わせて変化  
困ったことになったら、お助けします。私の父も助けてくれますよ。
2. 〈否定文, and neither 助動詞 S 「S もまたそうでない」〉★否定文. Neither 助動詞 S の形もある。  
彼は我々の要請を無視しなかったし、彼女もしなかった。
3. 〈否定文, nor/neither 助動詞 S 「S もまたそうでない」〉★否定文. Nor 助動詞 S の形もある。  
私はそのパーティーに出席できなかったし、また出席したいとも思わなかった。

## 《There V S...》

1. **There are many animals to see there.**
2. **There used to be an old temple here.**
3. **There still remains much to be done.**
4. **There is certain to be some opposition to your suggestion.**

1. 〈There is/are S 「S がある」〉★基本形  
見るべき動物がたくさんいるよ。
2. 〈There used to be S 「かつて S があった」〉★used to V 「かつて～であった」  
ここにはかつて古いお寺がありました。
3. 〈There remains S 「S がまだある」〉  
なすべきことがまだたくさんある。
4. 〈There is certain to be S 「きっと S がある」〉試験頻出  
君の提案にはきっと反対があるだろう。  
★There is some opposition...の is の後に (be) certain to V 「きっと V である」が入り込んだ形

《倒置構文 語順転倒型 MVS/ CVS / OSV / VCO / VMO 他》

1. **In the middle of the wall at the back of the room** is a large window.
2. **Happy** indeed are we, and so we shall remain.
3. He is said good at mathematics. **Much better** is his wife.
4. **Few of these problems** he could solve today.
5. He couldn't make clearly known **what he wanted to do**.
6. We must take into account **the wishes of all the family in planning a trip**.
7. **So important** is water **that** we can hardly do without it even for a day.
8. **Such** is his honesty **that** he was respected by everybody.

1. 〈副詞句 V S〉★場所を表す副詞句が文頭にでたことによる倒置  
部屋の奥の壁の中央に大きな窓がある。
2. 〈CVS / CSV〉  
私たちは本当に幸せであるし、これからも幸せである。
3. 〈CVS〉★比較対象の前置  
彼は数学が得意と言われているが、彼の妻はもっと得意である。
4. 〈OSV〉★目的語の前置 (≒He could solve few of these problems today.)  
今日はこの問題のほとんどを解くことができなかった。
5. 〈make CO〉★what he wanted to do が後置された形  
彼は自分がしたいことをはっきりと知らせることができなかった。
6. 〈SVMO〉★take O into account ⇔ take into account O ★O が長いので後置された形  
旅行を計画する場合は、家族全員の希望を考慮すべきだ。
7. 〈So 形容詞/副詞 ~ that SV... 「とても形容詞/副詞なので SV...」〉 = ~ so 形容詞/副詞 that SV...  
水はとても大切なもので、水なしでは1日でもやっていけない。
8. 〈Such is S that SV... 「Sはとても甚だしいので SV...」〉 = S is such that SV... ⇔  
彼は非常に正直だったので、誰からも尊敬されていた。

英文解釈 構文分析⑧ 〈The 比較級..., the 比較級 ~.〉

**CASE 1**

Social psychologists have studied the bystander effect and they determined that the more people present when a person needs emergency help, the less likely it is any one of them will lend a hand. 〈神戸大〉

語彙 psychologist[saikələdʒist] 「心理学」 bystander [] 「傍観者」 emergency [iməˈrdʒənsi] 「緊急性」  
 全訳社会心理学者たちは傍観者効果を研究してきて、ある人が緊急性のある助けを必要としているとき、その場にいる人が多ければ多いほど、その中の誰かが手を貸す可能性は低くなると結論づけた。

**CASE 2**

Children in nursery school tongue-show most often when they're involved in activities such as playing with blocks, drawing with crayons or even kicking a ball. The greater the concentration needed, the more often the tongue appears. In one experiment, as children made their way to the top of an ever-narrowing set of steps, their tongues started to creep out. Even children who are not tongue-showing to begin with start to do so the moment they catch an adult watching them. 〈神戸大〉

語彙 be involved in A[invɒlvɪd] 「Aに参加する」 concentration [kənsəntrɪʃən] 「集中力」 creep out[kri:p] 「飛び出す」 to begin with 「最初」  
 全訳保育園の子どもたちは、ブロックで遊ぶ、クレヨンで描く、ボールを蹴るなどの活動に参加しているときに最も頻繁に舌を見せる。集中力が必要なほど、舌が頻繁に現れる。ある実験では、子供たちがどんどん狭くなっていく一連の会談を上まで進むときに、彼らの舌が飛び出し始めた。最初、舌を見せない子供でも、大人が彼らを見ているとわかった瞬間にそうし始める。





## 《倒置構文 the 比較級..., the 比較級 ~》

1. **The more** we learn, **the better** we realize our ignorance.
2. **The older** we get, **the less** sure of our health we feel.
3. **The more difficult** the problem [is], **the greater** the satisfaction in solving it [is].
4. All of us become **the busier**, **the further civilization** advances.
5. **As you study more**, **the more** you discover your ignorance.
6. **The more unique** each person is, **the more** he contributes to the wisdom of others.

1. 〈The 比較級~, the 比較級.... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉基本形  
学べば学ぶほど,[それだけいっそう]自分の無知を悟る。
2. 〈The 比較級~, the 比較級.... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★less を用いる場合  
年をとればとるほど,われわれは自分の健康に自信が持てなくなる。
3. 〈The 比較級~, the 比較級.... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★is が省略される場合  
問題がむずかしければむずかしいほど,それを解く満足感は大きい。
4. 〈SV...the 比較級, the 比較級~. 「~すればするほど、いっそう...だ」〉  
文明が進歩すればするほど,われわれは皆忙しくなる。★主節と従属節が入れかわる形(倒置形)
5. 〈As SV 比較級~, the 比較級.... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★is が省略される場合  
★the 比較級~が As SV~に代わる場合  
学べば学ぶほど、ますます自分が無知であることがわかる。
6. 〈The 比較級~, the 比較級.... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★...が倒置構文になる場合  
各人が個性的であればあるほど、それだけ他人の英知に寄与する。

(1) [The+比較級~,the+比較級.] 基本的な考え方

The+比較級~,the+比較級.”の形で、「～すればするほど,(それだけ)ますます...」の意味を表す。基本的な考え方は、「一方の程度(形容詞・副詞)の変化に応じて、もう一方も程度(形容詞・副詞)が変化する」様を表す。この構文では、前半部の The+比較級~が副詞節で、後半部の the+比較級が主節となる。前半部の the は「~につれて」を表す接続詞(=as)で、後の the は「その分だけ」を表す指示副詞である。前半部の副詞節が主節の the を修飾していると考えられることもできる。この構文での注意点は、前半部分も、後半部分も文なので、文型が成立しているということです。例えば、「The harder he studied mathematics, the more interested[~~(x)~~the more interesting] he became in it. 「彼は数学を勉強すればするほど数学が好きになった」では、the harder は、studied にかかる副詞で、the more interested は、became の補語(C)となっている。前半部は、he studied mathematics hard から、後半部は he became interested in it から出来ていると考えると理解がしやすい。

(2) [The+比較級~,the+比較級.] The +比較級~,the+比較級.の倒置形

The+比較級~,the+比較級.で、副詞節と主節が入れ替わって倒置形となる場合がある。その場合は、SV...the+比較級, the+比較級 S'V'~。「S'V'~すればするほど、SV...」となる。(例 He became the more interested in mathematic, the harder he studied it. 「彼は数学を勉強すればするほど数学が好きになった」)

(3) [The+比較級~,the+比較級.] The +比較級~,the+比較級.構文上の注意

The+比較級~,the+比較級.では、be 動詞や it is などが省略されることがある。(例 The greater <are> our wishes, the greater <are> our efforts. 「願いが大きければ大きいほど、努力はいる」、前半部、後半部ともに<are>が省略されている。

## 英文解釈 構文分析⑨ 〈no more ... than 〉

### CASE 1

There is not any modern nation but has, in some way, contributed to our science or art or literature. Each country has given something to the sum of beauty and knowledge of the world. Music and art and science do not observe political or geographical boundaries any more than do the sunshine and the rain.

語彙 but = that ... not(例 There is no rule but has some exceptions. 「例外のない規則はない」) contribute to A [kən'trɪbjʊ:t] 「Aに役立つ」 literature [lɪtərə'tʃər] 「文学」 observe A [əbzə:rv] 「Aを遵守する」 a geographical boundary[dʒi:əgrə'fɪkəl] [báunderi] 「地理的境界線」

全訳何らかの形で科学や芸術、文学に貢献しない近代国家はない。各国は、世界の美しさと知識の合計に何かを与えている。音楽と芸術と科学は、太陽と雨と同様に、政治的または地理的な境界を守らない。

### CASE 2

Equality and uniformity are not the same idea. Equality is about the law, and says we should all be treated equally; the facts of your social class, gender, beliefs, race, nationality or sexual preference should no more determine how you are treated by the law than should your shoe size. Uniformity is about being the same as everybody else, and given how different we are from each other, it would be an abuse of our rights and lead to unequal treatment to try to force us to be the same. (同志社大)

語彙 equality[ɪkwə'ləti] 「平等」 uniformity [jù:nəfɔ:rməti] 「同一」 gender[dʒéndər] 「性別」 nationality [næ'ʃənələti] 「国籍」 abuse [əbju:s] 「侵害」 treatment [tri:tmənt] 「扱い」 force O to V [fɔ:rs] 「OにVするよう強制する」

全訳平等と同一は同じ概念ではないのである。平等とは法律に関する概念で、われわれはだれもが平等に扱われるべきであるとされている。社会階級、性別、信条、人種、国籍、性的嗜好の事実によって、人が法律上どのように扱われるか決まるべきでないのは、靴のサイズによりそれが決まるべきでないのと全く同じことなのである。同一とは全員が全く同じであるということで、われわれが互いにかに異なるかということを考えれば、それはわれわれの権利の侵害であり、われわれを強制的に同じにしようとする不平等な扱いにつながるものである。

### CASE 3

Whenever there is more than one variety of a particular language, questions arise as to whether one is somehow better or more correct than another. From the point of view of modern linguistics,\* it makes no more sense to say that one variety of English is better than another than it does to say that the grammar of English is better (or worse) than the grammar of Thai. All languages and all varieties of a particular language have grammars that enable their speakers to express any proposition that the human mind can produce. All varieties of language are absolutely equal as instruments of communication and thought. 〈大阪府立大〉

語彙 particular[pə'tɪkʊlə] 「特定の」 arise [ə'raɪz] 「生じる」 linguistics[lɪŋgwɪstɪks] 「言語学」 proposition [prə'pɒzɪʃən] 「事柄」「提案」 absolutely [əbsə'lju:tli] 「まったく」「絶対的に」 instrument [ɪnstrəmənt] 「道具」  
全訳ある特定の言語に複数の変種があれば必ず、どれが別のものより優れているかとか、正確かという疑問が生じる。近代言語学の観点からすると、ある種の英語は他の英語より優れているなどといっても意味がないのは、英語の文法がタイ語の文法より優れている(あるいは劣っている)といっても意味がないのと同様である。あらゆる言語、またはある言語の変種すべてにそれぞれの文法があり、そのおかげで話し手はおよそ人が考えつくどんな事柄も表現することができる。言語の変種すべては、意思を伝え、何かを考える道具としてはまったく平等なのである。

### CASE 4

It still remains the truth that one cannot jazz through education any more than one can jazz through life. The learning must always involve a severe intellectual discipline — an enduring of hardness and a cheerful acceptance of difficult work.

語彙 a discipline [dɪsəplɪn] 「訓練」 enduring [endʒʊərɪŋ] 「耐えること」 (endure A 「Aに耐える」)  
全訳人生を適当にやり過ぎることができないのと同様に、教育を適当にやり過ぎことはできないのは、いまだ真実である。学習には常に厳しい知的訓練が必要である。それは、困難に耐え、困難な仕事を快く受け入れることである。

## 《no more ... than ~》

1. A whale is **no more** a fish **than** a horse is ( a fish ).
2. I am **not** able to live by myself **any more than** is my sick mother.
3. She is **no less** kind **than** her late mother used to be.
4. The satellite was **no bigger than** a soccer ball.
5. **No more than** ten people applied for the job.
6. He had **no less than** five English-Japanese dictionaries.
7. She has **not more than** ten dollars on her.
8. **Not less than** ten people applied for the job.
9. He is **nothing more than** a stranger here.
10. He is **nothing less than** a liar.

1. 〈A is no more B than C (is) D. 「C が D でないの同様に、A は B でない」  
=A whale is not a fish any more than a horse is (a fish).  
くじらが魚でないのは馬が魚でないのと同様である。〉
2. 〈A is not ... B any more than C (is) D. 「C が D でないの同様に、A は B でない」  
私は病気の母と同様に一人で暮らしていけない。〉
3. 〈A is no less B than C (is) D. 「C が D であるのと同様に、A は B だ」  
彼女は亡くなった母親と同様に親切な人だ。〉
4. 〈A is no bigger than B 「A は B と同然ちいさい」〉 ★一種の比喩表現  
その衛星はサッカーボールほどの大きさしかなかった。
5. 〈no more than A 「A しか」 =only〉  
その仕事に 10 人しか応募しなかった。
6. 〈no less than A 「A も」 =as many/much as〉  
彼は 5 冊も英和辞典を持っていた。
7. 〈not more than A 「せいぜい A」 =at most〉  
彼女は 10 ドルしか持っていない。
8. 〈not less than A 「少なくとも A」 =at least〉  
その仕事には少なくとも 10 人が応募した。
9. 〈nothing more than A 「せいぜい A」 =only〉  
彼はここでは、単なるよそ者だ。
10. 〈nothing less than A 「まさしく A」〉  
彼はまさに嘘つきそのものだ。

## 構文解説

### (1) [no more ... than ~] [not ... any more than ~]

A is no more B than C is D.で「CがDでないのと同様にAもBでない」の意味を表す。AがBでないことを表すために、通常ありえない「CがDでない」例を引き合いに出して強調する表現。not ~ any more than ... (no を not ~ any に変えたものと考えれば良い)の形も同じ意味を表す。than 以下で①省略②代用③倒置(省略・代用に伴って倒置(助動詞+S[...])が生じる)が生じることが多い。

### (2) [not more ... than ~]

“not more ~ than ...” 「...ほど~でない...以上に~ではない」は“more ~ than ...”の単純な否定文である。He is not more diligent than his father.はNot[he is more diligent than his father.]と考えれば良い。また、比較は等号・不等号で考えるとわかりやすく、“not more ~ than ...”は“more ~ than ... (~>...)”を否定したもの、つまり“~ ≤ ...”である。「同等またはそれ以下」となる。

### (3) [not less ... than ~]

“not less ... than ~” 「...に勝るとも劣らないほど~である」は“less ~ than ...”の単純な否定文である。He is not less diligent than his father.はNot[he is less diligent than his father.]と考えれば良い。“not less ... than ~”は“less ... than ~ (~<...)”を否定したもの、つまり“~ ≥ ...”である。「同等またはそれ以上」となる。

### (4) [no more than 数字]

- (1) 「no more than + 数詞」は数・量の少ないことを強調し、no more は差が0(ゼロ)を表しており、than 以下と同数であることを表すと同時に、否定(more ではない)の意味を持っている。「たった~だけ(=only)」の意味を表す。
- (2) 「no less than + 数詞」は数・量が多いことを強調し、no less は差が0(ゼロ)を表しており、than 以下と同数であることを表すと同時に、肯定の意味(less ではない)を持っている。「~も(ある)(=as many[much] as)」の意味を表す。
- (3) 「not more than + 数詞」は「~より多くはない、多くても~」を表す。more than + 数字「数字以上」を否定していると考えれば良い。
- (4) 「not less than + 数詞」は「~より少なくはない(~かそれ以上) → 少なくとも~」less than + 数字「数字以下」を否定していると考えれば良い。

### (5) [no bigger than A]

no more than 数字に似た形で、no better than ... 「~も同然」 no later than ... 「~までには必ず」 no smaller than ... 「~ほど大きい」 no bigger than ... 「~ほど小さい」がある。no fewer than 数字も、数の多いことを強調して、「~も」の意味を表す。no less than と異なり、数のみに用いる。

### (6) [nothing more than ...]

nothing more than A で「~にすぎない」「~でしかない」の意味を表す。only 書き換えることが可能。Aには、名詞、動詞がくる。(例 He is nothing more than a dictator. 「彼は独裁者にすぎない」)。また、do nothing more than V 「Vするしかない」はdo nothing but V と同義である。(例 She did nothing more than cry at the news. 「彼女はその知らせを聞いて、泣くしかなかった」)。

### (7) [nothing less than ...]

「nothing less than A」は「~にほかならない」「まさしく~で」の意味を表す。Aには、名詞、形容詞が来る。一種の強調表現。(例 His theory was nothing less than a revolution 「彼の理論は、革命と呼ぶべきものだった」)。

## 英文解釈 重要語の整理① 〈that〉

### 《接続詞 that の識別》

1. **That** she is ill is obvious.
2. The reason for my absence is **that** I was ill.
3. I admit **that** he is sincere.
4. The idea **that** money can buy everything is wrong.

1. 〈名詞節 that : 主語の場合〉★That she is ill が主語  
彼女が病気だということは明らかだ。
2. 〈名詞節 that : 補語の場合〉  
私が休んだ理由は病気だったからです。
3. 〈名詞節 that : 目的語の場合〉★admit 「～を認める」の目的語  
彼に誠意のあることは認める。
4. 〈名詞節 that : 同格の場合〉★the 抽象名詞 that SV... 「SV...という抽象名詞」  
お金があれば何でも買えるという考えは間違っている。

### 《同格の that》

1. Don't forget **the fact that** smoking is a danger to your health.
2. **The news that** he was still alive reached us.
3. She was seized by a **sudden fear that** she was being followed.
4. She cherishes **the hope that** he will return.
5. Is there **any likelihood that** Mr. Black will agree to the plan?
6. There is **no probability that** the money will be paid.

1. 〈同格の that : the fact that SV... 「SV...という事実」〉★the 情報・事実 that SV...  
喫煙は健康にとって危険なものだという事実を忘れてはならない。
2. 〈同格の that : the news that SV... 「SV...という事実」〉★the 情報・事実 that SV...  
彼はまだ生きているという知らせが私たちに届いた。
3. 〈同格の that : the fear that SV... 「SV...という恐れ」〉★the 動詞派生の名詞 that SV...  
彼女はだれかに後をつけられているという恐怖に突然襲われた。
4. 〈同格の that : the hope that SV... 「SV...という希望」〉★the 動詞派生の名詞 that SV...  
彼女は彼が戻ってくるという希望を心に抱いている。
5. 〈同格の that : the likelihood that SV... 「SV...という希望」〉  
★the 可能性を表わす名詞 that SV...  
ブラックさんがその計画に賛成する見込みがありますか。



6. 〈同格の that : the probability that SV... 「SV...という希望」〉  
 ★the 可能性を表わす名詞 that SV...  
 そのお金は支払われる可能性はまったくない。

《副詞節を導く that | so that SV...他》

1. They tied me up **so that** I couldn't escape.
2. He worked hard **in order that** his family might live in comfort.
3. I've gained **so much weight that** I can't run fast.
4. The doctor has **so many patients that** he is always busy.
5. I was excited, **so that** I could not get to sleep.
6. **So great** was his emotion **that** he could not utter a word.
7. He was **not so tired that** he could hardly walk.
8. It is **such** a beautiful day **that** I'd like to go fishing in the river.
9. His anxiety was **such that** he could hardly sleep.

1. 〈so that S can V... : 目的〉  
彼らは私が逃げられないように私をきつく縛った。
2. 〈in order that S can V... : 目的〉  
彼は家族のものが不自由なく暮らせるように、一生懸命働いた。
3. 〈so ~ that S V... : 結果・程度〉  
私は体重がとても増えたので速く走れない。
4. 〈so ~ that S V... : 結果・程度〉  
その医者とはとても多くの患者をかかえているので、いつも忙しい。
5. 〈, so that SV... : 結果〉★カンマの有無に注意  
興奮していたので、私は寝付かれなかった。
6. 〈So 形容詞 be S that SV... : 倒置〉  
感動のあまり、彼は一言も発することができなかった。
7. 〈not so ~ that SV... 「SV...ほど~でない」〉  
ほとんど歩くこともできないほど、疲れてはなかった。
8. 〈such ~ that SV... 「とても~なので SV...」〉  
とてもすばらしい日なので川に魚釣りに行きたい。
9. 〈S is such that SV... 「Sはとても甚だしいので SV...」〉  
彼は心配のあまりほとんど眠れなかった。

## 《強調構文の that | It is ... that ~》

1. **It is this watch that** my uncle gave me as a keepsake.
2. **It was her mother who** objected to their marriage.
3. **It was yesterday that** Mike bought this racket.
4. **It is through play that** a child learns and grows.
5. **It was because he was ill that** he decided to return home.
6. **It was not what he said but the way he said it that** made me suspicious.
7. **It is how effectively you use the available time that** counts.

※波線部が強調部分

1. 〈強調構文：名詞の強調〉  
私のおじが形見にくれたのはこの時計である。
2. 〈強調構文：〉  
2人の結婚に反対したのは彼女の母親だった。
3. 〈強調構文：副詞の強調〉  
マイクがこのラケットを買ったのは昨日でした。
4. 〈強調構文：前置詞句(副詞句)の強調〉  
子供が学び、成長するのは遊びによってである。
5. 〈強調構文：副詞節の強調〉  
彼が帰国の腹を決めたのは病気だったからだ。
6. 〈強調構文：相関語句(not A but B)の強調〉  
疑わしいのは彼の発言ではなくて、彼の言い方であった。
7. 〈強調構文：名詞節(疑問詞 SV)の強調〉★この場合の count は「重要である」の意味。  
重要なのは使える時間をどのように有効に使うかである。

## 英文解釈 重要語の整理② 〈as〉

《基本 as》

1. As I got off the bus, I saw him entering the movie theater.
2. As time passed, things seemed to get worse.
3. Behave **as** a gentleman does.
4. As rust eats (into) iron, so care eats (into) the heart.
5. As her dress was old, Anne bought a new one.
6. Great **as** Leonardo da Vinci was **as** a painter, he was greater still **as** a scientist.
7. Try as you may, you won't find it easy to solve the problem.
8. Language as we know is a human invention.
9. Don't trust such men **as** praise you to your face.
10. As we expected, she married Tom.
11. As parents, we are concerned about our children's future.
12. All the children dressed up **as** animals.
13. As a child, he lived in London.
14. He is **as** busy **as** a bee from morning till night.
15. He has hundreds of friends and **as** many enemies.

1. 〈接続詞：時間「～する時に」〉  
バスを降りた時に、私は彼が映画館に入っていくところを見た。
2. 〈接続詞：比例「～するにつれて」〉  
時がたつにつれて、事態はもっと悪くなるように思えた。
3. 〈接続詞：様態「～するように」〉  
紳士がするようにふるまいなさい。
4. 〈接続詞：様態「～するように」〉 ★As SV～, so SV.... 相関的に用いる  
錆(さび)が鉄をむしばむと同じように心労は心をむしばむ。
5. 〈接続詞：理由「～なので」〉  
ドレスが古かったので、アンは新しいものを買った。

6. 〈接続詞：譲歩「～だけれども」〉★“形容詞・副詞 as SV...”の形で用いる  
レオナルド・ダ・ヴィンチは画家として偉大ではあったが、科学者としてよりいっそう偉大であった。
7. 〈接続詞：譲歩「～だけれども」〉★“動詞 as SV...”の形で用いる  
どんなに努めてみてもその問題を解くのは容易なことではないだろう。
8. 〈接続詞：形容詞節を導く as〉  
われわれの知っているような言語は人間の創り出したものである。
9. 〈関係代名詞：先行詞に the same/such がつく場合〉  
面と向かってほめるような人を信頼するな。
10. 〈関係代名詞：先行する節の内容を受ける〉  
私たちが予想したとおり、彼女はトムと結婚した。
11. 〈前置詞「～として」〉  
私たちは親として子どもたちの将来を心配している。
12. 〈前置詞「～のように」〉  
子どもたちはみんな動物のように仮装していた。
13. 〈～のころ〉★接続詞とも考えられる  
子どもころ彼はロンドンに住んでいた。
14. 〈副詞：「同程度」〉★as ～ as ... / 後ろの as は接続詞  
彼は朝から晩までハチと同じように忙しい。
15. 〈副詞：「同程度」〉★数字 ... as many 名詞「数字と同数の名詞」〉  
彼は数百人の友達と、数百人の敵がいる。

## 英文解釈 重要語の整理③ 〈it〉

《it を用いた構文① : It V that SV...型》

1. **It seems that he knows something about that incident.**
2. **It appears to me that she dislikes housework.**
3. **It happens that we have the same birthday.**
4. **It turned out that my memory was largely correct.**
5. **It follows from this evidence that she is innocent.**
6. **It never occurred to him that she would be so displeased.**

1. 〈It seems that SV... 「SV...のように思われる」〉  
彼はその事件について何か知っているようだ。
2. 〈It appears that SV... 「SV...のように思われる」〉  
彼女は家事が嫌いなように私には思える。
3. 〈It happens that SV... 「たまたま SV...する」〉  
私たちはたまたま同じ誕生日だ。
4. 〈It turns out that SV... 「結局 SV...とわかる」〉  
私の記憶は大部分正しいことがわかった。
5. 〈It follows that SV... 「(当然ながら) SV...となる」〉  
この証拠からして当然彼女は無実だということになる。
6. 〈It occurs to 人 that SV... 「人はふと SV...と思う」〉  
彼女があんなに不機嫌になるとは彼は思いもしなかった。

《it を用いた構文② : 重要構文集》

1. **It won't be long before we can travel to the moon.**
2. **See to it that your cigarette is put out before you go to bed.**
3. **I owe it to my parents that I was able to finish college.**
4. **It goes without saying that we must all observe traffic signals.**
5. **It is no wonder that she was given the prize.**
6. **It is not too much to say that time once lost can never be recovered.**
7. **It's up to me whether I kill you or let you live !**

1. 〈It won't be long before SV... 「まもなく SV...」〉 ★=Soon SV...  
まもなく月旅行が出来るだろう。
2. 〈see to it that SV... 「SV...するように取り計らう」〉 ★it=形式目的語 that SV...=真目的語  
眠る前にたばこの火を消すようにしなさい。
3. 〈owe it to A that SV... 「SV...は A のおかげだ」〉 ★it=形式目的語 that SV...=真目的語  
私が大学を卒業できたのは両親のおかげだ。
4. 〈It goes without saying that SV... 「SV...はいうまでもない」〉  
★it=形式主語 that SV...=真主語  
われわれ全部が交通信号を守らねばならないことは言うまでもない。
5. 〈It is no wonder that SV... 「SV...は不思議ではない」〉 ★=No wonder SV...  
彼女がその賞を受賞したのは少しも不思議ではない。
6. 〈It is not too much to say that SV... 「SV...と言っても過言ではない」〉  
一度失われた時間は決して取り戻せないと言っても過言ではない。
7. 〈It is up to A whther SV... 「SV...かどうかは A 次第だ(A が決めるべきだ)」〉  
君を生かすも殺すも僕次第だ。

## 英文解釈 重要語の整理④ 〈but / still / even / yet〉

《さまざまな but》

1. I tried again and again, **but** I couldn't succeed.
2. Men is **but** a reed, the weakest in nature, **but** he is a thinking reed.
3. He works every day **but** Sunday.
4. This house is **anything but** comfortable to live in.
5. **But for** music, the world would be a dull place.
6. The boy **did nothing but** cry all day long.
7. Some people think that peace is **nothing but** illusion.
8. We **cannot but wonder** at his skill in skiing.

1. 〈等位接続詞「しかし」〉  
何度もやってみたが、うまくいかなかった。
2. 〈副詞「～にすぎない」〉 =only A  
人間は一本のアシに過ぎず、その本性はきわめて弱い、人間は考える葦である。
3. 〈前置詞「～を除いて」〉 \* =except A  
彼は日曜を除いて毎日働く。
4. 〈anything but A「決してAでない」〉  
この家は住み心地が全然よくない。
5. 〈but for A「Aがなければ/なかったならば」〉  
音楽がなかったら、世界は退屈な場所になることでしょう。
6. 〈do nothing but V「Vばかりしている」〉  
その子は1日中泣いてばかりいた。
7. 〈nothing but A「Aに過ぎない」〉 \* =only A  
平和など幻想に過ぎないと思う人もいる。
8. 〈cannot but V「Vせざるを得ない」〉  
我々は彼のスキーの腕前に感心しないわけにはいかない。

## 《多義語 still》

1. He pretended ignorance, which made me **still** more irritated.
2. Admitting what you say, I **still** think I am right.
3. The old man stood **still** at the gate.
4. Faded jeans are **still** in fashion.
5. He has his faults. Still, I love him.
6. I've found **still** another mistake.
7. Some are good at English, and others are good at mathematics, and **still** others at music.

1. 〈still 比較級「さらに一層」〉★比較級の前  
比較級の強調彼は無知を装ったが、そのことが私をさらに怒らせた。
2. 〈譲歩の still〉★not の位置  
君の言うことは認めるけど、それでも私は自分が正しいと思う。 [M]
3. 〈補語「じっと」〉★補語の位置  
その老人は門のところにじっと立っていた。
4. 〈副詞 not の位置：ずっと、今でも〉★not の位置 継続の意味が強い cf.yet  
色あせたジーンズは今でも流行っている。
5. 〈副詞：文頭「それでもやはり」〉★文頭  
彼は欠点はあるが、それでも私は好きだ。
6. 〈still another 「さらに別の」〉★another の前  
さらにもう一つ間違いを見つけた。
7. 〈Some ... others ~ still others ... 「ある人(物)は...、またある人(物)は～さらに別の人(物)...」〉★others の前  
英語が得意な人もいれば、数学が得意な人もいる、さらに音楽が得意な人もいる。



《多義語 even》

1. **Even** times odd is even, odd times odd is odd.
2. This country has an **even** temperature throughout the year.
3. This book is **even** more interesting than that.
4. She has a lot of faults; **even** so, she is liked by everybody.
5. **Even** the cleverest students can make silly mistakes.
6. **Even** though it was raining, she went out.
7. **Even** if you don't like music, you'll enjoy his concert.
8. He will never give in **even** when he is wrong.

1. 〈形容詞「偶数」〉  
偶数掛ける奇数は偶数、奇数掛ける奇数は奇数。
2. 〈形容詞「規則正しい、一様な、むらのない」〉  
この国では年間を通じて気温の変動がほとんどない。
3. 〈副詞「さらにいっそう～」〉 ★比較級の強調  
この本はあの本よりずっと面白い。
4. 〈副詞：even so「たとえそうであっても」〉  
彼女には欠点が多いが、それでも皆から好かれる。
5. 〈副詞「～でさえ」〉  
最も利口な生徒でさえもばかげた間違いをすることがある。
6. 〈even though SV...「SV...だけれども」〉  
雨が降っていたけれども彼女は外出した。
7. 〈even if SV...「たとえSV...としても」〉  
たとえ君が音楽が好きでなくても、彼のコンサートを楽しめますよ。
8. 〈even when SV...「SV...ときですら」〉  
彼は自分が悪くても決して認めようとしなない。

## 英文解釈 重要語の整理⑤ 〈just / justly / simple / simply〉

《多義語 just / justly》

1. This shirt fits me **just** right.
2. I **just** went to the store the other day.
3. This shirt **just** fits me.
4. I was **just** trying to help.
5. We are **just** friends.
6. There is a convenience store **just** around the corner.
7. I **just can't figure out** this problem.
8. I **don't just like** it, I love it!
9. The king ruled his kingdom **justly**.
10. They are **justly** condemned to a long prison sentence.

1. 〈副詞「ちょうど」「ぴったり」〉  
このシャツはぴったり自分に合う。
2. 〈副詞「ちょうど」just 過去形〉  
私は先日その店に行ったばかりだよ。
3. 〈副詞「だいたい」動詞の前で用いて〉  
このシャツはちょっとだけ自分に合う。
4. 〈副詞「ただ」動詞の前で用いて〉  
ただ助けようとしていたんだ。
5. 〈形容詞「ただの...」名詞を修飾して〉  
私たちはただの友達だよ。
6. 〈副詞「まさに...」副詞を修飾して〉  
角を曲がった直ぐコンビニがあります。
7. 〈副詞 just not V「どうしても～ない」〉  
私はこの問題がどうしても解けない。
8. 〈副詞 not just V「単に～だけではない」〉  
ただ好きなだけじゃないよ、すっごく好きなんだ！

9. 〈副詞「公正に」〉  
王は自分の王国を公正に治めた。
10. 彼らが長い懲役刑を宣告されたのは当然だ。  
〈文修飾「...は当然である」〉

《多義語 simple / simply》

1. This problem is not as **simple** as you think.
2. She has a **simple** and humble character.
3. The room was **simple** but spacious.
4. You see things too **simply**.
5. She was **simply** dressed.
6. I sometimes read books **simply** for pleasure.
7. His picture **simply** dreadful.
8. You **simply** mustn't do that.

1. 〈形容詞「簡単な」「単純な」〉  
この問題は君が考えているほどやさしくはない。
2. 〈形容詞「気取らない」〉  
彼女は気取らずひかえめな性格だ。
3. 〈形容詞「簡素な」〉  
その部屋は簡素だが広かった。
4. 〈副詞「単純に」〉  
君は物事を単純に考えすぎる。
5. 〈副詞「簡素に」「質素に」〉  
彼女は質素な服装をしていた。
6. 〈副詞「単に」「ただ(...のみで)」〉  
私は時々ただ娯楽のためにのみ本を読む。
7. 〈副詞「実に」〉  
彼の絵は実にひどいものだ。
8. 〈副詞 **simply not ...** 「まったく...ない」〉  
そんなこと絶対にしてはだめ

## 英文解釈 重要語の整理⑥ 〈because / only〉

《because の構文》

1. **It is because** we were lucky **that** our team score a comeback victory
2. I **didn't** come here **because** I wanted to see her.
3. I **didn't** come here, **because** I wanted to see her.
4. She thinks she is a genius **just because** she goes to a prestigious high school
5. He stole her money **only because** he has no money.
6. I was absent from school. **This was because** I was sick.
7. **Just because** the teacher said so doesn't mean it's true.

1. 〈強調構文と because 「まさしく...だから～」「～なのは...だからだ」〉  
私たちが逆転勝ちしたのは、ラッキーだったからだ。
2. 〈二つの not ... because ～①「～だから...ない」②「～とって...ではない」〉  
私は彼女に会いたかったので、ここへ来ませんでした。
3. 〈二つの not ... because ～①「～だから...ない」②「～とって...ではない」〉  
私は彼女に会いたかったから、ここに来たのではない。
4. 〈just because ... 「ただ...という理由で」〉  
彼女はただ一流学校に通っている理由で、自分を天才だと思っています。
5. 〈only because ... 「...という理由だけで」〉  
彼はお金がないという理由だけで、彼女のお金を盗んだ。
6. 〈This is because ... 「この理由は...だから」「なぜなら...だから」〉  
私は学校を休んだ。なぜなら病気だったから。
7. 〈Just because ... does not mean ～「～だというだけで...というわけではない」〉  
先生がそう言ったからと言って、まだそれが事実と決まったわけではない。

《only の構文》

1. **Only** I can eat this banana here.
2. I can eat **only** this banana here.
3. I can eat this banana **only** here.
4. **If only** I could turn back the clock!
5. **Only after** you finish dinner **can you play** video games.
6. **It was only when** I turned 20 years old **that** I wore a kimono.
7. You **have only to do** what you are told.
8. He studied English **if only because** he wanted to be praised.
9. She made an effort, **only to fail**.
10. He **not only** arrived late **but also** forgot to do his homework.

1. 私だけがここでこのバナナを食べることができる。
2. 私がここでこのバナナだけをを食べることができる。
3. 私がこのバナナを食べることができるのはここだけだ。
4. 〈If only 仮定法 !〉 = I wish 仮定法。  
時間を戻すことができればいいのに！
5. 〈Only 副詞要素 助動詞 S... 「～して初めて...」〉 ※倒置構文  
夕食を終わらせてはじめて、テレビゲームで遊べる。
6. 〈It is only ... that ～ 「...して初めて～」〉 強調構文  
私は二十歳になって初めて、着物を着た。
7. 〈have only to V 「V しさせればよい」〉  
言われたことをしさえすればよい。
8. 〈if only because SV... 「SV...だけだとしても」〉  
褒めてもらいたいからだけだとしても、彼が英語を一生懸命勉強した。
9. 〈, only to V 「...だが、結局...だ」〉 否定的結果を表す不定詞  
彼女は努力しましたが、失敗したにすぎませんでした。
10. 〈not only A but also B 「A だけでなく B」〉  
彼は遅れてきただけでなく、宿題をするのを忘れた。

## 英語重要構文① 関係詞構文

## 1. 〈前置詞+関係代名詞の重要構文〉

1. They don't see **the extent to which** they depend on others.
2. We were surprised at **the ease with which** he solved the problem.
3. I was pleased with **the rapidity with which** he mastered Japanese.
4. I'm amazed by **the rate at which** industries grow.

1. 〈the extent to which SV...〉  
自分たちがどの程度他人に依存しているのかを悟っていない。
2. 〈the ease with which SV...〉  
われわれは、彼がその問題を解いた容易さに驚いた。
3. 〈the ease with which SV...〉  
彼が急速に日本語を習得するので私は嬉しかった。
4. 〈the rate at which SV...〉 産業の伸び率には驚きだ。

## 2. 〈連鎖関係代名詞〉 先行詞 (who I think V...)

1. He is the only man that **I thought** was able to deal with this problem.
2. Try to do what **you think** is the best way to learn English.

1. 〈先行詞 that I think V...〉  
彼は私がこの問題を解くことができると思う唯一の人だ。
2. 〈what I think V...〉  
あなたが英語を学ぶための最良と思う方法を試みなさい。

## 3. 〈the way SV...〉

1. He sang **the way** I did.
2. He grumbled about **the way** they treated him.
3. This is **the way** I solved the problem.
4. **The way in which** she spoke to me made me a little irritated

1. 〈副詞節：the way SV... 「SV...するように」〉★=as SV...  
彼は私の歌うとおりに歌った。
2. 〈名詞節：the way SV... 「SV...する方法」〉★=how SV... / the way in which SV...  
彼は彼等の自分に対する扱いに不満を言った。
3. 〈This is the way SV... 「このようにして SV...」〉★=This is how SV....  
こういうふうにして私はその問題を解決した。
4. 〈the way in which SV... 「SV...する方法」〉★=the way SV...(名詞節)  
彼女の話し方が私を少しいらだたせた。

4. 〈前置詞+関係代名詞+to V〉

1. This is the tool **by which** to increase productivity.
2. He looked for a place **in which** to sleep.
3. I have a lot of friends **with whom** to consult.
4. I am looking for someone **on whom** to depend for my support.

1. 〈前置詞+関係代名詞+to V〉★=the tool to increase productivity by  
これは生産性を高めるための道具だ。
2. 〈前置詞+関係代名詞+to V〉  
彼は眠るための場所をさがした。★a place to sleep in
3. 〈前置詞+関係代名詞+to V〉★=a lot of friends to consult with  
私には相談する友達がたくさんいる。
4. 〈前置詞+関係代名詞+to V〉★someone to depend on for my support  
私は私にアドバイスをくれる人を探しています。

5. 〈関係詞 継続用法〉

1. He did not appear at all, **which** made her very uneasy.
2. It rained heavily all day, **during which time** I stayed indoors.
3. Tom loved Mary, **who** didn't love him at all.
4. We went to Rome, **where** we stayed a week.

1. 〈関係代名詞 which の継続用法〉(=He did not appear at all, and it made her very uneasy.)  
彼は結局現れなかった、それが彼女を大変不安にした。★He did not appear at all が先行詞。
2. 〈関係代名詞 which の継続用法〉(It rained heavily all day, so during the time I stayed indoors.)  
一日中大雨だったので、その間家に閉じこもっていた。

3. 〈関係代名詞 **who** の継続用法〉 (Tom loved Mary, but she didn't love him at all.)  
トムはメアリーを愛していたが、彼女は彼を全く愛していなかった。
4. 〈関係副詞 **where** の継続用法〉 (=We went to Rome, and there we stayed a week.)  
私たちはローマに行って、そこで1週間過ごした。

## 6. 《whatever》

1. There is no doubt **whatever** about what he says.
2. **Whatever** are you going to say?
3. You can say **whatever** you want to.
4. **Whatever** may come, what he wants me to do.
5. **Whatever** language you study, you cannot do without dictionary.

1. 〈副詞：no~whatever「まったく～ない」〉 \*no を強調  
彼の言うことには疑いは全くない。
2. 〈疑問詞：whatever「何」〉 \*疑問詞 what の強調形  
一体全体何を言おうとしているのですか。
3. 〈名詞節を導く whatever「～するなんでも」〉  
言いたい事はなんでも言ってよろしい。
4. 〈副詞節を導く whatever「～するなんでも」〉 \*=No matter what ...  
何事であろうと私は決心を変えない。
5. 〈副詞節を導く whatever「～するなんでも」〉 \*=No matter what ...  
どんな言語を学ぶにしても辞書なしではすまない。  
A man's worth depends on what he is, and not what he has.  
人間の価値は、その人の人柄に在るのであって、その人の財産にあるのではない。



## 英語重要構文② 名詞構文

### 1. 《名詞構文》

1. The **necessity** of education came home to me.
2. We emphasized the **importance** of his co-operation.
3. Whether he has the operation depends upon the **availability** of the organ.
4. Keiko informed him of her safe **arrival**.
5. The **communication** of news by TV and radio is very common now.
6. The purpose of this text is to deepen the **understanding** of black culture.
7. Columbus' **discovery** of America was accidental.
8. **Education** by the parents of their children is important.

1. 〈the necessity of A⇔A is necessary〉  
私は教育の必要性をしみじみと感じた。
2. 〈the importance of A⇔A is important〉  
私たちは彼の協力の重要性を強調した。
3. 〈the availability of A⇔A is available〉  
彼が手術するかどうかは、移植する臓器の提供次第だ。
4. 〈A's arrival ⇔A arrive〉  
恵子は彼に無事に到着したことを知らせた。
5. 〈communication of A⇔ communicate A〉  
ラジオやテレビによるニュースの報道は今ではまったくふつうのことだ。
6. 〈understanding of A⇔undersand A〉  
このテキストの目的は、黒人の文化への理解を深めることである。
7. 〈A's discovery of B⇔A discover B〉  
コロンブスがアメリカを発見したのは、偶然だった。
8. 〈education by A of B⇔B is educated by B〉  
両親が子供を教育する事は、重要である。

## 英語重要構文③ 無生物主語構文

## 1. 《無生物主語構文でよく用いられる構文①》 make OC

1. Jane's farewell speech **made** us very sad.
2. The invention of the telephone **made** it possible to communicate with people far away.
3. His sickness **made** it impossible for him to continue his study.
4. Her hair style **makes** her look younger than her age.

1. 〈S make O C 「S の結果 OC なる」〉  
ジェーンのお別れの挨拶を聞いて、私達はとても悲しくなりました。
2. 〈S make it possible for A to V 「S の結果 AV できる」〉 ★=S enable A to V  
電話の発明が遠くの人と伝達し合うのを可能にした。
3. 〈S make it possible for A to V 「S の結果 AV できない」〉 ★=S don't enable A to V  
病気のため彼は研究を続けることができなかった。
4. 〈S make O V 「S の結果 OV する/なる」〉  
彼女は髪型で実際の年齢よりも若く見える。

## 2. 《無生物主語構文でよく用いられる構文②》 VOto V / V O from Ving

1. The new subway **enables** me to get to school in 20 minutes.
2. The prize money **allowed** him to buy a guitar.
3. Failure to water plants will **cause** them to die.
4. Air pollution **prevents** some plants **from** growing well.
5. What had **kept** him **from** coming to the party?

1. 〈S enable O to V 「Sのおかげで OV できる」〉  
新しい地下鉄のおかげで20分でがっこうへ行くことができる。
2. 〈S allow O to V 「Sのおかげで OV できる」〉  
その賞金のおかげで彼はギターが買えた。
3. 〈「S cause O to V 「Sのせいで OV する/なる」」〉  
植物は水をやらないと枯れてしまう。
4. 〈S prevent O from Ving 「Sのせいで OV できない」〉  
=Because of air pollution some plants can't grow well.  
大気汚染のために育たなくなった植物もある。
5. 〈S prevent O from Ving 「Sのせいで OV できない」〉  
どうして彼はパーティーに来なかったのですか。

3. 《無生物主語構文でよく用いられる構文③》 bring A to ~

1. An hour's drive **brought** us **to** the airport.
2. This straight road will **lead** you **to** the post office.
3. This bus will **take** you **to** the village.
4. The picture always **reminds** me **of** my home-town.

1. 〈S bring A to B 「S は A を B に連れて来る」 → 「S すれば A は B に着く(来られる)」〉  
一時間車に乗って私達は空港に着きました。
2. 〈S lead A to B 「S は A を B に至らせる」 → 「S すれば A は B に着く」〉  
このまっすぐの道を行けば郵便局へ行けますよ。
3. 〈S take A to B 「S は A を B に連れて行く」 → 「S すれば A は B に着く」〉  
このバスに乗るとその村につくでしょう。
4. 〈S remind A of B 「A によって A は B を思い出す」〉  
この絵を見ると、私はいつも故郷の町を思い出す。

4. 《無生物主語構文でよく用いられる構文④》 S V O to V

1. Failure to water plants will **cause** them **to** die.
2. The new equipment has **enabled** us **to** finish the work in an hour.
3. Circumstances did not **permit** me **to** help you.
4. His talk **led** me **to** believe that he knows a great deal.
5. The money **allowed** him **to** go abroad.

1. 〈S cause O to V 「S が原因で OV する/なる」〉  
植物は水をやらないと枯れてしまう。
2. 〈S enable O to V 「S によって OV できる」〉  
新しい機器のおかげで、その仕事を 1 時間で負えられるようになった。
3. 〈S permit O to V 「S によって OV できる」〉  
私は事情があってお手伝いできませんでした。
4. 〈S lead O to V 「S によって OV する」〉  
彼の話からその見聞の広さがうかがわれた。
5. 〈S allow O to V 「S によって OV する」〉  
そのお金で彼は外国へ行くことができた。

## 5. 《無生物主語構文でよく用いられる構文⑤》 S V A from Ving

1. The noise **kept** me **from** sleeping last night.
2. The rain didn't **stop** them **from** doing their job.

1. 〈S keep O from Ving 「S が原因で O は V できない」〉 ★無生物主語構文  
その騒音のために、私は昨夜は眠れなかった。
2. 〈S stop O from Ving 「S が原因で O は V できない」〉 ★無生物主語構文  
雨が降っても、彼らは自分の仕事をやめなかった。

## 英語重要構文④ 無生物主語構文

### 1. 《共通構文》 因数分解的発想

1. We are, and should be, respectful to our parents.
2. His remark not only surprised but also strongly moved those present at the meeting.
3. Democracy is the government of the people, by the people, and for the people.
4. This was an exciting, though not popular, movie.
5. It seems difficult, if not impossible, to talk him into attending the party.
6. He fell in love with, and married the next year, a beautiful woman.

1. 〈(助動詞+助動詞) 動詞〉  
私たちは両親を尊敬しているし、またそうあるべきだ。
2. 〈(動詞+動詞) 名詞〉 ★not only A but also B 「A だけでなく B」 等位接続詞的に用いる  
彼の発言は、その会議に出席した人を驚かせただけでなく、深く感動させた。
3. 〈名詞(前置詞句+前置詞句)〉  
民主主義とは、人民の、人民による、人民のための政治である。
4. 〈(形容詞+形容詞)名詞〉 ★though が等位接続詞扱い。  
これは、人気はないけれども面白い映画だ。
5. 〈動詞 (形容詞+形容詞)〉 ★A if not B 「B でないとしても A」 / if not が等位接続詞扱い。  
彼を説得してパーティに参加させることは、不可能ではないとしても難しいように思われる。
6. 〈(動詞句+他動詞)名詞〉 ★with の後に目的語がないことに注意  
彼は美しい女性と恋に陥り、その翌年結婚した。

## 2. 《共通構文と挿入》 A and (M) B 型 (M)は B を修飾

1. He was very rich, **and** therefore could buy a mansion.
2. He is a good English scholar, **and**, what is more, a good teacher.
3. I fainted from the heat, **and** when I came to, I was in a life raft.

1. 〈A and (M) B〉 ★M=副詞  
彼は金持ちだった、だから大邸宅が買えた。
2. 〈A and (M) B〉 ★M=副詞句  
彼は優れた英語学者であるが、さらに、教えるのも上手である。
3. 〈A and (M) B〉 ★M=副詞節  
その暑さで気絶して気がついたら救命いかだの中にいた。

©高1 英語総合 S  
2023年 3月13日 第3版  
編集 スタディ・コラボ  
発行者 (株)ドックエスト  
〒662-0042  
神戸市東灘区岡本 1-12-14